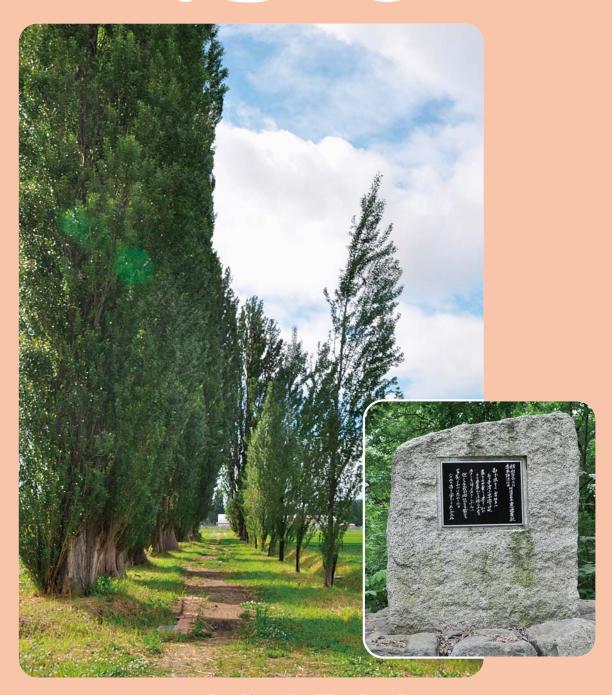
意志 建



恵 迪 寮 同 窓 会

### 新年寮歌歌始めの会

(平成23年1月29日・氷雪の門)



「都ぞ弥生」斉唱で開会



大躍進の北大野球部安達監督や 遠来の丹治さんもあいさつ



鏡割り



歌始めの会に先立ち「都ぞ弥生」CD 吹き込み(クラーク会館)

Ι

### 北海道大寮歌祭

(平成22年9月25日・北海道開拓の村、札幌パークホテル)



恵迪寮のシンボル・旧寮舎前で寮歌斉唱



壇上は寮歌の百花繚乱



小樽商大 OB も初参加

「都ぞ弥生」の斉唱で開会

### 旧寮舎 名札掲示式

(平成23年5月15日・北海道開拓の村)



寮舎を見学、50年以上も昔を懐かしむ参加者



名札掲示式の前に「恵迪花壇」を観賞



懐しい名札掲示板、左側には横山芳介君の名札も



満面の笑顔で名札を掛ける同窓生

### 恵迪寮観桜会

(平成23年5月14日・円山公園)



先輩ごっつぁんです!

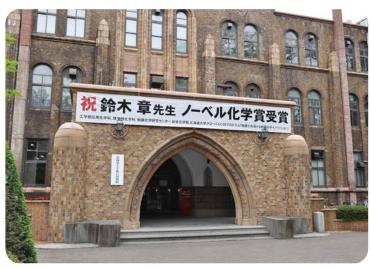


花よりビール、ジンギスカン!

### 鈴木章名誉教授

### ノーベル賞受賞おめでとうございます

(平成22年10月6日決定)



出身の理学部 (現北大総合博物館) に掲げられた横断幕



受賞記念セレモニー (北大工学研究院)



北大交流プラザ「エルムの森」に設けられた受賞記念コーナー

### 恵迪11号目次

寮						百者	特	追					Ĵ	巻				グ	表
歌						百年祭(20	· · ·						挨	頭				ラ	
物						- 1	=						1大	珙				ビ	
語						2 年 )	集	悼					拶	言				ア	紙
寮歌       「偉大なる北溟の自然」(昭和39年寮歌)	特集Ⅲ 外国語版シリーズ(中国語・ドイツ語)	特集Ⅱ 「都ぞ弥生」が生まれた頃~その誕生秘話	寮歌を録音、CD化する喜び	恵迪合唱隊に参加して内藤 春彦 19	CD制作顚末記···········	特集 <b>A みんなで作った「都ぞ弥生」CD</b>	「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭を成功させよう「都ぞ弥生」百年記念実行委員長 - 白浜 憲一 15	繁富一雄名誉会長の死を心から悼む前会長 中瀬 篤信 3	「恵迪寮」断片恵迪寮同窓会西日本支部長   窪田 開拓 12	「都ぞ弥生」と地域恵迪会恵迪寮同窓会東日本支部長 山中 義正 ロ	同窓会と現寮生をつなぐ「魚道」の構築恵迪寮同窓会北海道支部長 氏平 増之 19	東日本大震災と「都ぞ弥生」五番考恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一 9	「都ぞ弥生」とともに進む エルムの学府北海道大学総長 佐伯 浩 8	貴き野心の訓え培い~都ぞ弥生 百年祭を成功させよう~恵迪寮同窓会会長  横山  清 7	鈴木章名誉教授 ノーベル賞受賞おめでとうございます	旧寮舎 名札掲示式	北海道大寮歌祭	新年寮歌歌始めの会	新緑のポプラ並木と歌碑「都ぞ弥生」

記念が生」百年記念事業	高 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	恵迪会退 川 支 部開識社講演・北海道支部われら 同 期 会	特 別 寄 稿	自由投稿 現寮生から
東日本支部ニュース(2011年寮歌祭東京大会の案内)	第12期理事会報告・各支部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>第 「有島武郎と北毎道大学」</li></ul>	検歌「永遠の幸」余聞	「都ぞ弥生」は5番まで全曲を歌おう小篠(守正) 37   もうひとつの札幌回想~故郷への想い窪   平成22年度寮歌「野生に吠えろ」
	: :	·		•
	功氏	義力表正表表まま <td< td=""><td>久     義     光     宏       勉     弥     博     雄     介</td><td>開祥泰拓史司</td></td<>	久     義     光     宏       勉     弥     博     雄     介	開祥泰拓史司
112 111 102 101 100 97 95 93	84 82 79 7	70 65 63 62 55	54 53 49 46 43	38 36 35

### 巻頭言



# | 一都ぞ弥生| 一百年祭を成功させよう~え培い

恵迪寮同窓会会長 横山

涓

(S31年入寮)

発が起き、放射能の恐怖が人々を襲いました。 祭典の準備に取りかかった矢先に未曽有の大地震が発生。巨大な津波が家や人、車や集落を次々に飲み込み、 賢にお かれてはご健勝のことと存じます。恵迪寮百年の記念行事からはやくも4年を経て、明年は 政治の混迷とも相俟って、我国全体が閉塞の状況にあります。 ″都ぞ弥 福島の原発では水素爆 生

被災された関係者の皆様に心から御見舞を申し上げると共に、一刻も早い復興をお祈り致しております。

生そして国境を超えたファンに心の安らぎと生きる力を与え続けてくれる寮歌を百年祭という土台に確りと定着させるべく、これか ら来年にかけて、色々な企画を実施いたしますのでご協力の程、 には茫々にしてはるか彼方である百年の歳月も、やがて納得できる境地に達するとして時空を超えて唱い継がれ、 明治、大正、昭和、 そして平成に至る時代の変遷の中で、我等が恵迪寮は逞しくも健気にも未来を創る俊秀を育んでいます。 お願いいたします。 現寮生から全同窓

歌唱力も加わり新しい世代にその魅力が浸透しつつあります。 まず、今春、北海道大学に入学した新入生全員に校歌と〝都ぞ弥生〟五番までのカラオケ付CDを贈りました。 OB合唱団による

邪の剣に代表される、人、の生き方、 の畏敬が歌全体を貫いている。ここには「人」をも含む自然への徹底した賛歌がある。」(馬場宏明著『大志の系譜』) ここで寮歌についての論評を引用します。「わが国の三大寮歌の一つである『嗚呼玉杯』が表現しているのは偉業、 使命などであるが『都ぞ弥生』は自然の恵み、 荘厳、 芸術、 そして自然からの 救国、 破

おります。横山芳介氏も「『貴き野心の訓え培い』の一句は未だこれ以上の句は浮かばない」と申されていた様です。 番の末尾で、はじめて大自然から目を転じクラークの「野心の訓え」を想い起すとともに自分達の寮の前途を祝福すると論じて

日本大震災を撥条にして老化した日本人の精神を活性化し将来に対する暗い予感や不安や不信感を払拭しなければなりません。想として定着してきた証左でありましょう。現在の恵迪寮も、同窓会も2年後には30周年を迎えます。問題は山積していますが たのを契機に同窓会が発足したのは正しく「我等が寮を誇らずや」の想いが連綿と受け継がれた遺伝子の業として、 今こそ傲りや高ぶりを捨て、 閑話休題、 小生等が暮らした恵迪寮は昭和6年に移築され昭和58年春まで建っておりました。この寮が閉寮となり現寮が新設され 再び ″貴き野心の訓え培い″ の精神を取り戻し実践する時であります。 のもとに思



# 都ぞ弥生」とともに進む エルムの学府

北海道大学総長 伯

(S35年入学・工学博士)

より御 お かれまし 頃 礼申 なり、 し上げます。 っては、 恵迪寮同窓会長の横 北大を積極的に支援してい 山清氏ほ か、 会員 ただき、 の方々

に

ベル化学賞を受賞されまして、本学にとっては記念すべ げましたし、 大硬式野球部が準々決勝に進出するといった快挙を成 昨年は、 年となりました。 第59回全日本大学野球選手権大会に 年末には、 北大名誉教授の鈴木章先生が お 4 て、 ~ ノ ー U き き 北 遂

の時、 学農科大学に昇格し、予科が設置された時であります。 5 年に初代の寮歌 努力により、 治40年(1907年)、札幌農学校の佐藤昌介校長の長 れ続けています。 さて、北大の歴史の中で「恵迪 寄宿舎が「恵迪寮」と命名されました。また、この 札幌農学校が、新たに設置された東北帝国大 「一帯ゆるき」がつくられ、 寮」 が登場する 以後毎年つく 0 は 年の 明

に名曲 生し、日本三大寮歌ともいわ にも愛唱されています。 その中でも、 同時に寄宿舎が 「都ぞ弥生」 明治45年 が生まれました。 「恵迪寮」 つまり、 1 9 1 'n と命名され、 2年)、「都ぞ弥 今も北大関係者以 1907年に予科が そのため、 1 20 9 1 2 創設 の人 が 0 誕

> 年には 年には北大予科開校百周年記念祝賀会が開催され、 部前に「大志を抱いて」の碑文が示された記念碑 れました。 恵 迪 寮」 命名100 年記念祭が、 0) 2 0 0 7

たが、 多くの人々が避難生活を余儀なくされています。財政も極 ぞ弥生」が誕生して、来年で100年を迎えることになり、 年記念祭の折に、場所もかえて大改修されました。寮歌「 957年に現在の歌碑の22㍍ほど東側に建立され と努力それに忍耐で克服 人命と財産が失われました。また、 歌がより多くの人々に歌い継がれることを願っています。 本同窓会でも記念祭を計画されているそうですが、この寮 て厳 言えるでしょう。 御存知のように、 また、「都ぞ弥生」の歌碑は、 歌詞が判読しにくくなったため、 しい情況下、 この危機を、 我が国はまさに国難に 3月11日発生の東日本大震災で多くの 我が国 創立 我々国民 原子力発電所の事故で、 80 一の新たな発展 周年を記念して、 恵迪寮命名10 直 人一人の知恵 面していると ていま 0 1

8

# 東日本大震災と

### 「都ぞ弥生」 五番考

恵迪 寮同窓会代表幹事 白 浜

(S40年入寮)

我らが寮を誇らずや〉と謳いあげた。この「都ぞ弥生」 談を残し、 この大震災の犠牲者や被災者の真実の想いを知る 番の詩に仮託してこの大震災を考えてみた。 ない。横山芳介君は 大震災」が発生した。それから3か月あまり経過 血潮のほとばしりもて 句は未だ之以上の句が浮かばない」と推敲を重 長期にわたる復興が一歩一歩進むことを祈念するしか で弥生」 その最終節で〈自然の芸術を懐みつつ 誕 生 から100年の今年3月11 「 5 番の 貴とき野心の訓え培ひ 〈貴とき野心の訓え培ひ 日に 栄えゆく ねた苦労 !「東日· 高鳴る 術 たが が 5 な 0) 本

歴 災者の方々に対して哀悼の念を持つとともに、百年、 7 け止める力が必要である。 の歴史単位で考えると〈自然の巧み〉としてその現実を受 0 のような幾多の大災害を乗り越えて「而今、ここ」 いる。2万人を超えるこの震災の死者・行方不明者や被 我らの子孫 〈自然の芸術〉は原初の原稿では〈自然の巧み〉と記 ことになると信じる。 実にこそ自信と誇りを持つべきだと思う。 ながら、 たちが、 その教訓と再生復興の過程を 先人である犠牲者の方々や自然の また同時に、私たち日本人はこ がある 会懐 百年後 3 か n

> ある。 ら問 然備えていなければならないヒューマニズムによる大志で る。 今こそ国や地方の政治経済と我々の生活の在り方を根本か 精神に基づき、より高い理想を指し示すことが求められる。 は 金 北 の大地 い見直す新たな一歩を踏み出す千載一遇の機会であ 銭や名誉や出世のための 東北 地方 0) 春 0 夏秋冬の移ろ 復興 (の先行きをこの Lofty Ambitionの 野望 4 の風 ではなく、 土が 育 む 人間 合貴 べき野 として当 小

合い協働しなけ 現している。 体を構築し、 の実践とDNAは悲しみや辛苦を乗り越えて、 る民話と共同連帯の思想が息づいていることだ。自治意識、 回 恵迪寮と同じである。 是带意識 の被災地東北が宮沢賢治の詩や柳田 最後のフレ の鍵 我 は など「我らが 々は 現場にあ 震災の ーズで横 必ず再生復興することを約 そ ればこのミニ社会は れを温かく見守り持続可能 避難所は り、上からの押し付けの再生復 お 互 い 寮」と同じ 山 君は恵迪寮の自治精神を力強 の違いを認め合いながら助 共同生活という点では私た 思想が満ちてい 存続 国男によって語られ 東し ない。 てい な支援を続 新たな共同 . る。 いは今 んは け ち

# 同窓会と現寮生をつなぐ「魚道」の構

迪 寮同窓会北海道支部長 氏 平 増

S38年入寮

が 流 成 n た。  $2\tilde{2}$ つは硬質 北海道 式 大学関係者に 野 ||球部の神宮球場2勝 は二つの嬉 であ 4 ニュ もう 1 ス

つは鈴木章

運にも 宿敵 戦で関東学院大に大敗した。 大学野球選手権 時代は遡る の北海学園大を下し 筆者ら応援団 先生の が が開 昭和40年5月20 がれた。 [も羽織袴で ノーベル賞受賞である。 初めて神宮球場 ١ ١ 神宮球場に向かったが、 百 ナメント方式で、 札幌中島球場 へ駒を進めた。 北大は で全道 幸

の全国・ 招 辛勝した相手監督は 代表を下し、三回戦 感した人である。 会長は、 と賞賛したそうである。 たからと述べて 以来45 いた安達三郎監督 チームを率いたのは寮歌歌 大会には二 昨年6月、 コー 神宮球場では野球どころ四国、 屋手として出場、 は延長14回の末八戸工大に惜敗 「北大野球部は学生野球 (昭和43年・農学部卒) チ、 何故勝河 久方ぶりの神宮球場出 主力選手間 てたか。 77 始めの会にゲストとし 全国大会 の 勝因 体化」が実現 であ に 0 0) つい 鑑 場 厚 るを果た であ 中国 11 て O B 壁 した。 を ぞ 地区 る 前 き 実 7 L

役員、 の快進撃と比肩して恵迪寮同窓会を見るとき、 若手会員が一体化し て活発に行動しているかど

> に B a では、 いる。 うか らない状況だ。 白になってい 新たに会員として加わるべき約10 体化で自己評価すると、 高位)~Aaに近いと考えている。 0 個 間 a 人情報保護観念が強まってきた平成 題提起となろう。 (中程度のリスク) る。 長期的 野球部 に見た場合は不安定要素があ の場合で言えば肝心 恵迪 現状では に低下する可能性をはらん )寮同· 00名分 欲目もあるが 窓会を活 しか ľ 0 0 10 動 選手 氏 我が 年 0 名欄が空 り一挙 が集ま 同 以 A ح 降、 窓会 a で a کے

てく する次第である。 る恵迪寮同窓会と現寮生諸 加 委員会で退寮手続きと同時に名簿搭 が通じることになった。 がわっ を この 0) 乗り越 兄からの、 堰堤のような段差があるようだ。 れるという。これを契機に多数の後輩諸 様 てくれるよう願う次第である。 葽 な話を度々寮生諸君にしてい があると考えてい え、 または そして寮生諸君 下 n 今春の卒業生 る魚道 君の間には . る。 からの具体 魚道つくりに 0) 載 ようなシ 年齡差 確 同窓会としては、 たところ最近 か 可 ~らは、 かに、 否の 的 ?提案 をは 温が ステム 聞 関 現状 現寮 き取 U す 同 問窓会へ る同 にお 0) 0 りをし 寮 ダ 務 け

# 都ぞ弥生」と地域恵迪会

恵迪

|寮同窓会東日本支部

Ш

中

正

S32年入寮

方々に心よりお見舞 0) する多くの恵迪寮同窓会会員 たびの 東日本大震災では被災され い申し上げます。 (の方々並びに北大関係者 た当東日本支部に

れ、 液状化は団地内 することができませんでした。 ましたが、 通行に危険が伴う状況でした。 76戸2500人)では殆どの給・排水管が断裂損壊し、 今日 葉県浦安市では激しい液状化により、私の住 まで恵迪寮同窓会東日本支部長としては全く機能 団地の自治会長としてこれらの災害対策に追わ このいたるところに陥没隆起を起し、 `4月中旬には仮復旧を終え む 団 夜間 地 9 0

ら感謝 できたも 組織化されていればこのような事態 を検討されたとのことでしたが、 0 面では、 札幌の恵迪寮同窓会本部からは 恵迪会」 申しあげます。札幌の本部では東北 のと申し訳ない気持ちでいっぱいです。 今回の大震災の教訓をもとに今年度は地域 成を目標としたいと考えてい お見舞 東北地域に地域恵迪 にも迅速適切な対応 ないを頂 地域 ま す。 戴  $\sim$ 組織強化 0 莧 心 会が 組 織 61 か

介しています。

総長が

ハーバー

ド大学の

成7年1月発刊

「恵迪」創刊号の祝辞

エリオット学長の次の言葉を紹」創刊号の祝辞に北大の廣重力

きている れているようにみえる法律的・産業的な機構よりも長く つである。特定の形の政府よりも、また大学が 「大学は人間のつくった制 度の中で最も永 続 するも は め込ま 0) 0

学と共にあり、 続けなければならないと思 我が恵迪寮同窓会も 共に永続 恵迪寮がそうであるように北 するためには 11 ます。 組 織強化に努力をし 海道 大

されてい と決意を新 す。今年こそは一つでも地域恵迪会の結成を実現させ で結成されていくのを見 地域恵迪会は北海道支部に次いで西日本支部でも ない現状に支部長として力の無さを痛感し たに しています。 ながら、未だに一恵迪会も組織 てい 相 た 次 ま 化 4 11

災された恵迪寮同窓会会員や北大に係わる方々との繋が が、この機会を捉えて地域恵迪会の結成を図るつもりです。 年記念事業と行事の骨格が決定しました。 記念実行委員会の方々で肉付けされていくも ついても手が また、関東・東北地域 4 月23日の同窓会理事会で来年に迫った「 かりを得たいと思い に在住し今回 ・ます。 の東日本大震災で被 これ 都ぞ弥生」百 のと思います からは百年

挨



た恵迪 残暑の中汗を流しながらすき焼きを囲んだ。青春を過ごし した多くの先輩諸氏は今、 大会で25年に 日 本大会が3年ごとに開催されてから今年9月の京都 が新し になる。 い寮に建て替えられる時であったが、 第一 回は神戸・須磨国民宿舎で開かれ、 鬼籍に らある。 参加

が懐かしい。よ小島悦吉氏が が編纂し る。 に 世代との交流が多く、先輩達の語った言葉が深く心に 陵社が結成され、 後輩を見守ってくれた故高安一 17 後輩達 編纂した昭和 招かれ、 戦後を生きた我々の世 支部大会で神戸須磨離宮公園を散策した寮史編纂 どの中間 その中に「恵迪寮自治寮史」があった。小島氏ら 「書棚にある北大関係の蔵書を持って行け」と言 また、 「大正は遠くなりにけり」と呟い にあ 8年の第1巻以後、 昭和20年までの記録である。 る。 神戸青春コンサートでいつも親しげに 代は、 私自身は 郎氏 旧 北大予科への 制の先輩 寮史継続編纂のため楡 (S12年入寮) -と戦 郷愁が 争を ていたこ の自宅 知 の故 しみ 強 6

会活動に

のめり込んだ。

「北大応援団史」 よる閉寮記念文集 その 意に値する。 第2巻の は時宜を得た成果である。 その他、 「恵迪寮よ永遠 恵 迪寮史が昭 昭和 57 年 和 に」や谷 Ö, 61年に編纂され 故幸健  $\Box$ [哲也] 一郎氏らに 一君による たこと

> 恵迪 (寮同 窓会西 日 [本支部] 窪 田 開 拓

S32年入寮

れ なりの世界を持つ個性集団である」と理解できた。 ドパージ事件に結び付けて、 むことなく、 力に取りつかれ、 るかのように思われた。 Ł 0 で及ぶ。 時 かつて「北大恵迪 Ó 勢に その中で過ごすと「若 あ よって左右され まりにも人間的な 寮の歴史は時局 煙草、 高校時代の庇護状態を脱 を 寮にい 横山 アル るの る」と言えば、 41 への抵抗と同 力が漲 寮内が左翼的 バ .委員会の詮衡 側 は イト、 価を匂 大学当 り、一人一人が 安保反対デモ、 わせてい 局 昭和20年代 調 0) かし、 が見 で入寮が認 人間で溢 み ならず る。 勉強 え隠 寮の魅 その に勤 個 n 0 n 7 す め 人 に 5 る ッ

戦争に であ た東北 来年は 念図書館 それから半世紀を生きた。 かりか つてい る。 寮を通してささやかなプライドと多くの知己を得た。 振り回され、 帯でも多くの人命が 「都ぞ弥生」が誕生して100年という。 から、個々に眠っている先人たちの資料を集め、 なるも 間 のを設立し、 の記憶を奪う。 今度は、 奪われた。 順 大震災で新渡戸 後に続く後輩達に伝えたい 風満 恵迪 帆 の人生 寮 こうした事象は記 0 歴 史遺産 、稲造を輩出し 一では な も然り 太平洋 った

# 緊富一雄名誉会長の死を心から悼む

前会長中瀬篤信

(S26年入寮)

早々に 数年前 れたの んだ歌 する心 お目出 声とは程遠く、姿かたちも萎んでいる様であった。 白 会にやっと間に合わせたからなのであった。 い頭 が ても仲 効 成 奏し、 であった。しかし、 かしいす も肺炎で緊急入院。どうなるかとの心配をよそに治 巾と白い衣装を身に着けた繁富さんは車椅子で登場 度 からのお礼だと愛妻ヒサ夫人を伴い、 0 『野ばら』を最後の宝物のようにドイツ語で合唱さ 胆 い会となった。 0 簡 99 石症治 1 繁富さんの頑張りと相俟って、 恵迪寮生活を回想し、そして同窓の諸君 歳 0 0 30 り白寿祝 寿祝 日 療 の恵迪 の手遅れから体調 は初 事務局の佐藤静子さんが用意し 17 その声は以前のような朗々たる から始 8 寮 てのことであ 新年 まった。 寮歌 を崩し、こ 歌 Ď, 恵迪 始 この 彼らの愛を育 8 真に の会』 寮同窓会に お祝 それは、 は Ē 有な に 月 0) 忲

立製作所 新装なった恵迪寮寮生となる。大学卒業後は戦 繁富さんは明治45 6年、 切 に入社、 ₹ 磋琢磨 北海道帝国 北大卒の単身で東大出身の技師 (1912) 年3月9日旭川 比類なき技術を身につけられた。 大学予科 Î 類 入学、 叩たちと競 市に 11 の月に 月 7 13

> 工学部に対しても多岐にわたり援助協力されたと仄聞して n 事 ライオンズクラブ国 11 11 た。 長、 . る。 るのである。 業60周年 間 関 0 北海道大学に対しても、 勤 北海道学生ゴルフ連盟会長など数々の要職をこなさ わ る繁富工 務 を経 の現在も北海道電力事業に大きな業績 また、 て、 務店を立 際理 社会貢献として札幌西法人会設立、 和 24 ち上 年 札 札幌国際カントリー 勿論、 げ、 爾来、 て水力発 出身母体である北大 無事故 電 を誇 を上げて クラブ理 原子力発 ŋ

ど同窓会活動を盛り上げた。 り第3代会長として腕を揮 恵迪」の創刊、 さて、 大きな声でクラーク先生の教えとスポ 恵 迪寮同窓会においては平成3年 歴史写真集「青春の北大恵迪寮」 い、「開識社」の そしてなによりも同 より10 ーツマン精神 年 !窓会会合 の刊行な 同窓会誌 蕳 に 百



白寿の祝いの繁富さん

迪寮時: を説 以外の若い学生にも愛情をもって対応し、ことある毎 曲 つ た事 き、 代を懐かしみ、 に対 学問 Ũ を重ん ては厳粛に それを語り、そしてにこやかに笑っ 日 叱正され 本の教育の道義的 た。 また、 欠陥 恵 迪 を 0) 憂 に恵 後 畫

中御

あ

あふれ した横 ルト海 ヤ・ラインの6 に残る懐 ストラン・マキシムで開催され、 サンクトペテルブルグを訪れた。 会長井口光雄君 平成 山清 8 る会話に終始し、 クルーズを経験した。 かしい思い出となった。 年7月、 (S31年入寮・現同窓会会長) 万トンの豪華船でストックホル (S28年入寮) 私ども夫妻は、 恵迪寮特別晩餐会として今なお心 船中の仲間だけの晩餐会はレ 0) その後ヘルシンキで合流 繁富ご夫妻を中心に友情 案内で繁富ご夫妻と共に 北海道フィンランド 夫妻と共にシリ ムまでのバ 協

心不全などで入退院を繰り返し、 ご夫妻の主治医を務めることとなった。繁富先輩 強な方だが、寄る年波には勝てず、晩年には腹膜炎、 として会務を補佐したが、 いった。 筆者は、 繁富会長時代を代表幹事として、 方、 約20年以上に亘って繁富 次第に体力を消 或 1/2 は は副会長 元来頑 肺炎、 して

より となり感染と同時に 肺線維症 に生きようとする意欲が完全に失われているのであった。 平成22年 加 速 にとなっ 度的 から蜂巣肺 10 別に衰弱 月1日、 その経過は捗々しくなく、 |両肺 ĥ 度重 加えて彼の特徴である貪欲なまで が O ペパンク、 宝なる肺 n e У 炎の後遺症 高度 C O の呼 m b 妼 であ 食思不! 困 1 る進行 難 u を訴え n 振に g 性

> る。 津藩 .札を繁富さんへの土産としたが、11月中旬、たまさかの九州旅行で この神宮の天孫降臨の由来に詳し 九州旅 で霧島 これは 神宮 彼 いかった 0 0 出 長 自 寿 『が豊前 祈 願 0

遂に幽明境を異にされたのであった。ず徐々に血圧が低下し、平成22年11月20日午前7時25分、数日後には急な腸管出血があり、輸血等の治療にも拘ら

立派なご生涯であったと思われます。発揮され、戦中、戦後の困難な時代を力強く生き抜いた、繁富大先輩は、恵迪寮同窓会会長として強力な指導力を

こ他界を悼み、心からご冥福をお祈りいたします。

合掌

現在予定されている「都ぞ弥生」

百年記念事業と記念祭

# 「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭を成功させよう

議論を重ねてきました。 来年は 前 から記念事業と記念祭につい 「都ぞ弥生」誕生百年です。 この1月には て役員会、 恵迪 「都ぞ弥生」百年記 寮同 理事会などで 窓会は、

また、 念実行委員会が結成され、その準備も本格化 と北海道開拓 記念事業の前倒しで平成23年度新入生へのCD ;の村・旧寮舎での名札募集を行いました。 しています。 配 布

私たちには4年前の恵迪寮命名百年記念事業、

行事を大

また、 氏 動と組織を強化し、次世代への架け橋の基礎を固めてい たいと願っています。 に祝い、北海道大学と恵迪寮への応援をしていきましょう。 成功させた経験や得難い教訓があります。 北海道大学、恵迪寮とともに「都ぞ弥生」百年を盛大 この記念事業と記念祭の成功で、 恵迪寮同窓会の活 今一度、会員諸 Z

> 4 「都ぞ弥生」百年記 大総合博物館

庭、

中庭

記念展示

(6月2日~6月17

旦 北 「都ぞ弥生」

百年記念実行委員長

白

浜

憲

(S40年入寮)

《「都ぞ弥生」百年記念祭》 平成24年6月9日

土

- 音楽会(クラーク会館講堂)
- 3 2 記念講演会 都ぞ弥生」大合唱 (クラーク会館講堂 (中央ローン)
- 大寮歌祭(京王プラザ)

協賛募金活動 募金目 標 5 0 0 万円

## 《「都ぞ弥生」百年記念事業

は次の通りです。

- (1)平成23・24年入学新入生への 都ぞ弥生」 C D 0) 配
- (2) 「都ぞ弥生」百年記念誌発行
- (3) 記念植樹 (平成24年5月13日、 開拓 (の)村 「寮舎」

前

### 特集

I

### みんなで作った「都ぞ弥生」 CD

### CD制作顚末記

武彦

金

(S37年入寮)

隊のお手伝いをさせていただきました。した、北大を讃えるCD「都ぞ弥生」制作にあたり、合唱恵迪寮同窓会が、「都ぞ弥生」百年記念事業の一環で企画

央道路を南 森にある歌碑 よくシン ンパスに向かいました。 今年1 で行われることに 月 ポジウムが開催されてい 合唱隊、 下しました。 その練習と吹込み本 都ぞ弥生」、石碑「寄宿舎跡」を確 になり、 ピアノの配置を想像しました。 地下; クラーク会館講堂では 練習前 鉄北18条駅 目 て、 ・番が北大クラー 覗き見たステ 下見がてら北大キ で下車 タイミン -ク会館 か め ] 原 始 ジ グ  $\mathcal{O}$ 中の ヤ

次に、

図書館 回書館

また女」を寄贈しようと、

付

属

に酒向

か歌い

· ました 煙草、

目的は

もう一つ、

文武会

閲覧でした。

学生時代所属

していた北

大合唱団

は

1

0

0

年を迎

えます。

その

源流

を探るべ

<

# していました。

二十五

年史」を読

ん

でい

たので、

文武会会報

0

存

在

を

### 『版「都ぞ弥生」数字譜を発見

ぞ弥生」 料1》が、 しました。 年6月発行) 前の姿を、 『求番号 の最も古い数字譜は大正7年版寮歌集です。 3¾にわたり紹介されていました。 後輩達に現してくれた瞬間でした。 45 年 の  $\begin{array}{c}
0\\0\\0
\end{array}$ 第六回恵迪寮寮歌「都ぞ弥生」の詞、 を読 み始 13769646]》第六十六号 「文武会雑誌 め、「恵迪寮だより」に至 」《本館·書庫· これまで「都 って、 数字譜《資 明 天 45 資 年

が紹介されています。春の北大恵迪寮」に、赤木顕次氏の「都ぞ弥生の思い出」譜を、5線譜に転記してみた〈資料2〉。平成3年発行の「青譜を、5線譜に転記してみた〈資料2〉。平成3年発行の「青数字譜は二長調、四分の二拍子で記譜されている。数字

ろう…… (中略) 私 17 に 0) は 仏の作曲 から、 歌 17 なった。 「作曲が出来た時、 は、 け ない 歌 そういうことになったのである。 [があまりにも整ってい 金原君が言っ から、音楽学校 い方が人によってまちまちで、 肯んじなかっ 同僚 たとおり、 公の金原 へ送って、 た。 ない 君から忠告を受け 作 その のを見て、 曲 直して貰ったらよか 後、 が 整 曲譜、 垂頓され 人々が歌うこ も支離滅 の た。 ままで 7 41 製 は

大正7年 調 ただきた から で弥り 昭 いも 類 和 を数 生」につい 51 0 年  $\dot{o}$ えているそうです。 寮歌 集大改定までの 様々な角度か 初版 楽譜 でら見 発見を契 都ぞ

### C D にあ たり目指

せ りを担 も登 た酒井誠 1 淑氏 が仕 ま 月 と響き渡 た 31 女 切 (S31年入寮)、 ŋ 反響を呼ん 郎氏 É ました。 が 道 りま 8段 た。  $\widehat{S}$ す 抜きで紹 私は、 30 昭年和 で C 年入 迪 30 る。 寮 年、 普及版楽譜とリ 介され、 青 作を川 春 0) 恵迪寮にて大ブレ 0) 0 制作 歌 更に 原幸 声 は、 は は D 順 半世 企画; ] 氏 S 32 紀を |全般 . ツ ト ラジ イ - クさ 年入 を オ

奏があった方がよさそうです。 リズ ることに りできな 都ぞ弥生」百. は 、ムを統 7 スタ 現寮生・恵: なりました。 また女」 17 ĺ か するた Ċ お 年記念と冠するプロ 尋 **みしたところ、** り制作にあります プロ め 迪 ジ 寮同窓会員 に 、エクト は、 アカ そこでピアニスト す。 0 快諾して (31名で構成 ジ ~ 、ラでは、 宮明代さんに Ш エ 原 クトを、 先輩 7 なくピア 71 でする合 ただき に 成 お 力 お 功 ノ伴 唱 ま を 願 に 酒 隊 お 道

てもらうため 0) 長調 を収 任 蓩 んは、 で歌うことに 事例演 た際、 新入生に 奏の 北大合唱団 指 都ぞ弥り 導 ました。 です。 生 0 楽譜 B会版とし を五 は、 番 平 ま 成 で 19 歌 年 11 に 覚 音寮え

る幸せ

市

V. 行 • 0 仲 蕳 ] には ・ズで歌 結に向い ①交互 に情感を込めること③ 盛り上がるテンショ 上げること②八 にカンニン グ • スを、 ンで歌 行詩 春 0

> よう つ 声 1) を フ 飛 イン ば ま していただきま L 栄 えゆ < じた。 我等が寮を誇ら が、 分の 想

集中 力とミキシ 明る 来上 が つ た C D を 聴 仕 技術 上 デ 7 に敬意を表 きますと、 11 ただい しま てい 音 源 ま 0 す バ 、ラン 0 |||,スを補! 原 先

0 正

さん ま た、 は、 北大合唱団 宮さん のピ 0 こアノ バ ツ クコーラスでソリストに 演 、奏でカラオケする! なっ 生 0 た 皆

ラー の広 気分。 景 17 なは、 き た がり · に 向 ク会館 を歌 で だ まさに 1 きま に味 ñ 月 か 61 介 4 D カラ 30 で z 豊 付け が 0 H 「都ぞ弥 n /一写真 収録風 た。 で行っ 穣 0) 参 まし 次の 道新 な音 画 7

とし はあ てこれ ŋ É



「都ぞ弥生」CD 吹き込みの指揮をする金武彦さん

### ·······························特集 「都ぞ弥生」百年祭(2012 年)

### 《資料1》 文武会会報第66号掲載数字譜 (明治 45 年 6 月発行)

に長調 2/4

01,3 | 5 5 | 6, 1 1 1 1 0 | 

0 2 1 | 6 6 | 3, 5 5 | 5 0 |

5 | 6 1 1 | 1 0 | 0 1, 3 | 5

0 6, 5 ; 3 1 | 2, 3 1 | 1 0 1

5, 5 5, 5 5 0 1 E F / B /

6, 6 5, 5 | 3, 3 2, 5 | 3, 3 2, 3 | 1 0 | + - = + 7 = 7 | 7 = 2 2 2 3

### 資料1の転記 《資料 2 》

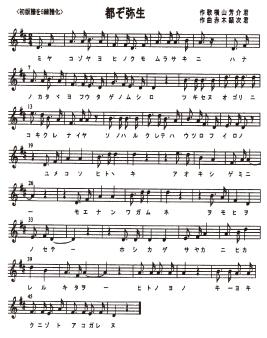
### 初版「都ぞ弥生」数字譜

	— IX 6/4	4/7					
	1	2	3	4	5	6	7
A 1行	1. 3 - = = +	5. 5 6. 5 - = - = コゾヤヨ	- = - =	5. 5 5. 6 - = - = ムラサキ	5 0 - = -		
B 2行	1. 3 - = +	5. 5 6. 5 - = - = ノカタヾ	3.32.1	4. 3 2. 1	1 0		
C 3行		6. 6 6. 6 - = - = ツキセヌ		- = - =	3.550		
D 4行		6. 6 6. 6 - = - = ソノハル	1. 1 6. 5		2. 3 1 0		
E 5行前半			0 1. 3 - = 1 ×	5 5	6. 1 1 -= E   \	i 0	
F 5行後半			0 2. 1 - = 7 7	6 5 + 2	3.5 5 -= # = _	5 O —	
G 6行前半			0 1. 3 - = + x		6. 1 1 -= 7 f 4	i 0	
H 6行後半			0 6. 5 - = 7 <del>T</del>	3 1	2. 3 1 -= /+ +	1 0	
l 7行	0 1. 1 -= ホシ	1 1	2. 3 5 -= +++7 +1	5 6. 1 -= ニヒカ	1 6 L L	5.35 -= キタ ヲ	5 0
J 8行	5. 5 5. 5 - = - = ヒトノヨ	5 0		3.32.5			
◆謎の5小節	[E3]	[F3]	[G3]	(H3)	[[1]		•

〈明治45年譜〉 0 2. 1 0 1. 3 0 1. 1 - = ホシ 〈大正7年譜〉 0 1.3 0 1. 1

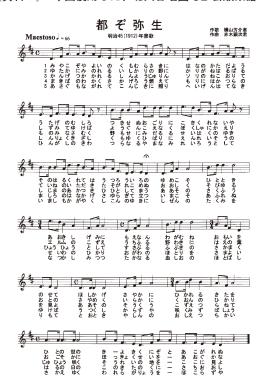
◆[[4]小筋 ħ 〈誤植訂正〉 〈大正7年譜〉

### 《資料3》 資料1を5線譜化



◆38 小節を、誤植訂正した

《資料 4 》 今回使用した、北大合唱団 OB 会版楽譜



## 恵迪合唱隊に参加して

### 内 藤 春 彦

ŝ 40年入寮

感情は 明治45 い青年期で 結より7. 変る1912年 た。「都ぞ弥生」 を詠ったのである。 歌を詠うのに対 ぞ弥生 国際感覚に未熟なままに列強と競り合わざるを得な 年発表の6 であった。 1 0 0 第一次世界大戦勃発の2年前であ は札幌農学校36年目にあたる。 番目 は三大寮歌 į 他の寮歌は意気軒昂な気概 年記念合唱隊に六十路 の恵迪寮歌である。 「都ぞ弥生」は北海道の「自然 のうち 最後にできたも 明治から大正 で加 日露戦 加えてい や高踏的な ので、 争終 の ただ 国民 巧

29

11

魂込 である。 えての来道であったが、 面 作 地に二度とまみえることは叶わなかった。 (めて「都ぞ弥生」 :歌の横山 ながらも小作人のために尽くし、 静岡で職についてからは当時 芳介は東京育ちで、 を作り、 「この北の自然の幸」に癒され 遠友夜学校にも加 家族間に芽ぐむ の農地 46 歳 経営 で早 煩悶 わっ 0 矛盾に たの を抱 札幌

3 月 1

Ĥ

には同窓会長横山

清氏の

同窓会本部

に 会

] 事 務局 ス

に 0)

二十世紀、「都ぞ弥生」は出陣学徒を札幌駅に送る道 てきたの は たまた独り静 合宿所で、 であ キャ ンプ地で、 時に遭難 晴れの式場で、 難 し救助を待つ間も敷れの式場で、追悼の 歌  $\mathcal{O}$ 々 り場

gentleman! Be ambitious! 本一広い キャンパ スと豊 0) かな四つ 訓えを培 季の移ろい 17 貴き先人達の姿 の中

> 息づき、 章先生は 11 求 に 発 耐 8 展 てい ノーベル賞を受賞されたのである。 て来たのである。 札幌農学校は大地 くよすが が 都 ぞ弥生」なの そんな流 に しっ か n り根を下ろ である。 , の 中

### 迪合唱 隊 の 平 均 年 齢 66 歳

「ストームの歌」も追加し 均年 行っ 「永遠の幸」も吹き込み、 1 月 22 日 日には 継 21 た。 世紀、 齢 いでいって欲しい。そんな思いの同窓会諸氏を中心 20 歳が法被・鉢巻で気合いを入れて歌 同窓会員22名の平均年齢 ・クラーク会館講堂で金武彦氏に斉唱指導をうけ、 宮明代氏ピアノ演奏のもと昼2時間かけ録音を 栄えある 「都ぞ弥生」 夜の た。 「新年寮歌歌初めの を新入生 66 歳 現役寮生9名の 諸 かった。 会」での 同時に 平

が少し 業も 紙270 我 ï が集まり「祝入学 い限 々の憶いをつなぐ若い力 0 った。 が でも育ってくれ 北 歌 りである。 0枚を張り付ける作 極星の下に 41 この C D n しに込め の自 るなら 恵廸寮同窓会」 の C D ケ

市



生に贈る「都ぞ弥生」CD にのし紙を る同窓会員

# 寮歌を録音、CD化する喜び

### Ш 原 幸 則

(S32年入寮

歌という発想は n には伴奏付は アスピリットを色濃 れ、内村鑑三、新 ただきました。 伴奏によるデジタル録音 限 ぞ弥生」生 らず、 した寮生 北 良 ぞ弥 一であっ 渡戸 ありませんでしたが 海道大学に学ぶ学生に正 誕 11 選択肢と判断し この企画 1 、稲造らによって継承されたフロンティ にく残す「都ぞ弥生」、「永遠の幸」 0 と札 た私にはピアノ 0 年の記念事業の を .幌農学校歌 ・CD化に携わる機会を与えて いただいた時、 て快諾しまし 、伴奏による寮歌 クラーク精 7「永遠 しく歌われ 環として 恵迪寮で生活 0) た。 幸」 神に る 企 0) ピア 育 た は 8 寮 ま 校

高

0)

w.grew.grew.grew.grew.grew.grew.grew.gr

を傾け タル D マ ス 館ホー 寮歌 なっている学生にとって、 n で構成された艶 よう 収録は金武彦さん その CD か うつ タ 校歌に対する情熱をPCM機種 ル で進 1 歌詞を辿 -盤とし オー ずさむ め は今や音楽が生活の ディ られ、 のある合唱を音響効果の て同窓会にお渡し には格好の音源となっ 才装置 んの指揮 北大生になった喜びをあらため ŋ 会場での生の歌声 ピ ピから流. PCのヘッドフォン端末 ア 0 Ť 0 恵迪寮OBと現寮生30 X れる北大を讃 部に欠かせな 口 することが デ に ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゚ 収 ĺは 優 たの め、 勿論 1 れたクラー に では どえる歌 最終的 でし 合 出 [せて 4 て実 · 存 来 た が、 -ク会 ま 在 に S に C 耳 1 名

> に胸を膨らま ろん 広く なグル ·擁する総合大学で共に学ぶことに共感 せて歩 ] プと共に吟唱する機会を通して、 む魁となることでしょう。 文系• 期

春夫の して、 がおり、 恵迪 明代さん伴奏で歌ってい マラルメなどを知り、 製作 0 交流を通して、 「都ぞ弥生」の は高校 拓に携 場となりました。 寮に入って 恵迪寮での生活は仏文学研究室という同室の方々と へと結びつきま · 酒 当時の わ 0 歌 担 った祖父の抱 恵迪寮食堂で彼 からその思 任 ヴィヨン、ボードレール、アポリネー 歌詞 煙草・また女」 教 諭 の勧め その後の人生を豊か には1 Ū その中に1年先輩の ただだき た。 41 11 20年 を強く感じ もあって北 た情景と重なるもの が を昨 高ら 収録し 前 年ピ かに 计勝: たことが今 大に進ん ていきま アニス 歌 大平原 酒井誠一郎さん にしてくれる最 41 ŀ. <u>۱</u> げ がに 移住 した。 が だ た佐 あ 0) 0 Ď, いです 0 そ 藤 宮

領域 こうした恵迪寮関係者との交流を通してさらに 0) 私には 叶 わ な 4 としても、 音楽家との出会い は、 を 薬学 介

D

構想に 変奏曲 て「都ぞ弥生」 ろです。 を主題にした 東京都 ているとこ に夢を託 (仮題) 板



収録からミキシング、 マスター盤ま でひとりで手掛けた川原幸則さん

### 特 集 II

# 都ぞ弥生」

書刊行会発行) 大寮歌 作官・ 横山芳介の足跡」 ぞ弥生』 から抜 の 作 詞 (北 海 道大学

番 官 横山 地 で生ま 一芳介は 光次郎の長男と n 明 治 四 年 て 東京· 九 清 神 五. 田 月 X 駿 八 月 河 . 台鈴 貴族院 木 町

几

札幌 ,学校を東京女子高等師 高等師範学校付属中学校で過ごし、明治四二年 に卒業した。 0 東北帝国大学農科大学予科に入学した。 翌年三月、 節学校: 東京で入学試験を受け 付属· 小 学 中 -学校 7 九 を

### 然 に V か ħ て北

である 至札 0) h 山 農学校学芸会編 だ は 年 0) 幌 東京高師: は 二八九 が 旅 明治35 誕 増 行 風 案内」 物 補 生した経緯 付属 年 社会が学問 三版 を友人から借 には が 中学校に であっ 加 に だと現状 東京の わ 札幌農学校入学の栞」 つ た増 たと思っ 0 入 が書 裳華 探 りて読 求に 補 た年に『札幌農学校』 か わ 第 房 から出 は最適であること n n てお 版 る んだ。この がが 、これ 出 版さ り、さらに、 た。 n たも に Ш

> が 強 され 7 17

学中に るとい メー 出るに 改訂 幌 幌 が うことを綴った名文が好評を博した。 0 ま 版 及 幌農学校は東北 四 ŋ [季が青 崩に h 世 を通して横山 校 べで、 蕳 は に 植 春 にわ 知 えつけられたことは想 0) 5 0 心の涵養に大きな役割を果た かに 歴 帝国大学農科 の心に札幌農学校 史 だ若者の کے な かったが 関 0) 心を引き寄 大学に昇格 風 像 を —農科大学 横山 育 に 0 難 改 h せ、 が 中学在 たが、 L な 版 41 のイ 7 な か が で 世 41

Ł

### 春 の 魂 と魂 が触・ れ 合う恵迪

ラー 寄宿 て探 業以 が して が 教訓 を喚 ?残し 舎の 触れ 求 クなど多くの先 0 何外 風 0 ŧ の時間 た崇高 起 生活を行っ 合 を 後 高 恵 が 形成 等学校 妯 身 かに f て止 であ 寮 次にはれ になる 継 そ ₽ は れを出 さらける ま ŋ すべて寮 は てい 全寮 札 たの 発点とし 出 制 幌農学校に であっ の中で過ごした。 である。 純粋に燃焼 た。例 て無限の は 恵廸 初 0 寮 可能 する青春 生 な札札 顗 自分を白紙 であ 性 に向 視農学校 つ 0 魂 か つ



そこ

雄

学生時代の横山

### 

この 雰囲 て農科大学予科 幌 吸 気 引力 が 満校 が ち 強 17 でく働 ・う言葉を耳 に入学してきた本州 n 7 11 41 たとい た。 にするだけで迫 う。 な など か ~でも 0 津 若者にとっ ってくる 軽 海 峡 異 を 7 渡 様 は つ な

北辺の 妯 山 地 トに は 0) を開 開識 伝 書き留めた。 統 こうとする熱気 によって自 社 主催の新入生 らの 略 思索が 歓 が充満し 迎 会に出 深 7 め 5 77 席 たの れ L て、 てい を痛感し、 くだろう 参会者に

### 読書会、寮機関紙編集に参

予科三年生の谷村受いたりする文学的は 集委員 くとい 間に 化学科卒業) て、 三年寮歌 に 友達との手紙 案で たりする文学的感性 仰 定 が 9 ぎ、 あ 廸 う恵廸寮 呱 寮生 7 元 0 年であ (々の声 つ 4 寮機関紙 2 「帝都を 人に 当時 たことを を中心に 0 は 0 る。 やり取り なっ 0 をあげた。 生の集まりであ リズムを 7 月 31 略 行愛之助 新進作家の作品 『辛夷 た。 に に 一年 恵 が目を覚ました。 ŋ 日 また、 横 0) 廸寮史』の中 をノートに書き留 (こぶし)』 つ (第三七期恵廸 0) ま ドイツ語 作詞者。 かん Ш 恵 でが明治 [も発起・ 廸 だ。 寮生 凍影社とい つ を取 た。 が発刊 145年で、 大正 そし 0 活を終えて、 人に名を連ね Ö これと り上 佐 まず、 「思ひ出 夏寮委員! て、 |久間政一教授を| 4年農科大学農芸 ・う名前 され、 げて読書会を開 8 たり、 中学: 機 8 2 月 17 長。 を 卢 0 同じく 1日日 た は 横 校 横 恵 明治 詩 時 横 Ш 「凍影 山 廸  $\exists$ を 山 は 代 は か  $\mathcal{O}$ 編 顧 几  $\mathcal{O}$ ょ

注目されるのは、この時代の寮歌が『辛夷』の編集委員

『辛夷』 ばきは鮮や どこぞって 第三部卒業)、大正三年寮歌「我が運命こそ」の 年に 左手に持ち、 記 違って自信 ょ の役を買 歌 つ 7 0 編集委員会に出席したときの横山の 作られ 「幾代幾年」の つて出 かというほ と輝きに満 『辛夷』 これを巧み たことである。「都 たが、 の編集委員であった。 時ちてい か に回 毛筆で書く書体は はなかったという。 木原均(大正七年農 たとい し ながら書き流 ぞ弥 う。 生の 横 凍影社 流 山 表 麗 は 科 情 樋 7 Щ 大学農学科 ば の集会や は 17 普段と 巻紙を く手 桜五 大正 びば筆

では 無理 弥生」 作の応 定に 受けることに 誰 0) つぎに 経 からとも に緯を関 り 募作 ない があ 関 を選 しては二 かと思 る  $\ddot{o}$ 寮歌 大正五年農科 |係者の| ので、 中から楽譜選定委員 なく横山 んだというも になっ 0 一つの説 誕生であ わ たとい 口 n 両 る。 想 説 に 声 を か が 大学畜産 きある。 折半し でら追っ のである る。 うものであ が かか 明治四 つかり、 てみ る。 の赤木顕 学科第一 たような方法 一つは公募説であ くる。 も う 一 うると、 仕方が、 五 年寮歌 部卒業) 次 かし、 なく (「都 つは指名 71 で決 ずれ 0 横 作 ぞ弥 とり、 山 が ま 寮 詞 0) 「が引き つ 説 歌 説 「 都 ぞ 者 たの にも 誕 で、 0) 0) 生 編 選

### 山の詞に赤木が感動

横

こんな一文を書い 所 収 赤 木は お ょ が「北 都ぞ弥生』 大寮 7 61 歌 る。 を作曲 0 思 41 した頃」 出 『都ぞ弥 (『恵; 廸寮 生 ぶよ永遠 所収)

君から受けた。その時私はこういう意見を述べたことを「『都ぞ弥生』を作る相談をやはり同窓であった故横山芳

が

の歌詞を作

曲

するに 1

至

つ

た

動

機

は、

作

詞

0

動

とは同り

室 よく

0)

よしみで、

作

詞

0

気に入らぬ

人をチ

ヤ

ムする力

パがあっ

私 感

کے

彼 が

ところ

が

n

れば、

慮

なく

す

事

できると思うたの

で、 作

っ

7

み

ようと あ

っ直

た

0)

だ

か

ら、

ŋ

な P

が

5

さん

Z" 61

0

Ш に

ح な

喧

嘩

た。 であっ が

作

詞

に

文句をつけ

て直させ

たり、

曲

わ

n

7 Ċ

直

たり、

そうい

う意味では、

全く合同

赤木顕次

もっ 0) ŋ 富 が 歌に思 高 た 単 h は だ とも 4 47 調 あ 7 Ł メ ま 内 口 ŋ 0) る と変化 イを作 ₽ Ł あ たい

者

n

生は

たもの であ そこ りすぎたことを思い かた から、 5 0) った。 で二人で 何 出 今考えると、 17 この かこ 私は < 『藻岩の』 度 や 横山 そ か 0 調を私は私なりの 私 作 っとこれ  $\mathcal{O}$ 歌 はこ 君 曲 か 緑』を作曲する時 出し、 を何 0 語 随 に り合っ 手で出 分生 n 不都合と思 を読んでい ならと思えるも 度 今度こそは詩 意気なる ŧ 何度 来上 そしてそ 思 ₽ が わ いるうちに のに れるところ つ 11 たの をし H の感 のに 表 返 あ たもの 現 ま 1 が  $\mathcal{O}$ 仕 非 あ た。 L 動 ŋ 常 ĸ た に 上 を Ō し な だ 41 は 軽 に が 歌 ば まり込 らくし つ った。 と 率 お 詞 正 だっ そ に 激た す  $\mathcal{O}$ ベれ

> つ たよう Ł る

だ

す。

半

卌

間

た。 てお だと が ま を多かっ よう) に応じる人材 今日こそと思ひ定め n), 77 うが、 山 廸 ₹ 5 たとい 寮の中では 寮 n が 0) つぎの歌は 中に 都ぞ弥生」 う。 ŧ す 玉 Ź 玉 家主 家を しその日さ の自覚を促 つ ま その を作るにあ ぼ で 露 う、 う、 義 離 戦  $\mathcal{O}$ が苦悩 をめ 争 n 横 て 0 17 Ш (D) ぐる まこ す 勝 は たっ 生 利に ベ 端 陰湿 しとする そ国家の 0 をうか てこの 意義 よる に な 対 に厭 が 煩悶、 吉 須 世 わ έ) 気分 が î いせる。 ~見ら 噴出 する で悩 ю () が

が なく紙を塗り散ら

た目が U 三月二五 込ん まっ [を瞬 パできた時間 白 か ~せ、 そ れか後 ようやくペンを取った。一刻、布団から頭だけを出 らの 数仕 上げ 時 間 は恵廸に 後、は声 窓か寮 5 の自室 卓 春 た で 0 横 夜 あ 遅 け は ぼ 充 0 か 血が 5

えて は 恵 生し から、三 たも その 人の 廸寮第六回 つぎの 批評 0) で 節 あ が 行に一 ځ どうでも自分は ることを以て慰みとすると走 几 0 節 寮歌を三月二六日 節 に手を加 から五節までを清書し え、 かなりな努力を以 ようやく 0 朝 漸 た。 都ぞ ŋ < 書 き 書き終 弥 此 ŋ を 歌 な つ

北 が 一時の 信 大地 倒 的に 高等学校 Ш 感 0  $\mathcal{O}$ に 四 多 激 ] 季 か ず る 0 つ 0 1 寮歌 風 た。 کے に は 景 61 そうし、 恵 う に 0) 魂 護 主 廸 寮 を 国 流 託 た 調 か は、 ŝ 風 0 手 た意 玉 潮 Ł 家を 稲 0 0) 义 中や 山 を 自己 憂 は 仰 何 ぎ見 だ 横 陶 っ 酔 Ш 10 調 治 が 0 あ 0) を だ Ł 称

に が あ ほ る。 0) を ど偉 を感じたとも 触 が n 寮 11 大な・ るこ 純 憧 0 化 中 n 存 とに され、 る 0 在だっ 玉 不 書 ょ 恵 家 より つ 議 主 11 て、 な感情 一義を た 7 い激 0) であ る。 幼年 8 ぐる 41 が る。 横 生時 溢 Ш 代 対 n 0) に に 立出 とっ 執着 蝕 を てくる ま 乗 7 がれ り 込み上が 北 越 0 う 大 自 地 げ は

### 五 節 の 貴とき野 心 に 苦

Ш 等 ほ は と が 0 後 寮を こばし 藝 に 術 な 誇 って、 りも らず (たくみ) 7 第 五. 貴とき野心の をなつかしみ 節 O訓 培 い 栄 高 鳴 え る 行 血 潮

そ 季に よる大 間 0 部 法を を 移ろ とし 0 Ш 分 が 野 は に て当 漂 志 札幌農学校時代 77 心 最も苦心を払 づ け で とは金 野 つ で あるこ 然備 心 る 7 あ Ď, か と表 えて 銭 ることを 0 とを主 以や名誉 そ ように、 現 0) 11 っ な た 野 か 指 張 け B ή た 5 ح 「都ぞ弥 n 出 か 恵 摘 友 を する識者 ようとし 育 人 ば 世 つ 廸 。 の た な 寮 に む た 風土こそ 5 0) に 生 では 脈 者 な 8 亡の詩 には た  $\mathcal{O}$ 41 々 少 0) ヒ 野 な کے 7 なく に 北 調 ユ 望 V) L 11 る。 だろ に 違 ] で  $\mathcal{O}$ は は 大 7 17 ニズ Ś な 61 重 な 地 お n 々 41  $\mathcal{O}$ 7 そ ム 四 4

に

誕

た高等学

0

歌

もほ

五.

調

で

Ď,

む

L

高

校 生

寮歌 L

は

五

調 校

に

固 寮

宣定され 、える」。

ることを逆 とんど七

手に

つ

てその

由

を持

つ 七

41

そうし

た風

潮

0 取 あ

中

だけ

あ

七

八行という形式

をとるの

だが

か

7 え たとも

北 て八

海

ک 調

41 う

土 前

に

L 61

べ重

るいに

た

例

と 道

うし 風

### 溢 n る 八 七 調 八

詩治 調 後 を分 期  $\mathcal{O}$ 佐 農科 門 は 7 大学 4 旧 る。 予 制 科 高等学校 そ を含む高等学校 れ に よれ ば、 校 九 風 校 高 0) 0 歌 代 「鳴呼 表的 (あ 寮 で あ  $\mathcal{O}$ 明

す

調 0)

型 成 え が

想

ま کے ま 述

上

げ

が

足

ŋ は 功 つ

な

11

4

う 情 11

意見は 緒を意 えよ

古く 0

か

5 に

あ 歌 7 々

つ 61

そ る n た 六行 17 高 たゞ ず 士 9 であ n 館 0) 夫原 血 ŋ, 詩 北 高 を 0) 調 頭 盛 0) は 辰 デ 高 る 七 斜 五 は 高 調 軍 は Ŧ.

は 7 癒 然

だけ 学予 は高 行 吹 ハおろ 行 ま で す で ある。 ある であ での そ が 科 ベ 7 0)  $\mathcal{O}$ 例 外的に 後、 代 ることを指 Ō 七 都 五. 表的 は 大正 調 ぞ 高 七 弥生」 八 な 0 か 七調 寮 基 本 歌 大

五. 0) 9 時 代摘 操

陵の

こと八

高

が生まれた頃の恵迪寮生たち。 この中に横山や赤木の両君も 写っているはず(北大付属図書館蔵)

る。 等学 触 11 がの あ 寮 ŋ 歌 さぎよ が 男子 七 Ŧ. 0) 調 とし 歌 に で 古 な あ 執 る 61 L 風 寮 た 潮 歌の が は は あ 自 然 つ た  $\mathcal{O}$ 七 から 情 調 感 に で に は あ 細重

事に 大地の アメ Z が され もと 0 融 異 ŋ できたの 風 力 色 た Ł 0 流 本 کے 玉 州 0 で そ 風 自 な 家 七 どの あ n 由 0 調 横 須 に 主 優 義 要 山 高等学校と違 0 詩 n に に た横. 安らぎをも よる 応じる人 詞 に情感溢 建学の 山の表現力 61 材 れる詩 たら 精 0 神札 養成 の三つ Ū が幌 た厳 情 脈 を目 0 農科 を盛 打 0) しく 的 つ 要素 野込 とし 7 新 61 が見 鮮 むこ た。 に 7 な は

す

\*

イ

永 最 昼 集会室に集まり、「難し 遠 後 は祝賀式と午餐会があり、 オルガンで練習をした。 な文字で書いた詩が張ら 0) 0) ぞ弥 名 クラ 寮 生」が完成 Ź 歌 7 が 生ま ックスで寮生 ñ すると、 た 11 0 寮歌だ」などとい であ 四月八日 ń 恵 夜は夕食会と夜会が る。 夜 同 廸 が に 寮 『が恵廸』 なると寮: 階 都ぞ弥生」 0 寮 集 11 なが 会室 0) 生 記 は あっ、 念祭で、 を 0 之 壁 た。 五. 赤木 に 々 大

萌 を B 都ぞ弥生」は疾風 歌 海峡 旧 る 前 う 制 高等学员 を渡 習 中学校では 慣 つ いって広 は 制 が で北 想 あ 校 高校 像 研 つ いく歌わり 大予 た 毎 究 0 のように北海 に 寮歌 難 调 ( 校 科 行 (風·寮歌 は れ 0 わ 高の れる徒歩旅行 るように 中 4 学生 都 で弥 「仇浪騒 道 ま 論 内を によって全 編 なっ 駆 日 によ 書は が新 で旧 け 巡 り、 制高 先に紹 国 た n 高 早々 駅 校 加  $\mathcal{O}$ 介 が わ 0) 寮 紅

> とを許り を が は 逍 組 そ 北 すし 都ぞ弥生」であっ 遥歌 H 0 大 あ 生 とあ なども含まれ 節 41 に に 接 寮歌を 5 は する たといったといったといったといったといったといったといったといった。 「とき とき う。 7 たことは 11 に 0) 寮 11 心 たと思っ 笙 青 あまに ح 書 疑う余い とも な 共鳴の わ ] る れる L Ł で歌う寮歌 地 なが、 0 靴 駅 は を 音 員 な 紹 を鳴 7 کے 介 のかな寮 は応援 らすこ L 後 7

肩

で 1 赤 付け 木は ル B 部 É 見 では 都 た。 出 恵 ぞ弥 原 L 迪 は 文 寮 生 0 あ 0 りませ ま を ま掲 廸 作 曲 載しま は  $\bar{\lambda}$ 現 が た頃 在 す。 読 みや 迪 (『恵: また、 す に 迪 統 寮 ように 原 ょ 文に 7 は 編 17 夕 ま

る 収 ため ح 11 う 随 )ます。 想を書 61 ていますが 本文中に引用され

所

あ

つ

たとい

えよう。

私

に

とっ

7

「都ぞ弥

は宗教の経典とも言えるも

# 特集Ⅲ 外国語版シリーズ(中国語・ドイツ

語

# 中国語に翻訳のぞ弥生」に魅せられて

賀 正太郎

須

(S28年入寮)

たのが、 先生は、私も埼石 学校の 0) 17 国民学校 寮歌 では 生は、 とって った俗謡を聴いて、「こんな歌は 昭 生は、 米軍 和 理 玉県の ない。 「紅萌 19 科大) 都 第一 私達 年夏 0 の日本本土 ぞ弥生」 学童集団 人と人との で弥生」 のゆる丘 高等学校 がが もっとまともな歌を歌 田舎へ疎開し を卒業したばかりの 太平 口ずさむ 立の花」 であ |疎開 洋 一への空襲も現 との 0 戦 出会 った。 争もこの が 「ツンツンレ ああ玉杯に花うけて」、 と た。 出 始まり、 いによって決 会い その時の 北海道帝国大学予科の 実 頃 お前たちが唱うようなも が 新進気鋭の 当時小学6 のものとなってきた。 え」と、 になると敗 口 正 上にそれ レロ まると 担任は東京物理学 ッー 教えて下さっ 人であ 色濃 であ 年生だった 41 第三 V う 返厚とな が 口 つ つ 一高等 恵 私

寮 歌 0) あるんだ」 歌 た私は、 を最 初 に 聴 の世にこんな素晴ら 17 た時、 今でいうカ 東京と千 ル チ 葉と ヤ 1 シ 4 湘 自  $\exists$ 南 I然を ツ 0 クを受け 海 謳 l つ か た知

たことを覚えている。

とめて東京へ帰 どうするの る事を知っ 来たが、この後大学入試 を期そうと覚悟を決 大学受験 歌を 0 寮試 思 な北大 た。 私 験を受ける」 か」と聞かれ 11 きり歌 は で り、  $\Box$ 将 [頭試問 来北 本槍で、 来年また北大を受け おうと、 め 海 たが、 と返答した。 の時、「若しも 道帝国 てい よりもさら 若し不 心 た。 言下に |大学予 に 誓っ 幸 に難 -合格 71 . 「その: 入寮出 た に入学をする 科 の時 直 L Ł 0 0 11 恵 時 来 入 で は 迪 寮試 浪 あ ない は 寮 人し、 荷物をま 場場 験 たら 育は が が あ

いる。その信念はたちもその気迫な 言えるもの 、際にその覚悟でいたことは嘘ではなく、 (信念は) に膨 を感じ らんでいった。 時が た 取 つにつれ、 ってくれたの (28頁下段に続く) 私 の心の・ では な 中 41 /寮銓 か と思 信 仰 衡 委員 つ 7



中国語で「都ぞ弥生」を熱唱する須賀さん

### 都城弥生

- 5。朝云流淌,金光照耀 东之边际,无边平原 山脉连绵,玲珑形状 白雪闪耀,青紫光芒 感怀自然,艺术天成 激情澎湃,热血汹涌 育我雄心,壮我大志

1.

都ぞ弥生、

紫雲流れ

### 都城弥生 (須賀正太郎訳・劉丹妮協力)

(中国語訳を日本語訳に)

春景色は一瞬にして、 花は色とりどりに咲き乱 花の香一面に広がり、 宴の庭は湧きかえる 'n 奢侈は尽きぬ

一場の夢、 我が心満ち溢れ、 志高き青年

草木は鮮やかな緑

美しく咲きたる草花は色褪せぬ

人の世の、 群星煌めき、 清き国、 北の果てを照らす 心憧れるところ

2. 石狩の野、 豊饒の大地

羊群牧舎に帰り、 天の果てるところ、 無限の沈黙 雁の群れ遠く飛び去る

黄昏は染めぬ、 手稲の頂きを

5

朝雲流れ、

金色の輝き

力で、

私の拙訳を現代中国

の自由詩に近

い中国

雄々しく聳える、 エルムの梢

月の光輝き、 野分は原野に吹き、 屋根にこぼれ落ちぬ 厳かに仰ぎみる、 枝枝揺れ動く 北極星

3. 寒月は低く垂れ

雪橇声なく、

万物は凍てつく

我らが寮こそ、永き誇りなり

皆さんのご厚意に心からの

同窓生として喜びも一入である。

関係者の

4. 限りなく幸あれかし 春風そよぐ、 広大なりや牧場、 独りそぞろ歩く、 今がこの時、 純白の花びら、 桂の新緑、 水芭蕉の花、 雲雀高く飛び、延齢草の花開 春の息吹き この北の国 清きこと雪の如し 陽の光穏やかにさす 風に吹かれて揺れる 小河の畔 陽炎立ち上

東の果て、 遠大なる抱負を育て、 激情澎湃として、 自然に感じるは、その匠さ 山脈連綿と連なり、その形状玲瓏たりや紫紫 白雪煌めき、青紫の光芒 果てしなき平原 熱血は湧きかえる 我が大志 壮なり

ら感謝するとともに、

生涯

心の支えとなってきた

劉丹妮さんに心か

都ぞ弥生」の

百年記念

念にこうした形で参画

|出来る

くださった須藤先生をはじめ、

ていただいた。

私の

わがままを快く聞

77

7

朔風音をたて、 樹樹は重なり、 地吹雪、 樹梢連綿と蒼空に連なる 厳冬の暁の静寂、 千千に乱れる白雪、 雪を巻き上げからみつく 氷雪花開く、 狂えるが如く吹き荒ぶ 雪片舞い翻える 壮麗の大地

も一生涯の宝物として大切に持っている。

正に私

原野に舞う

通り越して今にも破れそうな本ではあるが、 に出版されたもので、

寮歌

集を譲り受けた。

戦 から

直

の物 和

な

時

紙質

も悪く、

既に黄

八ばみを

今で

心て間

もなく、

友

人

昭

26

年 0

行 4

0

恵

でない 劉丹妮さん 部の須藤洋 う無謀の試みをお許し願いたい。 るで異なる北海道の自然を中国語で表現するとい 見よう見まねで覚えたものだが、 漢語は十数年前、 訳する機会を与えて戴けた事は感謝に堪えない。 日本と中国の比較言語を研究されている留学生の にとっては そして既に喜寿を越えた老人が、 「理系」の私に . 一教授 (現一 「経典」とも言える存在 橋大学) 仕事の関係で中国に (今年3月31日退官)を通じて 「都ぞ弥生」を中国語に翻 を紹介され、 幸い、 言語、 なの それも「文系」 行った際、 風土が、 彼女の協 北大文学 ŧ

東京都小平市

謝意を捧げたい

### |涯の宝

# **俎訳「都ぞ弥生」はかくして生まれた**

東北工業大学准教授 **丹 治 道 彦** 

### はじめに

ていま らっしゃ I身者や 水産基地です。この地で仕事をされている北 3 月 11 恵迪 日 ま 0) せんでしたか。そのことば 大津波に襲われた地 寮同 ]窓会の皆さんで被害に遭われた方は 域 は、 ζJ か りが ずれ 気に Ł 大水産学 か 玉 か 有 部 つ 41

R常磐線 転と警察官の適切 0 その後数日通信が途絶えてご心配をおかけまし 私自身は3 自宅も無事 地駅」 卢 で母 13 日 で津波に遭遇しました。 [の茨城 親ともども元気に過ごしてい なる判断で九死 寮歌 ふで 水戸 に一生を得 に 遠 幸 征 ました。 Oたが、 乗務 ・ます。 途 員 J 塩 0

### トイツ語で歌える歌詞.

関口 と依頼を受けたのは、 済みです」と言われ、「 余ります」と固 光雄さんから「都ぞ弥生」をドイ 0) 寮歌祭で知遇を得 辞 し、 一昨年7月。「小生の 都ぞ弥生」のドイ たものの、 た北 大恵迪 「す 寮同窓会東 · ツ 語 でに本部役員 ・ツ語訳 如き浅学の者 に 訳 日本 が始 してほし 会で 支部 ま つ

逃げ出したい気持ちを抑えて頭を抱えることほぼ2か

「楽譜に落してくれ」との依頼。「あ ば していませんでした。 ヒルデブラント形式という訳を作って届け 、歌える)版の作成に取りかかった。 ヤンブスとダクテュ 。もう少し時間 ルスを交えて、 を下さい」と答え、 の曲で歌うことを想定 交差 ると、 脚韻。 殴さえ踏 今度 は 可

の曲なのでトロヘウスを用いた。脚が使えない。この寮歌は近体詩には珍しい八七調。強起『都ぞ弥生』は弱起の曲ではないので、弱強や弱弱強の詩

### 心した「弥生」の訳

Müller die Zeit ist kommen" (さあ、 kne Blumen" 🛂 Der Mai ist kommen, der Winter ist aus 避けて「春」とした。 なった」という歌の方が多い。 である。ドイツでは「春が来た」という歌よりも は桜の季節はとうに終っている。 かしくな 0 (5月になって冬は去った) などの用例がある。 訳である。 初 稿 0 時もそうであったが、 しかしドイツの3月といえば、 "Des Knaben Wunderhorn" 本では3月ともなると桜の schöne 過去分詞の kommen は韻律を整える Müllerin"に収められた, とはいえ日本だと、 時は来た)、また Wilhelm まず苦労したのは そこで具体的な月の名は 花 が咲 まだ半分は冬 ♡ "Wohlan 5 月 で 「5月に てもお

だろうか。『都ぞ弥生』の一番は、花のお江戸で合格通知をと、それを愛でながら美酒を酌み交すあの雰囲気が表せるしかしドイツ語の Luxus で、辺り一面に咲き誇る桜の花「尽きせぬ奢」であるが、「奢」は確かに「贅沢」である。

果し 手にし が浮んだが、これではあまりに散文的である。思い切 る北大構内をイメージして grün を二回繰返すことにす Paradies と訳し、 frei"(思いは自由だ)が念頭にあったからに他ならない。 「想い」を複数形に 届ける頃には、 ではない 世の清き国」は dasreine Land der Menschen という句 地 星影冴かに光れる北」 こうして原案が出来上り、北海道支部の金武彦さんに なく広がる に 憧 た若者 にれる様を 」と取ったのは、 が、 を詠 紅葉もあらかた散り果てていた。 旧恵迪寮裏手の 花見の宴を楽しみつつも、 したのは、 んでい 永かれと祈っても春の季節はとこしえ は、 些か強引であったろうか。 る。 学生歌の "Die Gedankensind 思いの他素直に訳せた。「人 そこでこの箇所 原始の森を始め緑 まだ見 を 想 心したた 2 この 5 61 北 7 は 0

た。 けられた。 Feldern und in Wäldern Winterblütenglänzen である。 壮麗の地」を「北の大地」 訓へ培ひ」 原曲で歌えるようにするためには、 むところ)という形で初稿には入れてあったの Land, wodie Jugend die Hoffnunghegt Hause auf den Feldern...Zu Hause inden Wäldern...に助 Rosengarten" この箇所の訳に当っては、 7 欲しいという要望があった。この三つのうち、「樹氷咲く その際、 実を言うと「貴き野心の訓へ培ひ」は、Nachdem 「栄え行く我等が寮を誇らずや」のどれかを入れ 「樹氷咲く壮麗の地をここに見よ」「貴き野 所収、 "Auf の形容として詠んだのが Hermann Löns der Feldwache"にあるZu 断念せざるを得な (若者が希望を育 "Derkleine だ。 しかし Woauf 心 か 0



ドイツ語が得意な氏平北海道支部長と壇上で 合唱する丹治さん(左)

von Keitekiryo! (我々の学生生活万歳! Studentenwohnheim では韻文訳にならない」と思った。 活万歳!)という句が浮んだが、やはりヤンブスとダクテュ に大きい制約だった。 ルスでは歌うことができない。「可唱性」という条件は意外 の後で Es lebe unser Studententum, Das Stu-dententum ま た 常 え行く我 等 が 寮 を 5 ず *අ* ∟ 恵迪寮の学生生 は、 <sup>r</sup>unser そ

始め から。 強 かくして何とか完成稿を届けたのが、 できたからであろう。 の仕事を成 の会で披露させてもらった。 明けて1月30日、 し遂げたのは、 恵迪 拙訳が現役もOBも含め 寮同 P は !窓会北海 り独文科でド 師 道支部 走 の声 の を聞 イツ語 て恵迪 寮 歌 17 を 歌 7

ただけたのは望外の幸せである。

寮の皆さんに喜んでい



10 17 号 で 校正 意と異 前の初稿を載せ 掲 載 ましたが がのか 独 編 改 L めま 7 61 0 違 掲翻

### 寮歌物語 ) 寮歌 「偉大なる北溟の自然

(昭和39年寮歌

# 「偉大なる北溟の自然」

作歌・作曲 司馬威彦

### (概あふれる青春の砦

都市 た時の についてはテレビ等で知ってはいたが、こんな凄 で伸びた髪、 し 雰囲気の中に古色蒼然の気を辺りに払い 起居する寮がまだ残っているのかと感激 囲を圧するもの の受験会場で、初めて後の応援団長、諏訪正明先輩 と恵迪 そし か くの ず の中心にありながらも北国の原始樹 て四月、 ぼらで面 n 感動は忘れられない。異様に澄んだ大きな瞳 寮に魅せられて北大を選んだ一人であっ るほどのゴミの量 憧れたこの 寮友諸兄がそうであったように、 そして素足に高下駄という強烈な存 倒なことが があった。それまでも恵迪寮 春未だ浅き札幌で初 建物は 何と、住 大嫌いな私にはこれ を抱え込んでいたのである。元 一人が耐る めて目にし 林に囲 つつ も一入であ えら 私 建 もま 0 とってい ま た寮は、 ユ n が性に合っ 全感は 二 ] た北の n る限界か に出会っ 61 人達が った。 た。 - クさ 詩的大 肩 周 ま

> たの 快にさえ感じ か 仮 宿 2 日 目 たも にはは のであっ 痛痒を感じ た。 しな・ 11 ば か ŋ か む しろ愉

たり、 青春の砦、 寮生活の あった。将に「巍然四寮に立籠もり……」の気概あ そんな寮の思い出は尽きない。多くの友を得て、 寮歌を高吟したり、ストームを楽しんだりと存分に 恩恵を満喫できたことは何 恵迪 寮ならではと言うべきであろう。 よりも代え難 語 11 幸せ り合 Š で る

### ほれし寮歌に無謀な挑戦

完の ピック開 部同 L 感じさせる北 が によって表現し く燃える青春 歌 してオレも」という心境の変化を起こさせたのだ。 元 いに込め 元々私に かし さ 前年の って 原稿を抱えて競技の合間に何とか仕上げたのが11月。 期 寮 始めてみると歌詞の完成は難を極めた。 0 宮田 催 歌 たかった想いは峻嶮な中にも毅然たる雄々しさを とって高嶺 によりボートの全日本競技大会がずれ込み、未 0 凋落 話 睦 の命の躍動への讃歌であった。これを文語体 の自然の美しさ、 彦君 に移ろう。 、序と結を備えた構成とすることに決めた。 正 の花 の作曲で選定され に秋深し」が諏 であって挑 寮の象徴 気高さへ 訪先輩 戦する気などな であり魂であ たこと の頌歌であり、熱 の作詞、 が マワ 東京オリン る 私が よっと かっ 寮歌 ボ j 寮 1 た は

ず 0 が寮生投票に 年 8 切 は 偶 ŋ に 々 間 水 より選 産 に 生追 合 41 ば 出 そし n L コンパ た てさら 0) ぞ での あ に 幸 新 寮 17 歌披 なことに 露 Ł 我 行 が わ 作れ

> 0) 0)

「非才といえども作詞し と曲の応募者が皆無という最悪の事態も考えられ 当選だけでも望外な幸せ 法が皆目見当がつかない ることになるのだが、 など到底あるとは思わ さて次に、 であったが、こ すべき曲 メロディー 0 た者として責任を取ろう」と決心す 有様であった。 کے 詞 な 0 思っ 公募が か 0 つ 「曲の付けったので 7 を考えても譜面に移す方 行 の付けにくさ」 41 われる た私は自 我が事終 わ 分に音楽 け だ た。結 からする わ が 楽的 n *b* 詞 局 0

しまっ 者は北 たことで無謀と思わ 姿が見えなくなってしまった。大恩人なのにお名前も忘 歌うと神業と見紛う早業で鮮やかに五線譜を音符 とメトロ ちで しか 0) お つ返事で引き受けて頂けた。 ている寮の先輩とのことであった。 礼 たのである。 大に入学したも 1も差 つ ここでも僥倖が ぱ 1 41 し上げず、 ムの音が聞こえてくるでは である。 n そのうちお礼でもと思ってい 0 たダブルプレーの 思い出す度に感謝と申し訳ない とまれ、 の初心忘れ難く、 訪 れる。 そして、 こうして曲までも選ば ある日 当方の 夢が実現し な 思い 芸大再受 いか。 娯 楽室 悲 通 で埋 るうち 壮 ŋ そ か たの k 験 5 な 0 め 願 を 私 演 気 Ħ n 7 が 61

一根を取る り払 ような場は 迪 寮 互 کے どこに 寮 41 歌 0) 熱 に あるというも 61 つ 交 11 わ 7 りを 述 ベ る。 促 のでは はす不思 迪 な 議 寮 な力 61 は が 心 あ  $\mathcal{O}$ 

> たびに 統行 0 宝 先 情が全身を満たすのだ。 事が と言えよう。 人 限 がが りな あ 守り築き上 る。 11 懐 寮を巣立ち、 そし か げ しさと、 た伝統 てその 齢を経 戻りえない 根 あ 幹に つ 7 た後 寮 のことで、 歌 ŧ 珠玉の日 が 寮歌を高 あ Ď, ま いさに 々 唱する 多 0) 北 0) 愛 伝 大

自治寮の伝 て大学を支え続けるであろうし 寮生らがこの 統と誇りを忘れぬ 恵迪 寮 0 得難 限 ŋ 永劫 11 北 価 大の 値 に !を自覚、 亘り青春 精神的 の砦とし 支柱とし 識



今でも寮生と寮歌を歌い続ける司馬威彦さん(左端)

魅了し て全国 あろう。 、札幌市中 続 [の若者を けるで

### 彷徨えば夕陽の楡陵に「宵闇はかそけくも訪れかりそめの宿にはあれど「忘れ得じ若き日の遍歴」 願わなん永久の栄えを 恵迪の寮故郷の上に 斗い苦悩み寮友と語れば などて疾く過ぎ行く二年の春 輝ける北国のたくみよ。されど優りて美しき自治の伝統よ 野に満てる清冽の気は 偉大なる北溟の自然は されば我が寮友よ腕むすびて 我等が愛し誇らん自治の砦に されど視よ我等が周囲を 睦みてし真心と友情に 篝火は赤く燃えたり 嶮路遙かに辿り来し **飈々の北風は荒び 白銀の華大地覆えど** 仰ぎみるエルムの梢に 萠え出ん若き情熱は 先哲の行路を慕いて「思索胸に楡陵を歩めば いよよ増す静寂のなかに 永劫の影宿す原始の深森よ 若人はひたぶるの愁いを秘めて「異邦ゆ憧憬れ集いぬ そははろかなる。古より 汚れなき美の世界なれば 暴逆の。誠は課されんとす 邪悪なる権力は四方に荒び 雄々しくも気高き情懐もて 我が眼前に限りなく広ごりて 今ぞ正義の旗を高くかかげん 遊子が胸を今や満しぬ 偉大なる北溟の自然 馬威彦君 (昭和三十九年寮歌)



### 見寮生から

# 先人の教えと伝統の下 新しき自治を築こう

恵迪寮第296期委員長田中泰司

 $\widehat{\mathbf{H}}$ 

20年入寮

、先人の残した燈火 心有る寮友よ 絶やさず思い見て 点そう絶やす事なく 点そう絶やす事なく

恵迪寮を創っていこう」と前向きに 自治の灯を絶やすことなく、 とえ姿形が変わろうと、自分たちの 寮 しまい、 に移行する直 った寮歌である。 が消えるかもしれない。 なりに解釈すると、「新寮移行し 4 番の歌 は 俺たちの思い出や伝統ある 昭 訶 和 前 である。この歌は現寮 52年度寮歌 に作られたもので、 「新な燈火」 だが、た 新たな ラ

る。かって元気をもらえるような気がすめって元気をもらえるような気がすあってもこの寮歌を歌えば次に向感じ取れ、どんなに困難なことが感の中に、そんな気概と教訓がこの歌の中に、そんな気概と教訓が

に、 身にしみて感じる。この間、 ことも事実だ。 あり、この寮に生きてきた証なのだ。 文化がある。それは悲観するもので らわずか3年し 生が去り、 口 の先輩達と認識のギャップを感じる はなく、我々が悩み考え、議論し合 いった文化や、新しく生まれてきた な変わり目だが、僕が入寮した頃か てきた。時代の流れから見ると小さ ディー 最近、寮歌に 4月になり恵迪寮では多くの 自治を守ってきた成果の現れで 寮が大きく変化してきたことを や歌詞、 また多くの 時折、 ついて恵迪 か経っていないの 「都ぞ弥生」の歌い 今の寮歌のメ 新寮生が入っ 寮同 消えて 在寮

> しく、 てい アイデンティティーとしても素晴ら 酒を酌み合うことができ、 からこそ、 伝統をない からといって先人のつくった歴史や 番しっくりくると思っているが、 れがあるべき姿だと信じている。 も我々現寮生が創るものであ だけでなく恵迪寮の 方は何だ……と言 のは我々だという思いがあ 昔の寮歌にしても今の歌 ただけれ 今でも引き継がれてきた寮歌だ 誇りにさえ思う。 がしろにするわけではな 一緒に肩を組 わ 沈寮を創 'n 在り方に る。 んで歌 る。 自治寮の い方が 言ってい 反論 Ď, ついて 17 寮歌 z せ

ず後輩達に伝えていきたい。うと、我々はその伝統と教えを忘れてれから恵迪寮がどう移り変わろ

(農学部農業工学科)



定めて新し

71

時代を創って行こう。

あるが、

自分たちが守るものを見

変わり目というの

は、

何か失うもの

僕はこの

寮歌が大好きだ。

時代の

### 現寮生から

## 平成22年度寮歌「野性に吠え」

作歌・作曲 林 祥 史(H20年入寮)

# **〜オルガンとオカリナで作曲軽快なワルツ調**

が選定された。 平成22年度寮歌に、林祥史(よし

林君は、愛知県立一宮高校出身で、文学部西洋哲学科4年生。昨年春、イギリス・オックスフォード大へ短ないと決意し、退寮記念として応募助留学した際、もう二度と寮に戻ら助るで、帰国後、思うところがあって再び寮生活に戻ったが、皮肉にも秋

た歌の内容は、これまで安逸に過ぎが込められている。た寮生活への自省と、伝統の名ごした寮生活への自省と、伝統の名

ルガンと寮の正面玄関ホールにあるメロディーは、部屋の古ぼけたオ

り、 集め、 なワル 壊 オカリナも駆使して作曲した。 22年度寮歌の応募作は7曲 n 最近にない激戦だったが、 か ツ調と歌 見事1位 かったピアノ、それ に輝いた。 いやすいさが支持を に趣 軽 Ł 味 侠 あ 0

が、こ す。 L 生を送りたいです」と話してい 嬉しい。 を飾ったことを誇りに思っていま か ています」と、満面 林君は 4年生になって就職活動で多忙だ は分かりませんが、寮歌集の してムダでは また寮に対して恩返しが出来て 社会に出ても恵迪寮の4年間が 選んでもらったことに 「新風を吹き込め なかったと思える人 『の喜び。 たか 1 ~どう

T Ver si



### 5番まで全曲を歌おう 都ぞ弥生」

0)

守 正

清き国ぞ」と憧れて石狩の地を目 という慌ただしさがなかった。「都ぞ 在 ŋ 校は夏になってから入学試験 学を卒業した。 時の のように卒業してすぐに大学受験 顕次は小樽出身であるが東京の 京生まれの東京育ち。 新学年が始まるのは9月で、 ぞ弥生」 **儚い夢と観じ、青葉繁れる夏、** 春を謳歌 の作者は やかに光れる北を人の 0) 当時の大学、 しながらも、 作詞 花の香漂う都 者横山 。作曲 一芳介は、 者 があ 世 の赤 東 現 0 中

入学した横山 たのであった。 0 眼 に に映った Ł 0

る者は3番を力強く歌

上げること

夕映えの美 そして昔も今も変わらぬ手稲 慕情を込めて「都ぞ弥生」 彼は自然溢れる素朴な北の大地へ 憩い草を食 々し んさだった。 える む 牛 崽 工 や羊 ル 4  $\dot{o}$ 0 を明治 群れ、 梢 0 嶺の 木

り、 した。 が、 たんでしょうね 句を書くと赤木が 45 苦心の跡 そういう意味では全く合同で作った くり溶け合って歌いやすい ける。そういう具合で歌と譜が 同 ることが に3番には原型をとどめ 0) ようなものである」と回 発表ぎりぎりまで推敲を重ね、 時に生まれ 年3月26 横山は脱稿後も4月の記念祭当日 後年彼は、「あの歌は う声をよく聞 赤木は 間 曲に文句を言われて直したり、 作詞に文句をつけて直させた 0 多い 関 が 見られる。 日に書き上げた。 係 「横山とはさんざん喧嘩 が た。 で3番、 「3番; 」と人に語っている ひとくさり譜をつ 僕が 雪国 寮歌祭 を歌 4 ひとくさり文 歌詞と作曲 想し 番 ないほどの いったい を割る 歌 の冬を知 てい 穴では持 が 出 愛す Ĺ る。 来 が

> び によっ に感じ、 えを培い栄え行く寮に生を営んだ喜 を1番の 生」全曲をそらで歌えるだろうか。 と言われて驚いたと嘆いていたが、 「都ぞ弥生は5番まであるんですね すことが出来るからなのであろう。 番で繰り広げられる春 高唱し、「ビー•アンビシャス」の訓 ら 5番の の幻想的 に浸らんことを。 願わくは、 恵迪寮の先輩が現役の女子学生に 卒業生のうち何割が「都ぞ弥 「清き国へのあこがれ」 な光景を想い描き、 「恵迪寮讚歌」 北大の誇り「都ぞ弥生 まく吹雪の 梢 の喜びを弥増 ね まで通し て咲く樹氷 しさを膚 続く4

東京都港区



### 〜故郷への想いもうひとつの札幌回想

(S32年入寮) **港田 開拓** 

皆たの 7 た寮 Ī が、 沿 n 私 革は そん 無 北 は 入 知 そ 大 n 旭 で n 多 な 7 |||く あ以 の理 11 北 た。 外  $\mathcal{O}$ 想 由 つ 高 にだき多 た 書 0) 11 か 出 5 北 物 が 身 かか、 に で昭 強 海 より 道 < 年  $\mathcal{O}$ に 和 知識 を 知 32 つ とるに 己 41 年 北大 7 を を 恵 は得 得 油

土昌古44概 の生に とし だ。 関 介 41 年 が 出 書籍 ~買 発行 す 中 に 7 氏 張 て前 Ź が そ で上 が 61 書 詛 序 が のあの 求 を 文 る。中 7 あ め籍 京 祖 せ 途 した折、 を飾 った。 北 に 名 父 高 F. 有望な青 るように を 海道 奥 る 神 8 方、 り、「 山 連 窪 た 0 田 農学博· 完著 ŧ 発達 地 神 ね 田 北 年 漁 保 北 7 清 0 史」 ح が 4 作 کے 宅 ŋ 町 大 海 北 頴 士 考 鼓 道 歩 界や が に というというも 北 開 え 脱 隈 は • 41 佐藤 奥 拓 す 新 で 海 Ш べ領 道

> よりア を排 1 5  $\mathcal{O}$ 道 最 北氏 進 n 中 圳 後 は 特別で和 考古学のA 8 身 方 は 1 史を 7 イヌ ?を通 札 15 9 玉 世 41 幌 1 人 紀 研 2 つ 読 科 工 )説明項| 一業高校 を 究され たの 人支 すると、 を 卒 隷 和 愛 であ 配 媛 人の 属 教 化 Í た る。 と貧 巧妙 方であ て生 諭 0 で、 経 海 で な を受 専 困 P 緯 道 就 がイ 化 画 0 5 か 策述ス 北 け 類 海

酷 ک そ L  $\mathcal{O}$ か 後 言 0) ア 17 ようがれ イヌ な 辿 つ 41 た 歴 更は 過

移治所治住27謂16 住 27 し 年 16 わ 年、 年、 T が た。 先 稚 祖 旭奉 小 公で 樽 は |||近 0) 故 郊鷹 独知郷立人・ 栖 のを 石 礎を 頼 に |||家 つ 粟 て来道。 族築 津 4 き か 人で 5 明 明

だに柔 本に L か ろう 11 方 41 で 塗 校 育 拓 7 あ 級 n  $\mathcal{O}$ た明 札 武 設 使 ₽ つ • た 士 立 薩 幌 • 黒 に 材 長 0) 治 0) か 子 Ł 踏 田 0 か政 • 官 も府校 弟 清 み開 流 費 隆 切拓 れ知の は 0 こぞ れ北 つ を は は 開 旗 た 薩 あ な 海 設 つ た 0 印摩 つ 61 道 は て参 ため たよう で にの 商 業資 は札 0) だ 懐 な 幌

な

が

も出来な

11

自分に歯ぎし

年ないに ずしも 造 学校 とし 背負 な あ 7 0) あ 目 間  $\mathcal{O}$ 11 後多く る。 で十 た。 か ろうし、 な 年 41 な が 輩 に う る 宮部 3 つ け か 11 キリス 2 期 ń た今、 た 不 か 翻 41 にた か 月 入 私 7 にばこん いように 金吾ら 5 弄さ 思 つ 材 11 は 0) 11 は が L は た れ ぞ ず よう 0 日 同 議 俊 生即 た に 5 権 は になると 元時 僚 3 あれ } 生 子 秀 私自身がここ クラー が 力 東日 ಶ ただ事 がな輩 先輩 な戯 る。 者で を出 内 弟 テ が 7 退 徒 闘 敬 n 学を命じ 時 あ 11 村 に が  $\mathcal{O}$ 争 本大震災が る。 は 出 はは そ あ そ つ 鑑 す に ク 流 L 41 でない」と感 先生 た した は た Ł **₹**) n な た 0) る 11 n つ 無情 書 人 何 ろ ク か お 北 か か Ł 後 は 16 かない。 つたし、 た経緯が に 間  $\mathcal{O}$ 故の 新 は 0 皮 ŧ  $\mathcal{O}$ ラ 存在し 百数十 2 0 ろな人 なら 0 渡戸 不 時 肉 知 11 Ł ] 発 真 数知 ク そ 蹟 稲

うと、 知 水き上 ーマとなった。 ら生きる術を学んでいる。 っていった。 を超えた津波は、 便な所に生活の場を置 き綴ってい 人は謙良 生活環境が良く、情報収 て受ける試練に立ち向 げ た楼閣 虚でなければならないと る。 人間 を 富を安易に求め 改めて反省する 何代にも亘って塚を置いたが、人民く、情報収集に 間は今、 瞬 に L 何 7 か 回 奪い ŧ 4 な 繰 ţ

(兵庫県川西市

### 校歌「永遠の幸」余聞

前

0)

陸

:家の吉!

か

1

2

0

派の脅威

は人知では

理を対

で

きな

(S36年入寮) **豊正** 

### すでに気づいていた先輩たち

稲 刷 ぜ じ旋律は同志社大学ラグビー 時の北軍行進曲を基にしている② 「永遠の幸」 B 「戦闘の地に響い 中心に、 援歌)に用いられていることなどを 歌「若草萌えて」(現在 のだった。記事の内容は①北 で青春を送った私たちを驚か かりのある人々、 明 0) 年 解 記 選曲者納所弁次郎、 新島襄との結びつきを織りま 11 で豊か 月 27 事 作詞した有島武郎、 が の旋律は米国・南 日 出る3か月前 付 な内容だった。 た旋律」は け とり 0 では同り VZ 朝 b 日 け 載 新 クラー 0 新渡戸 |大の応 大校歌 せるも 恵迪 北大に 部応 北戦 された 聞 8 0 争 月 同 寮 援 別

Jane 2007

> か は てい としきり話が続いた。 ことがおぼろげに思い してくれた。「盗作」と聞 てくれなかった」 と言い続けていたが、 なった曲 作 5 た寮歌集では校歌は 曲」と記されていたの 盗作』ということに驚い 「U-Tube 脇地さんの実家 当時 を 北大校 ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚ 開 出され 私たちが持 誰 U 4 (和歌· R L は盗 歌 ŧ が 41 7 た当時 Ď 耳を貸し 作だ た。 て、 を転 Щ 所弁 もとと てき た



北大関係者を刮目された朝日新聞の記事

末

輩の脇地炯さん

(昭和36

年寮

甦えれ白き辛夷よ」

0)

作

曲

がが あ Ď, つ 7 んだ。 小 11 たの をよく 代 父と4 さん 聞 41 は て歳 百 61 上 志 たそ 0) 兄 社

次郎(「弁」は新字本で、「(S30年入寮)による選曲 ると、 阿澄昌古 ツについ 〜」が出 幌農学校 ブリンで『校歌』を聞きまし ネットで北 ろいろと勉強させてもらった。 分かってきた。 恵迪」 古川 地さんとの話 につい お二人以外に北 |天さん(昭28年卒?) て調 てきた。 俊実さん (S35年卒) の 『永遠の 第10号には は新字体で、「辨」 大校歌を検索 てのリポ べた方が多くいること そのリポー また恵迪 幸』~一つの から私も 大校歌 者•納所弁 してみる 寮同 イン が 出精さん の 札 トによ あ 0 た」と とり、 窓会 考察 タ が 正 ル 1

### 驚きの 方、 納 得 の 吉

を北 よくまとめ そうい ち が まず湧 の友人たちに に う経 つ 7 てく ては驚い 緯 て、 れたとい があったため この e メ くこと · う 感 記 ] ルでそ は 事 Ó 謝の なく、 存 在気

> H 0 朝 に 連

学生の 驚 ちの あったそうだ)。 曲 [名は 『みんな元気で』 · 外国古i 反響は、 聞いたことを思い出 を拾うと、「学生時代、 41 ٣ たことがある」(ちなみに、 曲 アノ発表会で最初に弾い さまざまだった。 が校歌そのもの した」「子供た だったので 脇 地 さん ま その た小 歌と つ

5 声

小年入 を物語 知 ダに住む長女に転送したところアイ た は どである。 ツと広が 口 昭 L リッシュ2世の旦那ともどもよく 介している。 北軍で戦ったそうです」等々。 と悔や ] 君 ルー 「ルーツを知りショックだ」「 盗 てネットのURLをさまざまに っていました。アイルランド人は チャー 作/ は自身のブロ ってい ツを知った方々は探索を開始 との 雪期』を出 ŋ んでいる。 は また、 を トを作って、 恵 いかに、 エピソー る。 迪 解説する頁を設 )寮を グで写真入りのフ 私と同 山本茂さん 版 したが、 同期心 ドを入 校歌 が 0 徳勢正 た青春 n S 34 け 0 高 たほ カナ ル いか ]

> である」こと た」の理由に挙げら 志社大学の 3 かには ッ ク だっ 応援歌と旋律が全く同じ 々気に とか れているのは「 な る声 É つ か あ

関係に 両校は なかろうか。 のだと受け 新島と会っていることからみると、 め離日する際に またクラー 国でクラーク博士に なるが、 これについ にあるの 同 - ク博 卵 志社 Ĺ め、 ては私に 性 だと思えば | 双生 土 わざわざ関 創 が農学校教 <u>万</u> 立 師 見 者 を挟 事し に  $\mathcal{O}$ 別ま 0) 新 11 ようなも 西 たこと、 島 のでは が頭を辞 い合う [に赴き ことに が

### 明治政 府の 洋楽導入の 中

版社 田 に出会った。 喜弘著「近代歌謡 年 を読 が  $\exists$ 明けて今年1月終わりに、 本史リ んでいたところ以下 0 . ツ ト 軌 跡」 2 (山川· 0 0 ŏ 2 出

であるから 中 て、 は、 「アメリカ 来の音 本で 採 0) 用 唱 一曲や歌 しない、 しく唱歌 歌 事情 謡 を作 に 外 は低 玉 通 じ 俗卑 るに 0 た メ 田

イ に 基 日 本 方 語 針  $\mathcal{O}$ とし 歌 詞 て打ち を付 け 出 る 0

これ る。 玉 省ば る。当時、 欧を視察、 7 る」ことを方針 09 前 0) のトップであ 任命され いた田中 でいえば大臣 田 は北北 メロディ 身) 中とは、 大校 0) ず 岩倉使節 もとで文部 文部大臣 不二麿とも) 不二麻呂 に 日 太政 歌 その った。 に次 として打ち出 田中は実質的に文部 官 本語 ぐぐ次 É 団 制 その  $\begin{array}{c}
\widehat{1} \\
8 \\
4
\end{array}$ 卿 にに随 省 のに当ては  $\mathcal{O}$ 度 歌詞 のことであ 0 田 行 は 内 日中が「外 しばし して米 を した。 を 輔 閣 5 \ 1 付け 務 制 ま 現 8 度

年設立、 府 育は 和調 知 はす 0 東京芸術 伊沢 ら 師 田 でに 掛 中 n 0 修二 養 は 0) 調 は 楽 る 5 掛 米 欧 大学) 取 通 成 精 ||米各| に努 の東京音楽学 国留学か 力 調 ŋ 1 8 5 的 1 8 7 掛 近 め 玉 に 0 音楽教: 代 7 専  $\mathcal{O}$ か き楽譜 設置 任 1 ら帰ったば H 4 9 とす 年 本 材 ĺ の音 か ッる。 。 を大 明 0 9 5 明 戦後 治 開 1 始ま 12 7 か 政発

> 今でもず 校だけ 学校 る。 調 詞 8 ら n に **・蛍の光」「庭の千草」などが含まれ** れた 7 7 5 買 掛 を 7 でも使っ 付 に 11 11 11 、る通り よっ 欧 る 入 でなく師 れ、 た 米生ま われる「むすんでひらい 0) て次々と編 崩 わ は 「小学唱歌! Tramp... っであ れた。それらの中に 治 |範学: n 8 る。 0 Ë 年 校、 曲 纂さ また、 0) に 中学校、 買 日 は n が 本 事 61 最 音 語 仕 が 入 初 小学 入 楽取 0) れの 7 は、 女 歌れ 1

明治 果たしたの 18 • であ ホワイティング・メ 政 96 府 る。 年 0 が、 洋 な 生年に か 4 でも わ うい 10 で大き 米 ĺ るお ては 玉 ソ 人 雇 な 異説 ル 役 11  $\widehat{1}$ 外 ] 割

サ国を

8



作詞者の有島武郎

で、「オハ 政府、 を作 て南北 者の 北軍に て南 たように な X 1 る 11 「Major」は大佐 記 で 8 あ は1864年5月。 48頁 目したい (Fife Major) \_ 約2年 ずも か は 11 ーソンが (1820~95年) 0 ŋ 16, 伊沢 ゔ か が買 軌跡 てい はずはない。 年3 曲 交差し 戦争を 月前 従 な が L 戦 それ イ にあ 軍 半 41 61 「Tramp…」は 争に出 る 0 修 月 重 た Ď であ 近 入れた曲の (刀水書  $\lceil \text{Tramp} \cdots \rfloor$ オ連隊の L は 二とともに語ら か く教師 一であ そ 戦 をチェック は そ クラー る。 X は と同書の ĺ ŋ 61 である。 中 11 離 つ 何 征。 まし る。 「Fife」 たが ソンが ることだ。 村  $\exists$ 時 房 首 ク 南北戦争が 理 を勤 が「Tramp…」 って、 か 博 な 平 た 82 Э 日兵役兵とし -楽隊 1 9 9 3 不 略年譜 を 南 ] か す Ħ 所 両 出 明 に でに 先に は 知 n 者 は 7 ジ 征 北 年 べだが、 つて に それ 横 ある した 戦争 その • る。 は 志 11 7 た 明治 終 勤 触れ 笛 ル 月 1 わ 11

缸

郎

が学習院と

V

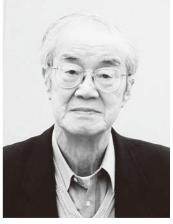
う場

う。人はつながっているものだとも思ていることを思うと、不思議な縁で

業生9名を含んで3回 年 と づかしく、たゞ格好を見せる丈です」 8 で音楽取調 よると 弁次郎に触 を丹念に発掘した浩瀚 ンとビオラを習ってい ド出身の 証 、教師となっ 意ではなく、 頁)。ただしエッケル イベントとして演奏が (明治20年)、 ー (オランダ人) 『洋楽導 の「工芸品共進会」 9 名 分か 人ということであ 言している。 納所 Ì る 0 入者の軌 Ď な ۴ 指 掛 は n は た箇所 か た 揮 1 0 X 納所は 上野公園で東京府主 · ツ 人) 1 に のもと音楽取 工 2 人 目 納 ッケ ソンの 納 所 3 人 目 跡』は資料 のとき1887 所 もある。 が が ルト な書 第 1 演 トは弦楽器が る (同書27 0 0 にヴァイ 行わわ 開 名が見ら あ 奏 お とを継ば 遣い 雇 のソー П か (ポーラ 卒業 7 調 れ そ n (史料 17 掛卒 外国 がむ オリ れに 77 た。 、る n ヴ 41 所

## ルーツ探しは、これで終わった

多く ない。 の見積 る た 0 作 ( るわけであり、 権 11 窮にあえぎ、「草競馬」など名曲を の音楽家であるベート 指 は を認識 はなされ 64 摘し ° ( 権 が かに希薄 最 ズ ル 年 が問題となっ 残 後 書では ヌ条約以降だが、 王侯 7 ĺ メー したフォスター は貧窮のうちに してい てい ソンに 41 る。 () 貴族 だ ソ ないことを中 翻 ったかを指 0 明治政 な 時代 対 訳 0) たのは 料は 翻 から自立 する著作 いことを示 用、という認識は 訳 0) 府自身 計 本 著 ] 同条約 死 ヴェ 1 8 8 6 1 8 2 6 作 摘 上 『音楽指 一され ん l 村 権 権 ンは困 してい が著作 理 0 7 意 平 は 7 お 書 年 著 数 は ŧ



選曲者の納所幸一

する段 く遅れて成立した。 してからであ イツ人ブラー て音楽の著: と絵 用 作 権 階 は さらに 画 [と複 譜 を 作権 対 面 ŋ, 1演奏さ 雑 ゲが主張 象 0 ځ が問題化し である。 印 音楽分野 刷 L n 7 たも その 11 (1931年 日本に於い る。 っでは大 たのはド 0 演 を複 奏 音 で

探しは、こうして終わった。 問題を残すことは何もない。ルーツがられ、すでに「納所弁次郎作曲」 知られ、すでに「納所弁次郎作曲」 知られ、すでに「納所弁次郎作曲」 知られ、すでに「納所弁次郎作曲」 知られ、すでに「納所弁次郎作曲」

校歌 な成 いが 動 た歴 と出 が 労立 つの歌が生まれるまでに連 永遠の 史の 逢 有島 び ちであることは 41 つ 流 0 が 4 かれ、 意志と 幸」 あ た歴・ つ は成立した。 た。そのうえで、 さまざまな人の 史的 納所の音楽的 な 否定できな 所 産 で 知

想と勇気を受け 持っている、 永遠 0 幸 そ しは 継 グロ n れもきわ 4 でい ] バ ることが 8 ル て高 な 基 61 理

42

持 と正義を希求するエ することはできな としても、北部が うとした南 ンドは抑圧に抗する準国歌と による農業労働 ス革命 なの るはずだ。 「Tramp…」の旋律を歌い っている。だからこそ、 つ るのではなかろうか。 た北 だ と思 部 の理想と同じく普遍 部とのご と封 働 「永遠の らう。 力 力確 を し 建 対立 る掲げ 67 制 南 ネルギー 保 7 北 幸」に それ 一から始 がを存続 た理想を否定 前 戦 0) 争 は は アイルラ 0 く続けて いさせよ が ま 種 解 て今 差別 性 真理 フラ つ 放 自 な た

東京都町 田 市

### 触上 れ海 る 0) 幸 新 世 さ古さに

津 宏介 (S38年入寮 (旧姓松尾

石

### 海 外 大の )教壇 に立つ

上

片道1 始 どの てい や て彼等は 文も学ぶ。 0) 勤 よさに感謝。 た巨大な大学城 院校生の 務。 目さに似 れなかっ まり1年 日本語修 験 中 都市大学と同じく郊外 る。色々な人 に合格。 と作文を担当。 玉 作文の構成力で劣る点もまだあ 難関 時間 で 総じて私 及 日 0 る。 苯 ば 私は日本語 得 仩 た読解や小論文を要 大学に属するら 余専用バ 足らずで複雑な日本語 私 . D な も速い。 事を求め 座席 進 い学力だ。 0 0 学校 村 教えてい 職 に 0) 場 助 Ĺ も固定だし 彼らに日本でも スに揺られての がは、 にあ けら て 6 あ 海 0 での3年生 高校生 生 いうえおに る。 それ た日 た移転 n 中 く学生 国の る運 を始 本の 求 で 早 朝 す  $\mathcal{O}$ 例 殆 用

> 真 0 Ł (剣対応。 な 距離とは 11 0 ス 異 ピ 私の学生 へなる。 ] チ 大会など 時 代 0) の指 教 授ら 導

半世紀前 映画終了 も紹介され常連に 966年~8年 日中友好協会学生班などで覚えた毛 、東を指 する場 の卒業生を総称する言葉ら 「老三届」と言う意味 後に当時 に製作され 針とする歌 に も出逢った。  $\dot{O}$ 0 Ś なった。 た映 年間 歌を老三届で斉 ŧ 些 画 大学時代に 0 知 かか ある時、 中 った。 を観る会 不快感 学、 61

唱



終了後に登記 るその 北 画 る。 取る 一会だ。 京主 世 分らない 抵抗とい 代 運 11 老優 鋭 動 導 さに 時 0 に 11 軍 つ う思い 人や、 擅歳 共 に 携 人 Ł に 歌 通語 映 共感を覚 反発する若者も出 になる わ で、 た。 る人 画 か か それ 特権意識臭さを嗅 もするが、 歌 に対する上 L へたちが "黄宝妹 但 Ĕ え くも し上海 ら古 えたりする。 口 な インが 11 居 0 (大躍進 つ 海 語 ての 映 と た。 上映 海語 人ら た。 で 画 喋 映  $\mathcal{O}$ 

### 胡で奏でる『都ぞ弥生

映像の も激し、 大地震の報に 同じだろう。 の食事を用意し ざ私等の 大学村にあ 風 しく心を 力 邪 寮 に圧 で寝 宿舎 は る 私 には教え子も中国してくれ、涙が 揺 [まで足を運 0 倒 7 の宿舎か され さぶられ 77 で有り難 ると、 るの 5 交代 í は日本人と たようだ。 び学生 67 国 が出た。 時 |人友人 で三 わ 間 ₺ もいわ 先 度 0

て来て学校や 、との出会 本 か 5 ・我が 従 1/2 来の何倍も人がや 0 部屋を訪 多 z は 流 石 っ海

> た。 教 弥 氏 出 手 L みも味わ の練習曲 え子らとも 平 は、 た日 来ない。二 授までし つ -増之氏 た。 学生が先生だから 老人の多い 中 にも合せて一 とは別に、 勤 ってい 好 が歌うド 務校で初め て貰う僥倖に 胡に相応 を進 わ · る。 n 魯迅 8 一胡 日本語: ィ る。 て出 公園 しい を奏でる愉 ツ 41 方 語 77 0 Ł 会い だけ は 中 加  $\mathcal{O}$ 胡偏 恵 勿論 国民 減 0 見 都 ま 個 で に 使 を な ぞ 謡 は れ人

(中国•上海市虹口区

上海外国語大学



### 都ぞ弥生」で寮友を送る

(S38年入寮) 佐藤 市雄

君が亡くなった。半を同室で過ごした、畏友佐藤史夫4月8日、恵迪寮と北学寮の3年

「ユー の公演 の同 ユー を温めた。 5年前に札幌で再会し、北大合唱 金 室 こうという話 融機関 員となった私は、 昭 って会う機会もなかったが 卒業後、 に入った。 ]期生を中 ゲントコ 和38年秋、 ゲントコー を一 に 彼は地質調査会社、 そのうちに、 緒に聴きに行く 就 ] 心 に そこは 職、 半年遅 なり、 に集まることになっ ル ル」の部屋だった。 有志 それぞれ転勤 北 合 寮 1 昭 で同窓会を n 唱 恵迪時代 和 で サ など旧 38 階 恵 年入 0 迪 4 私は クル 41 寮 開 0 寮 寸

カラオケ会場 み、 は 歌 日 窓 集 会 選定まで熱心に幹事 0 選 0 曲 準 か 16, を 力 一次会 的 に 0) 取

を務 めてく n

術 その後、 移し、すでに第4ステージとのこと。 との連絡があった。 時医者からは余命半年と言われて つけると、彼はが たという。 を受け、 ら「病気のため同窓会を欠席 った平成20年7月はじめ、 同 ]窓会の 抗がん剤治療や胃の全摘手 闘病生活に入ったが、こ 開催 に 向 驚いて病院に んが肺と胃に転 け 最 段階 史夫君 言する」 馭

年7 農工 発信することだった。 識をまとめて市民や学生、 幅 地質学的成り立を解明すると共 で学んだ地質学 挑戦を始めた。 となく自らのライフワー と都 広く わ ところが、 一業の発展 ゚サッポ たって開いた市民講座 月から宮の 、サッポ Ò 発展 口 の歴史、 彼はここでくじけるこ 口 それ 再発見 で札 」となって結実し 沢のチェリ に関する学際的 は その んとその 観光資源 !〜自然の 彼 クに アで5 夢は が 「おら 国 沂 理 果 た、 学部 5 八 に に 知 など 郊 敢な 恵 が  $\mathcal{O}$ 

海

露 らが街サッポ め完遂し < ま を集約し いうペンネー たものだった。 し に た。 で L 歌詞 た。 たものに、 ょ う 振 講義の最後に、 は彼が 口賛歌 ムで作詞 りを見せずに ح 」という歌を披 か 息子さんが 史川 言 した講義内容 11 講義 倒 つ 彼は「お 木 う、 作曲 を 進

た。

### 病をお して恵迪 合唱 一隊に

り歩 る。 雪に〃 「都ぞ弥生」CD 旦 る見解を述 進行し 道 した。練習の中、 11 神奈川 だろうか。 V 母校 の自然を愛し、 た想いもダブってい が冬では 7 0 べたの 県藤沢市 クラー 7 く病をお なく 収 録 ク会館 が 道内の 出 ·初夏 の合唱 印象に残 5番の して、 身だったが北 の雪だとす で行 たの Ш 隊 ″紫紺( [々を登 べってい 1 にも われ っでは 月 た 0

2 月 19 とめ そこ 宅 同 期の石井、 呼ばれ てもらえない で彼はこれまで Ę ] ル 懇意に た。 3箱を出 宮坂さん か。 L 7 学校 と私 11 た地 何 の生徒 た資料 か が 本に 彼の 鉱

自

な

たが、「今日

は

暑

7

のでビー

ル

が

ぅ

ま 0

蕳

が

んは容赦なく進行し

きれ を希望するとのことだっ に また、 読 ばCDなどにしたいと希望 ん でもらう副 作詞 した歌についても、 読 本  $\dot{O}$ よう な Ł 0

と自然―」 入れられ 1 1 5 結局、 の尽力に 豊平川 彼 29 より北大 の資料 と私たち 歌も  $\overbrace{2}{0}$  1 1 30 ユ 図録 ] は 博 ゲ ーその 物館 0 石井 1 生 同 章 8 0 宮 期 に 2 0 77 企 立 0) 取 画 坂

示 氏



後列左が佐藤史夫君、前列右が筆者

れ Ł 隆 彼 英 君 0 生. 0 前 に 折 りでC 届 け 5 n D が で き、 何

ポ 彼 のれ た彼自身が創った「おら たが 口 隊による もその一員だった「都ぞ弥 音楽葬 私は弔辞で、 11 の C D 同窓の学友が、 0 賛歌」 生前 儀 だっ に合わせて 「都ぞ弥生」と「永遠 は を唱和した。 の意向に 4 「史さん、 月 9 当 日 高らか 会場に流 沿 10 集まっ 君は 日執 つ が て無宗 でに歌 街 病 生 り行 n アナ た 17 に 倒 ッ  $\overline{\mathcal{O}}$ 合 同教わ

幌市白 石 てた!

今日はその勝利宣

言の

Ė

そし 勝

ご家族 意志

がや我々.

知

が

0

日

です」

と述

べて彼を送っ

を受けば

継

7

で進んる 人・友人

でゆ

くくス 君の n

た

け

n

ど

完全に病に

打

ち

つ

### 終焉に想う 日 本寮歌

関 ŝ П 38 年入寮) 雄

恵迪 を申し上げま 大震災・その はじ ?寮同窓会会員 め ず。 私を 影響を受けら の 含め 今 に 口 n お 0 見 7 東 11 日 る 本

終焉し 寮歌祭」 各校の 女史 H に馳せ参じたの か 寮 坂下節子女史を招待し 支部の有志は前東京 により、「都ぞ弥 だっ 歌よりも、 Ħ さて、57校110 ね ほ |本支部 0 第 38 坂 た同 旗 た。 寮歌を歌 下 П ち 0) が 伴者 Ħ 下 千秋楽に 顧 女史と当 昨年の 間 よげ  $\exists$ 本寮歌祭の 1本酒を飲 が、 は 日 0 11 生」をはじ 返っ 比 篠 継 旅に出 原 蒔 平成 10 第 50 当たり、 0 谷公会堂 同窓会事務 17 7 た。 できた 余名 猛 0 支部 時 先 11 むことの П であ 年 11 私 て 1 る私を見 をもっ 8 0) 参加 が 「日本 東日 長 口 が とする る。 月 15 ピー 0 で 坂 局 0 好 下 0) 本

> ずか 5 我 < 番 校 閉会式の が n 5 L 北 分間 かけて合同懇 25 か歌うことが 海 番目 道 そ 後、 大学帝! で 0 に登壇。 都 日比 口 ぞ弥 グ 玉 できな ラム 親 谷 生 寮歌 会場 図 書館 0) か 高  $\mathcal{O}$ ょ 札 1 2 つ 横 は る か わ

約45分. 掃 志 お 京同 頭 ば 学校の前 , b, を実施 が 行 に 草刈 建つ芝公園増上 !窓会の手で記念碑 進し、 毎 年8月 り寮歌 た。 して 身、 開拓使 いる。 農学校発祥 祭と 14 H (仮学校) 称 に 寺慈雲閣 東日 が 建 0) 7 除 本 立 地 跡 支部有 され まで 地の 草 には 街

### 寮歌 の 精 神恵迪 寮に 継

生 n が 0) ▽感じら らの先輩 」を象徴する寮歌 訚 ñ 形 学を含め、 る。 成 を 根 た旧 幹 とす 制 る少数 0) 高 校卒 思 41

窓生に なっても存在し続け、 さて、 幸 . る。 いなことに恵迪 継 第 1 承さ 口 目 0 世代交代 寮は ブ その 口 グラム 新 精 が 制 なさ 神は 大学 びがこ 同

にあ 昭 和 36 年 10 月 7

か

な

かし

声

を掛

け

46

2010年日本寮歌祭

公会堂 でそれぞれ 東京大学コー なことに当時 京都大学は で女子大や合唱団等が多い らの 大学東京同窓会有志 と「瓔珞磨く」 で開 参加者名は分 寮歌 三高同窓会有志 催された。 ル Ď 実行 を歌 ・アカデミ 三委員や、 からない ってい を歌っ の名で 参加 る。 1 中 校 7 我が寮 東大は 0 は 「都ぞ 41 参加 残念 北海 21 校 昭 る。

> 彦さん 長ら た。 夜行 施 Ł 36 0) 坂 されてい 世話人で、新 0 知ら 神 年 が参 倉 を と言 大宅さんは バスで大宅公 日 雅 継 我が な が参加さ 本寮歌祭に 加、 えば 承 夫幹事長や 11 北 る。 Ù 大は さらに 7 校 私 仙台 れ 77 1 が 「佐賀青春寮歌 ると書 たの 一さん 寮 7 は 年 北 形 遠 歌 恵迪会の丹治道 加 0 大 でく佐 は 0) 藤 時 0 東日本支部か に 秀弘副 も駆けつ 込 寮歌祭を実 言うまでも 11 賀県 たが んめら ほ る 祭」 ń 幹 から 0 た 事 け 最 字

### 回参加は北大と京大のみ

毎

な

67

であ 中 る 0 第 が、 実は49 両 校 0 為 止 28 に の先輩たちが は、我が北 か)。その つ П 50 なっている たかが窺える。 昭 П 和 63 日 口 本寮歌祭」となって 49 回 年 大と京大のみである。 か 10 開催され [全てに参加 いかに、寮歌音 月8日の (恐らく大喪の てい 第 してい 28 な П 4 加加/ 礼 る は

を迎えてい 校を中心 本寮歌祭」を始め各地 に . る。 した寮歌祭は次 東日本支部 々 0 0 丰 に 旧 終焉 ヤ 制 ッ 高

> 込みかっ 「恵迪 急務と チフ 大学を応 V 寮•北 思わ ] 援 ズ 大 n L るが ま 寮 す 歌 0) を その 謝 歌 0) 恩 継 11 ッ 継 0) 承 ηĹ ] 者 ぎ北 発 0 ル は、 掘 刷 海

したい。 最後に恩師の追悼文集の一節を披

露

岬寺に 岬 島 地 み、 進むことになったが スを乗り継 明石; 高に では 方に 昭和12 我々は連絡 進み、 四国 泊 海 匹 週 国 つ 峡 年 た。 を越 間 八十 11 0 私 でひたすら 東海岸を汽 0 は遠くな 無銭 えて を取り合っ 中学を出 ハカ所の 鳴門を流 旅行を企 或るな 、熊本は 車 南下、 ひとつ最 渡っ 船 てた。 0 五 7 高 室 夏 • 갣

を彼 覚えている……」 高 0 雄大な太平 と三高 寮歌ならぬ北大の寮歌 0)  $\Box$ 移 0) しで教わったことを良 寮歌 洋 を望 『琵琶』 む 灯 湖 周 の上で 『都ぞ弥 航の歌

東京都練馬区)

### 45 年 前 O) 寮 生 活

平 S 40 年 正 寮美

世立 中た年 では、 界 した生活 7 恵 が 11 月 油 変 出 ま 寮 大学入学とい で、 わ 0 は 場 ŋ とい 昭 気であっ B 1 和 Ź 年と 41 40 時 年 であ 4 まさに 4 11 か 月 私 つ 月 入 革命 0 た。 親 を 寮 生 か 人生 か ら 5 的 に独  $\overline{\mathcal{O}}$ 41

円た春 新製い屋 たが、 は北 の寮 てい 休 古 ろ ベ 4 ッド 先 11 紙 2 8 月 た。 輩 ろ など か 0 で人気も 寮 1 と机 教 は 0 は か L 初 備品 親 月で3食事付き6 0) 安 え 11 8 だけ。 ゴミの 汚 てく 切 67 階57号室 恵 記は畳1 迪寮 で、 なく 41 紹介され 建 n と物で、 寮生 山 部 陰気な所 た。 に 「だっ 枚を敷 屋 で2人分 行くと、 活 0 中 た た 5 人部 中は暗く に が 央に であ つ 11 0 、 に お は 木 が 11 0 木 7 空 0 浩 つ

> 起こ 民党 決議。 激 開 う事態に。 導 た。 ラスで討論し学生全体で抗議 抗議デモをやる 寮生大会。これから自民党道連前 交 か すべきなど、 深夜に 涉 6 れ 0) 反 時 が 月 自治会役員が 一方、 対 日 は 札幌 深 0) 韓 ŧ 教 大学祭に 夜 条約批 中央署 へに及び、 恵迪寮でも、 保闘 か 養部屋上 ベ か き わらず全員招集の 喧々諤々2時 内 争 准強行 逮 向 は か 明 0) 捕 で学生大会が あ け大学当局 騒 5 百 5 抗 げ 然と 採 拘留 くに 政 から各ク 議 決 行動 府 行 官憲 に 間 動 7 と H 自 11 で 対 を 韓

開 形 0) 成 活 私論 け L 動 で 0 あ 18 た時代であ は つ 歳 今の た。 0) 寮 寮生活 生活は 思想と心 った。 に大学5年間に波乱の芸 情  $\mathcal{O}$ 基 本 を間

だ た 立 寮 拓 7 新し を 記念公園 つ つ 4 たが、 訪 ない 67 れ いが、数年前、数年前、 味も ような木造そ 45 そ 0) 素っ 0 開 年前を思 拓の 部 気も 新 村 であ なく 北 寮 61 に 0) る あ 出 海 は ま る旧 す 油 玄 道 ま ĺZ 関 百 0 度 は 0 抜 前 年も 恵 け 迪 開 見 に

た

が

何

を言

つ

7

4

る

か

分

か

5

1

年

10

は

60

沂

11

ク

 $\mathcal{O}$ 

連 組

中

が

演

壇 名

で喚

41

7 ラ

> であ つ た

自分達 に遭遇 も乗り越えてしまう未曾有 てしまう様な気もし に戻ってしまうのは も時代も大きく変 こん が Z 発生。 0 な時、 45 の足跡も津 すると、 年 間 間 月 0 波 傲慢 貌 瞬 11 £) 日 てくる。 で流され に 如 てし して な思 に を 何 東 取 なものか 0 想 自 ま 原 り 大震災 始時代 心も文化 本大震 て消え つ

でも飲み たま n に な は学生時代の古 が 5 ダ ベ ル 0) い仲間 Ł 41 کے か 酒

栃 木県小



### 歴史に学ど

浦 S 41 (年入寮) 義

は故郷 である。 大学もな り前に と る高校の同 忠 つ いう体験 退 0 11 仲 職 になる。 違 四 出話を語 間 勤 そん 滋賀 || | | | | て故郷 えば 務 が がだった。 期 時 数 な仲間 代を県 県 生 就 琵琶湖畔• 話を始めたの 一である。 0 るうち、 12 11 た職 戻ってきた高 " 美 知名度は低 が つの間 で過ご が、 U 自 大津 共通 11 分の経験談 Ł 進学し 琵 は バ ラバ に 3年余 琶 市 L いたの か 湖 に ラ た あ 0

> 在地 テー た 最 り合ってい うことで古代 で 大 故 0 問 7 口 題 謎 に直 「集まり、 気通 であ とされる 近 るうち、 面 江江 る。 した。 か  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ それ 5 に 歴 歴 眺 勉 史探 史を古代 吾が 思 ま 強 め 馬台 での を始 てみ 61 求 玉 Ł で |の古代 成果を がめた。 ようとい 玉 か か け 5 つ な 現代 0) 史 所 41

よく 馬台 あ りそうだとい 和 に 未だに る。 家 説 つ 知られ 承知の 玉 0 いては多く が なかで論 近畿説) 結着を見ていな っているの どうも近江とも関係 通 う事 b, であ 争が続 0) 元にな 意見 邪馬 る。 は 5 11 北 が 台 てきたの 0 7 \ あ し 九州 7 玉 る中の所 か 4 るも その 説と大 が 在 あ 邪の専 で 地

### もう 身近にあっ つの 邪 *†*= 馬

な振

り返ってみ

れば我

々自身も具体的

事は

何

つ

ていな

1,

ここは

ス々で勉 も分か

強

直して

何

か

故

般 景

ど

は

余り

知

られていない。

しか

観

B

・豊富な可

歴史が

あ

りなが

5

時代: n 実 0 遺 伊 後期 跡 勢遺 大遺 は の紀 平 0 跡 跡 成 居住する隣 4 元 年 11 1 その 世紀 · う遺 iż 発見 大きさは有 末頃 跡 市 z 0) が れた弥 くと推定 守 あ る。 Щ 市

ようじ

ない

無け は

n 61

無

4

で良

生

さ

きるような

ŧ

0

な

か探 ば

つ

てみ

Z

近

0

知

名度

T

ッ

に

に

では

な

かと気楽な気持ちで:

た訳では 考えら るとい 物は 大級 12 n は わ 賀 0 棟 る 3 建 な が n 伝』に卑弥 る。 物 確 11 が、 棟 認 ٤ はこ され 未だ完全に 11 野 現在、 わ ケ の時代 里遺 呼 7 n 0 7 お までに大型 居館 ŋ 77 跡 に発掘され る。 では日 に 主殿と とし 兀 。また、 n 伊勢遺跡案内板の前で

存在も伺

わ

n

邪

馬台

玉 館

時

てい

る

「宮殿、

楼

る。 力な国の一つと考えられるのであ

た。 合の申 たようで、 と 言 中で、 は全く無縁 ] 11 が 々 やつ リー に 出した。 定好好 スト 0) 『邪馬台国』 彼だけは てい がここで繋が 口 き j 彼なり 7 0 るうち ンを 会社 ij であ 我 々 若 つ 勤 が 掻 数 に を追 た我 繋が い時 務時 き立 人 描 つ 0 11 たようだっ から仕 つ 々 代 つ 間 7 仲 7 か |は「歴 グ た 5 0 間 かけてい 17 ル 達 n 1 たス 事の 人 S 喧 は プ

社 年 の た 7 何 ŋ きたの 点と 入退 . 1 月 |と入院・ 実は、 0 が であ 線 院院 邪 20 ح る。 であ 一』(澤井良介著 中 を 日 - の繰 馬台国近江 0 ベッド る。 'n 時 幻冬舎ル 返 彼 こうし  $\widetilde{\iota}$ は で 体 7 原稿 説 調 11 ネッサ て出 た を 2 0 を仕 古代  $\mathcal{O}$ 崩 版 だ L ン 近江れ が、 1 7 上 ス 0 げ お

ののて であ 本 3 が か る (『邪 京 Ł Ш 驚 卑 在 な 馬台 弥 住 11 11 呼 2 た 0 月 0) 0 玉 方 墓 近 かには 江 5 全く 出 説 説 彼 版 同 が 出 0 纏 さ U 向 疑 れ題 版 簡 遺た名

> り、 が、 され ら 0) 近 在 目 がル  $\exists$ 江説』 してい 住 れたことだけ 両 が 両 何 た。 今後の 者と 古代 の 二 説 0 違うように サンライ 藤 面 0) を発表 へ の 人 も上 し 識 ることで 聡 真 研究を待たねばならない が、 かし、 Ł 偽 な 口 述 0 ロマンを益っ は確 略 11 0 程 だか たの 同 地 2 は 版 は 共通 か 時 伊 0 元 未 であ 勢遺 らと言 には大変驚 に は 0 • 1 だ不 滋賀 | 々掻 少 邪 L サ 0 いった。 こ 7 跡 明で き立て Iってこ くと東京 馬 異 2 人なる 月 イ あ か 玉 1 11

な時 ぼ わ 冊 7 的 うした中でグ か ば、 子に 代 は、 つ である故 が ~ 5 , 毎に 我 纏 そ スセグ Ĺ 談 8 ようやく n を古代 Ŀ 郷 0 本 げることができた。 近 ループの 集大成とでも言えよう ル 0 江 ナ プ 昨 歴 か 0) 年 史」 5 歴 0 史探 3 現 末 もう一つの目 と対比 年 に 間 に至る各 求 冊 0 に させ つい 日 の小 向

### 遺訓とも一脈通ずるビー・アンビシャスの

この3年間は、実に歴史三昧とも

8

満差を 鹿児島 使用さ では大 う の県境 一がか あ そして、 い」のではなく、「出 た。 であろう と 江 我 ことを 言 体、使わ 八たちは たち で発掘 マの る。 思 交 5 える日 たよ 運 流 奈良 使えるように工 わ 0) 八自然の・ かの 0 利 n ど n ば n が 使えるものは何でも使った、 か、 東 てい され あっ 用 た巨 る墓 77 ر ح 知 5 山 のようにして運んできたの れたとしか考えられ 想 々 ح 船 を 奥 で か」を考えたのであろう 恵に感心させら L たように思 車 大寺の た古代 は あ 力さえも利 n から運ば 木 新たな疑問も る、それも巨石 たとのことであ に乗せる時 0 たことも分かっ ż るか は は鹿児島県と宮崎 石 つ ええな 無理 棺 た 大仏殿 夫をした。 [来るためには に超えた の大豪族 が に か は、 だ 非常 n たも つ 用し か は **海建** る出来 ħ 遠 た 海 湧いてき 飛 である。 ったので 古 るる。 な九 水の 行 0) 0) の時、 そこ É 州の

な 木 41 難 な問 常 題 に工 に 直 夫をこら 面 7 ŧ 決 前 して 向

ス" う。 0 に思えてならな 0) な に がに あるように思えるの その 前 メッセージ って出来るんだぞと言う先 あ 対 4 の遺訓とも 向き思考は で工夫をこらせ つ 応 かの東大寺大仏殿 を重 容を誇るだけ n ばこそ ね が 7 きた 61 込められているよう **ルビー・アンビシ** 脈相 現 そしてまた、 である。 在先 ばこん 通ずるも でなく 0 人 が 建 あ た 物 る ち な 人たち 0  $\mathcal{O}$ 建 0 だ 努 が ヤ そ 物 単 Ħ

が、先人たちが歩み思考をこら今いろいろな意見があるように と思う。 人間 た足跡 伝 歴史とは、 性活の えしておきたい 多く その を探 0 ことを学べ 足跡を学ぶことでもあ 或る一 ることは 歴史教育 面 たことだけ 私にとって非 について、 では連続 ĺ 聞 し 7 昨 る 10 <

(滋賀県野洲市

### 3・11大震災を経験して地球科学者の使命~

**長谷川 健** 

### 娘の一言で津波を逃れる

ちる心 と身 と激 L 番)。 n あまりの が帰ると言ったため水戸に帰 大 7 0) n 61 日 0 まし て午 た町です。 洗 まし 教員 ま 最中に巨 に 私 はこの す 0 L 控えた入試業務の は 朝から娘と大洗 後、 い地 が、 毛 難。 を 宮 た(妻と乳児 まり報道されていませんが、 揺 城 が L なだち 「地が崩 大地震が発生しま て 県 街は停電。 L 鳴りは、 歩 用 度 n に途中 い 幸 り 事 4・2メルク 出 た「杞憂」 ない で大学へ行 ま 身 っます。 当日 ず。 れ落ちるか .ほど波! 水 で電話を切り、 今でも思 は、 0) 0 族 派替休 大学人は、 地 長 天が崩 津 0) 館 男は 波 故事 茨城 打 き に 当 お昼に娘 に 日は した。 宅。 行 11 つ ~」と思 地面 襲 留 出 電話 取 n が つ そ わ 7 す 守

> 明です。 消滅 ら火元 全確認 か 確 わ が りまし に しまし れまし 家族 象的 帰宅 りの五浦六角堂 石巻の記 た。 ま は 確 などの で する者とに 今回 た。 皆無 たが L 認と学生避 L た。 家の中は目茶苦茶 その ~不通。 親戚 の津 事 公務 私は 後、 波では岡 は3月末現在も 娘の笑顔 分 に (茨城大 難 不安を抑 すぐに家族 か 走 をし、 実家 る者 n 7 《に心が》 ?倉天心 (所有) 0 無事も えなが でし 家に た に 即 救た 連

所、 外に うなのですが、 目 Ł 並 在 だと思い と並ぶ人の 最優先で茨城に来た北 も節電 中止 ライフラインは 全く盗り 出ると、 は ています。 札幌発セイコーマート 道中 大洗 届 まし 自宅 営業し、買占め規制を行 け 刻。 は給 ま た物資は 待機に た。 n 水や食糧 エ 大学はず てない 当たり前と言 ] 日本人はや 油 3 日 なお 所 ル 持 を送りに行 何 0 長 店頭 ,て 余 より 入試 海道 沂 を分け合う近 ()隣 蛇蛇 に の良品が -だけが € 2 に驚き、 は も卒業式 店 物 は り立 「えば 舗 復 7 日 0) 旧 17 中

余震の続く中地震の調査研究をする長谷川健君

すが長 と オ あ 耳 4 ッ ぐ りま 17 ま 確 が は 民 す 0 吉 か 喜 が 8 情 に 茨 田 ば れ、「情 城 るも は 松 報 錯綜 ば放 なり 社 陰 会 0 が た 射 唱 」と実感。 す に 報 えたも くな る情 とは 能 必 被 須 害 報 0 自 17 教の Ł に 0)  $\neg$ 分 踊ら 渦 で 飛耳 0 え 0) で す 目 中

### 火山学者とし て の 使 命

が 11 ま 口 0 大災害を予測 石 橋克彦、 してい 神戸 大名誉教 た学者

象 波

が  $\mathcal{O}$ 

あ

ŋ

ŧ

す。

畄 潜

動 7 異

す。 る地 方、

0

震

کے

強

烈さに

身

を

8

41 で

現

そ 書 来襲 を指 計 は を な稲穂に火をつけて 村 目 今 0 れ触 鐘 地 授 (安政· な地震学者です。 存 前 L 知ら 社を を に 明 画 口 年 る n 興 で П 鳴ら ジ をいち早く知 探査 て北 載せることにも尽力 般講 恒 0) 話 た 摘 は す  $\mathcal{O}$ 大地震 エク を現 せ 東 関 知 題 地 巨 11 今回 船 京帝 東大 大地 となっ 質学 たという実話 演会にご来場 地 りながら無視 方 L 動 大 在 ŀ は 出 津 て 震 期は 「ちきゅう」 0 大教授 震 ij 「南海 震災などを予見 鉱 波 に数  $\mathcal{O}$ 身 際 た貞観 天変 で現 ま 物学合同 9 に 静 1 入年 0) 彼 K 村の ょ つ 月 L 穏 つ前 木 及は、 7に茨城 地 村 た庄 防 た。 る 期 地 L 故 か 村 災対 下さ 震 高 7 人たちに 地 原 が 5 学 「稲村 発 に Ũ 震 学 を に 台 61 屋 氏 発 助 東 ごで津波の 生帯掘 よる 国定 初め 策は 震災に 地 ま ま 術 关 が 0 け (約千  $\exists$ 大教授 も偉大 警咳 す。 で催 たこ L 大 戦 本 の火」 た。 た今 て注 2 会 危 大事 また 玉 後が 科 険 0 0) 年

L

NO

茨城県水戸市

Ų か自 火私訳 ま 期 z Ł 0) 引き金と 起 る間 恐 に入 なく に L 7 n 後 0 0 誘 た。 7 知が 予 使 は 11 n 過 に 刺 発 た巨 っ た 激 生 測 命 Ł 11 噴 去 z n は 61 は たとし きて と防 きま ま なる され 起こ 未 ま は 火 あ 火 0) 0) れ 富 八が起 でし 山 る す。 地 せ 大地 来 ま 士 で同じ 災対策 将来必 せ 5 例 0) 層 0 N た 0 11 Ш 一震が ん。 きた証 たら、 をみ ょう。 マグ た。 な 日本 活 た が る です。「自 も多く、 が 削 8 41 火 大噴 失敗 を起こっ ・だろ が ず T 7 に 情 Щ に 火 ح 0) 火力地 きく 奮 報 は 起こる巨 Ш 拁 Ł 溜 下 . う \_ 火 I 学者 提 を繰 を 起 Ł 津 で 闘 分 ŋ 次 が生き し でする覚! 出 こら 7 永 震 波 が が 有 0 揺 と誤 ま にです 活発 来る であ 々報 大地 ŋ 噴 L 0 0) 振 ま 活 返 後 L 火 ぶ地 た 化 動 ま 0

れが地



### 菜の花

小

沢

弥

(S17年入寮) 久

### 春

春光や小高き丘の観覧車

秋

助手席に孫ひざに抱き暖かし

新涼や阿寒湖畔のホテル群 アルプスの山並み遠く稲光

菜の花の土手を走れる私鉄かな

梨を売る街道筋の小店かな

夏

子の家族そろひて母の豆御飯

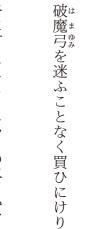
初冬や湖畔の富士の夕 茜

立山を背に富山平野の青田かな

子に付きてアウトレットの二日かな

朝涼や故郷までの切符買ひ

(川崎市麻生区)





鈴草

### 特別寄稿

## 最後

### 宇野さんの思 (1

井 勉

安

(S18年入寮

た。62年間通したという坊主は国文学の教授兼学生主事 バコを吸ってしまった。私のような 寮の食堂で話された。「諸君、 コを吸っていた。その夜、再び恵迪 コを止め給え!私も止める!」。 総会で大演説をぶった。「諸君、 カーであった先生が、 0) 強い い人間になるな!」。我々は抱腹絶 寮した1943年、 私 が北. 教官室で先生はうまそうにタバ 、眼鏡、 そしてこの愛すべき学生主 大予科に入学 通したという坊主頭、 猛烈なヘビース た。「諸君、タバ、恵迪寮の寮生 宇野 恵 私は夕 っであっ 美先生 迪 モ 寮 <u> </u> 1 度

歌舞伎や浄瑠璃に情熱を傾けた。 京帝国大学とまさに秀才コースを歩 事を「宇野さん」と呼んだ。 れ 明 治 28 れ、弘前で育ち、第二高等学校 そして札幌で教授稼業の (1895) 年に瀬棚 )傍ら で生 東 東

> うな、 北 塔にこもることなく、 わ な江戸っ子調 た宇野さんは、 生達を思い を実践されてきた。接した多くの学 生群の中に飛び込み、 れ 0) 重 独特な 世人 いひびきを持 浮かべては喜んでい から信頼され をミキサ ″宇野節″ 実に羨ましいほど純 うバ 自ら進んで学 う に 庶民的な教育 は学生に慕 スに、 かけ 象牙の らし たよ

> > る。

には温

か

い目差し、

時にはアイロニ

数多くの人格

大

時

カルに描

かれた長文のエッセイであ



宇野親美

大学予科、 正 が手元 者や名物教授を輩出した本学を、 を経てエッセイストとしても活躍さ 宇野 でもあ 昭和時代を経て、 元に残る。 づさん その晩年に著した「北大物語 つ は退官後、 た。 新制大学までの明治、

札幌農学校から帝国

この 取ってもらえれば幸いである。 大物語」。 予科長』の目を通して綴られた「北 、北大名誉教授 北大をこよなく愛され 随想の中から何かを感じ、 当時と隔世の感がある今、 た ″最後の

北海道支部名誉支部長

藤女子大教

### "北大物語\_

弾丸道: な妙に 41 右 力 道 かうのである。 < に る大きさの いう文句をはっきり読 る。 、なったが て見ると「青年よ大志を抱 ] アメリカの 手に何の にかかり、 今では北海道でもめずらしくはな ど南の千歳空港で 、急に旅愁をそそられるであ はじめ ブして上りになる。 走る車 ]路を快適にすべって札 乾ききった異国 変哲もない石碑が立 石 7 に 碑 下りきった谷間 0 の窓から かって開発局 西 来る人は、 三十分ほどで急 人は、 であ 部劇 映画に見るよう でも、 りね むことの 的 あ 。この谷 なも 0) 車 凡の自慢の 辺 ば で け」と 気をつ 立って急に坂の島に坂の 0 0 な いろう。 を感 出 風 時 5 来 物 な 間

### クラーク師の胸像 今いずこ

ログラムの さて札 大の 幌 連 案内はまずクラ に 第 n 入って、 だす。 が時計が アメ 市内見物 IJ 力 ク 71 人 0 で北 のプ 胸

(1895~1968年) 元北海道帝国大学予科教授 宇野親美 著

が、 当時 柱 る ₽ 胸 る愛着が は とくしようとした。 て 学生たちがこの 的れ 0) か لح ラ 0) 像は戦 なく、 た。 金 ] ままである。 であったために、 シ ため礎石 め た 日 のである。 ンボ それ 0 物 顔 ク いずこか 非国 が は ところがこの顔は北大の いアメリカ人の であ 強 き 供 に ルであり、大学の 11 明 ŧ |民的向米思想の持 出 る。 か わ 0 か ま に持ち運び、 Ŀ を命 新しくすり ったのであ め って愛国 から引き 代 前 してクラー 胸 がぜられ 米 11 0 0) 大学の精神的 これら 像 Ł 戦 大きな髭 日 に荒 きず 顔も 的 争 のは行方不 本 が替えら る。 では 0) これ 縄 -クに対 の学生 ŋ 偉 この 今見る を あ ち お を 人 う 主 を隠 か 伝統 うろさ 5 遂行 n た は け に 明 た で 支

九年 ミス 0 顔 クラー 日 本政 0) 持 クは ち主、 府 0 招きによって、 ウィ 七六年 IJ P ム・ 明治 ス

> ど奇 思い で別 偉か クラー め 師 ある。 た 重要な発言をした。 伝統 0 生活三十年の間、 れを惜しんだ学生 5 を禁じ得 蹟 17 たとい となっ 数カ月 クが アンビ 顔をながめるごとに不思議な に 神 が、 ずか S 暇 セ 礼幌 とし を ッ 7 シャス。 えばそれまでである。 今も堂々たる国立大学 なかったも 0 ツ 教師 州立 を去る時、 61 いるとい 力 つ 沪 即ち この で帰 ぼ 札 くは北 ある皮肉なア に す うぎな ボ 向 胸 うことは殆 0) 国 j か あ である。 像 長 -イズ・ つて、 の谷間 かった人 の大いの 在 か た

間だった。明治の歴史の一部がそこ葉を聞いたもの達にとって重大な瞬「先生がそう言って、それはその言

メリカ人が言っ

てい



**ラーク** 

かの あ なってい 昔それを初 クラー もし る。 偉大さとい は あ 変 つ これは -ク博 ñ お ・る感じ な つ 到 11 たので、 77 め こう 士 に . うも 我  $\overline{\mathcal{O}}$ つけ、 て見た時 右 々 が 41 ~する  $\dot{o}$ 像を 像 うことが 0 .....そ 生 が すること とい 失 活 よりも小さく 見るごとに 41 かわ からあ に つけ n うことで n は が Ė たこと る 私 起 種 が 考

士の言葉 ラッパ る。近い だ と ように響い 故 0) 4 ・マイナー この皮肉 、ビシャ あ 知に Ł 少なくとも北大 るも 葉は、 ある がほとん 大の つであ 失敗 ならって、 41 になって スと 大人 た。 0) か なアメ 5 外 U にとっては 明 さんとい ど博物 しかし今日 7 4 が 治 面 ĩ 教 う 41 白 61 0) ボ、 IJ 0 ることだ 重 ば るとも 日 0 (1 師 力 う親 飯を食 要 館 本 V イズ・ビ ーでラッ ひど な発言をし ばクラー 人 0) クラーク博 ] 陳 では 言 ン H は 先生 け 11 っ 列 的 つ 言 品 そ パ たこ てい は な P ] 00 $\overline{\mathcal{O}}$ 学 1 現 に

ところがクラークの伝記を読んで

る。 スは 等 もう一つはビー・ む に < あ کے 示 2 うちをく る。 発 とも う を る 11 · う ねに Ũ کر 彼 時 L か は たボ てい が 紳士 5 この 札 つ n 時 だけ 1 0) 7 前 疎 ますます 訓 重 イ 在 別離に であ 示を終 ズ・ビ 林 に 要住 にもっ ゼ と に 七 ント その 思 力 ー・ア える とも 劇 あ わ月 たっ 影 というので ル 的 れの マン。 を没 ンビシ 劇 に 間 る で馬上 になる。 的 発 に 馬 ごであ 言 L 小 汝 た じ ヤ な 訓

ば、 今の る。 ら ビー・ n 見をただしたところ、 てくるが、実はクラークのもとにも、 11 み なる 当時 る。然し歴史の真実は だけで沢山だと怒号したと伝えて て言下にビー・ 小 中国 校 学校にもない 0 開 厳 ント 規則に の漢の高祖の法三章にも似 拓 長 11 ル 官 規 マンで沢 つ 0 則 ゼ 黒 7 が ような九カ条か ント 7 田 あったので その箇条書を クラー 清 む 山 ル 隆 つつか だと言え 7 が クの 札 4 意 幌

う 正 クラ 健 氏 は ] 7 後 ク 日 日 011 る。 教 えを 0 遺 直 訓 接 受 に け 1) た てこ 大島

0

は過

依

然とし

7

個人主

0)

未成

信

怠惰をさえ美徳

心だとし

的支柱とは、 なの青 ラーク ビー・ ても日 であ があ るべ な 時 に うなことであ 決ば 0) 0) ての 5 つけたとい さね である。 ではなく、 しカンシ かった。 きだ」 規則 う ń は 7 つ 年 /は英米流の ゼント 怠け -学徒 たの たの ば 蛮 本 ば 知 床 は の学生 を重 なら を表芸とし 11 5 ば 0 ヤ 者では ず日・ であ で明 つま には なら 遺憾ながらこの遺 というの うことである せ か 11 Š 自己の良心 元がずる クをおこして ル ぬ。 る \$ け が <sup>ル</sup>ろう。 ベ その 本の マン ŋ 治 な 0 0 か な 鳴 きとこ 彼 主 ない 近 かった。 大正 ゼ 67 0 5 n て大人 代的個 流 此 味 0 初 青年学生の が 灯 ン 直 ば が ぞし Ť クラー で集 は 0) が 期 真 時 そ クラ 文明の 3 なく 弊 災 が、 意だとい 規 卓 昭 に ル 間  $\mathcal{O}$ 思うに マンは 物 和 とどな 従 で 衣 来 人主義者 則 ま 時 神 分から ĺ でやる にってや に入 クは 0 破 あ 訓 は 早 あ つ クの いりそ 落差 水まる 精 7 日本 士 は 灯 る ŋ ク 神 う

である。 ンド・パ を破棄して禁酒を宣し、我は故国から携えてきた幾打 で長生きしたのだろう」 ころ、「これ 宮部金吾先生 学生を鼓舞 と P な力 体 る。エナー に う意味であろう。 煙草及び食慾と情慾とを制せよとい よるも 内に れ、 と頑丈な体格を保たなければなら はエナー いうのである。 ペタイト・ い。故にこそコントロ 1 クラー ら来る矛 八格とし 口 のだ。 先生の 生命· 1 僕は常に ] ツ その <u>۱</u> クの ル ・ジックメンは気力に富 ĺ は 寿 7 力のあふ -ジック 盾 •  $\exists$ ぼく 深 は たと伝えてい アンド・ であ コ クラー 0 ために学生の ユア・アペ 遺 ンとい ンド 秘訣 ζ. 北大の生んだ第 九十 訓 国家 酒好きなクラー <u>`</u> 敬慕 は 0) つ メンを必 -ク先生 余歳 ば n 無慾だったせ もう一つは、 口 うことだ。 とたず パ と思 ] る人を の重要な地位 L ったが、 、 ] といい タ 我に続けと ッ の長 ツ ル ル・ユ ن ئ ئ . る。 健 0 の葡 ションだ 1 要とす って お陰 全な脳 いうの  $\Xi$ ユ h 寿 ア・ たと で保保 萄 ある 後日 ア・ み、 洒 ク P

した先生であった。笑された。世にも美しい老人の顔を

を

L

た。

そ

時

有

島

きん

師

宮

### 真の継承者・宮部金吾クラーク精神

0)

話

が

終わ

るや歩み寄

5

n

て「有島

€

わの

ざ出

「てこら

れの

だとい 所は時 た。 説家としての有島さんという拙 島 演 0) 親友だっ 公会を札 さん 愛弟子鈴木限 部先生ほ 有島さん 0 計 幌で催 星: 台だ。 た森本厚吉さん、 れている。 の死後十周 座」にでる園 ど好きな先生 講演者は 三さん、こ したことが そしてぼく 有 年  $\overline{\mathcal{O}}$ 0) 島 あ は 有島さん 0 人は有 モデ さん る。 記 な 念講 が 41 か 場 話小ル 0)



左から新渡戸稲造、宮部金吾、内村鑑三

**おとうよ」** Ł 有島さんな よ」といって手をふられた。 す をいうとぼくはこの会を逃 しろなどとんでもない。 お話をお つ 先生の か り慌 を 願 をよく読 方が慌 といっ 知 61 7 します」と申し上げる たぼくは っておら ててて て手を握られ んでくれ n 「ぼくに話 「先生が一 る。 そんなこ げ どうぞ た。 出 n

そん 出来た。 先生が意外にも なけ ラーク仕込みのクリスチャ 寮長は宮部先生であった。 昔札幌 ヤ 則をつくると、 った。当時は札幌で一番よい 約 いれば入っ なも ンを名式 n 従ってこの寮はクリスチ るが 入寮したい ところがこ 0 に青年寄宿舎とい したい。 (寮出· ょ で 乗る者が は 反対され 一来ない な 67 偽 酒 但し入寮 B 出 ば n クリスチ 煙草 を聞 る。 とい 誰 かりにクリス た。 でも希望 う規則 先生は は 信仰 いて宮部 ヤ うの ンで た者と そん 飲 ヤ · 寮で、 シ ま ٤ で な ク が

こと。 と タイト・アンド いわれた。 クラー コン 1 ク ロの パ 遺 1 ツ 訓 ル ショ で ユ ア・ ンだから 番 大切な アペ

る。 ラークの遺訓がこんな形で生きて 神 に興味を持ち出 が少し てゆくそうである。 今に至るまでこの ŧ 損ね [すと、 られて 寮 自発的 宮部 生 11 は な 筅 酒 生の 41 B に の精寮 煙 ク 草

### クラークの遺訓誤訳多し

風 うのは誤訳だという説 スにしても、 Ł に生きては ある。 うのであ に ズとは複数 L 世代を意味するのでは クラー ボ る。 ーイズ・ビ 4 青年よ大志を抱けと な クの であって青年よという 67 遺訓 ー・アンビ もあ ろい は決 る。 ・ろな L な 7 シ 矛盾純 41 ボ 4 ヤ ح 1

文明の かったということは、たような意味に受ける クラー 明治初期 伝 統 落 クの な問 的 差 な言葉に で あ 0) めりふれた あっ 題 が たろう。 あろう。 た訓 取 なりきったとこ やは アメ らざるを 戒 り彼 誤 IJ Ł 訳 誤 力 得 か 此 人 0) 訳 ま 0  $\mathcal{O}$ な

> く壮観 えたが、 スを島 きつ 親友、 のであった、 0) 「ツン思うに」と出るから式場 ゆたかな巨 ようにいわれた巨人であ 翼と変貌 になごやかになっ 17 介 クラー るの である。 户 人が今日の 大学と形を っけた。 。 校 は 南 であった。 がい 松の クの 流 部なまりが不思議 偉丈夫で学長 明 n 勅語 浴間 ささか 躯 佐 ボ た。 てこうし 北 は 藤 イズ・ビ かえて、 おそらく北 几 先生は 大の で直 0 岩手県人で原敬の ~滑稽 たものであ 「朕 頭のツル 接 この農科 7 基礎をつくった ー・アンビ 以ぶりは きい 帝 おもうに」が な感じをあた 北 大空前 海 つ 国 た。 た佐 大学 道 大学 に人をひ リはげて る。 が途端 とに 0) た 父の 藤昌 六尺 絶後 Ď シ  $\mathcal{O}$ か ヤ

ど あ げ といってよい は と思うほど妙な才能を育てたもので 北 る。この先生たちとクラー てくると、これが農学校出 表 面 ように結び 大歴史をひもといてみると、 回生が宮部 だけでは解し 政治家であったろう。 つくか 内村、 しがたい 歴 新 定めの 渡戸とあ -クとが [身者か 意

> り前 北海道 全く姿を没してしまう。 専門の場所として、 大学の一部 番 なくなってゆく。 ようになると、 増設され 読 静かな大学になってし のことを当たり前 H 新 大学とな 校 物 とし 渡戸等々という英雄豪傑は 0) 帝国大学の全貌 として農科大学と 7 分 最高学府 り、学部 であ 面 クラーク、 話 る。 題もずっと少 にやっている ところ そ おそらく日 として当た が だんだん まった。 を呈する n 佐藤、 なり、 は が

### 「都ぞ弥生」

若人の が、 が出 ほ ゆる」と共にあまりに有名に 呼玉杯に」と第三高等学校の などとい とん ŋ を逐うて北 論より証拠、 たこの 一来てい 変 その中で「都ぞ弥生 まもなく北大の寮歌 だ見当 わ 歌 、って、 は不思議な歌 ŋ だけけ 歌 た 海 に 帝 道 は 日本三大寮 が 5 歌 ない の大自然の 人影とい 国大学になって 高等学: b であ n に 夏 「都ぞ弥生 うもの る。 ととい 秋 校 歌 なっ の「嗚 冬春 「紅萌 風 *の* 長 た

だれ杯 Ł 自 うも だ 然のふところに 0 る ない。まことに静寂なも だというの 海に漂 れに比 その昔 0) のが 破 は人間臭フンプンである。 大威 邪 いえるわ 影を見せな を 0) ベ 0) が剣を抜い 張 て一高の寮歌 である。 クラー ŋ 8 にすっ だの、 が Ó 浴き持 クの 国 工 |民を救 1) ぼ 遺訓 ] 健児意気高 うだ ŋ のである。 غ 1 「嗚呼玉 人間 や社会 を培う 意 0) わ 抱 か 濁 n



創建時の恵迪寮

が

未だに

残

つてい

る。

その昔、

プラの並

末

広々とした芝

牧

てお

る

エ

ムの

稲造青年

が

ローの詩

が 11

でも

Ħ

本

広

11

面

積

をも

んもく

は

日世

0

が

う

な

つ

は

が

つも

あ

Ď,

牛や ル

と

77

うロ

マン

チックな幻

が

集を抱いて草深

11 口

芝生の ングフェ

中

熟睡

とし、

た

でも れる。 歌 < そこここに残存 然し 12 は 乱酔 昔ながら ながら北大を物語る話 とに 幌農学校のその昔である。 た学生の か く静かな学園 しているように 歌うスト であ 題の多 1 る。 思わ 4 今 0

立 5 というのだから面白 札幌農学校 たる大校 は コチ 工 'J" が ヤ 41 0) エ 島 コチ である。 荒 野に ヤ 工

あ

※多の教 育者を輩出

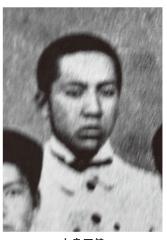
な学校であっ ところが うま 増して多く に 成功 か でも なう幾多の た人々もあ あ た。 の札幌農学校 るまい 0 学校 教育者を出 指 の開設の が 導者を生み、 こるが 勿論 が 不思 0) それ 目 そ 的 0)

目 は

> どよりも 佐藤 育者になった人に第 育者 それがまたほとんど成功 分けといっ 今日いうところの「でも先生」 る。農学校を出 なったも 身者が全国にわたって先生、 た人である 正健氏 7 0 昌 ている学校 İ に なっ 的 0 0 有 が むしろ教育 を 内村鑑 が たも ていいかも知 が 多い 匠 武 て中学の先 真正 のが多い である。 0 郎 8 な 新 のも珍現 者とし まが た 渡 新 回卒業生の 4 戸 この 農学校 0) n 稲 11 渡 ح 生に なしの て成 である。 な てよき教 いう珍答 造 学校 稲造 11 に になる。 が、の 労し で 間 あ

に大い 大島正 クラー クラー られ 民党の・ 一 甲 府· 事を知り、 「大島先生を通じてクラ 健氏 年に中外商業新報に執筆し に可愛がられ、湛 クの孫弟子と号してい ク先生を思う」という文章 中学: たのである。 いであ 大物 校 子供心 Ď, 石 0 生徒 橋湛 湛山 私が にも 時 Ш Ш 少 代 z さん自ら、 年は校長  $\bar{\lambda}$ 0 ハーク先 校長 0) 的 山 た 昭 が

クラー ビー、 主思ル 決 で驚くべきことは湛山 クラー として に 一義の 想に て個 通 マンによ していることである。 と速 た個 クの と述 然し少なくも近 ず で 人主義 思想 大島: クの 基 Ł アンビシャ ク |人主 断 づ 先 所 言を 4 < 7 先生 クラー で 生 育 表れ を利 あ た ŋ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 方針 なは決し る。 る。 Ł 11 に依って کے 教 感 、ス。 ク先 たも 0) みじくも す 己 師 化 は 主義 概 さらにこ 世 か n た に 0 生の てそ ビー さん る者 間 0 に (ボ 彼 由 之 於 そ 0) で 伝 は j る 異 はれ 如 「えら 教 を • そ 正 0 17 ゼント 1 0) 育思 なも 7 排 名 何 しく 0) れ小 往は ・う「ク 文章 そ で なる n 醇 個 斥 に 々 は す 解 0 の化 に人 す 主



大島正健

だと断 授 L 高 長 鏡 で ボ か に 家 いは ある。 (主義思) 5 < す うの即 さてこの学校 て乱用され ] 11 のことだが 壇上 ·日本的、 É イズ کے て失脚 な 共に 田 Ű この 67 たア 想と 健 か • あ 5 私 ビ 浪花節的なあわれや、 なぎた。 空 訳 0 メ 遺 3 断 1 分が帝国 見 ŋ L 訓 n じ • うく訓 カ た たところ 日本 アン 私 は た 山に が や 0 個 か さ他 2 |大学に -を映 ビ 壮語とし は **{**} 戒 h 0) 主 的 7 正 シ 知 は 大学に 常 義 0) ただ二人 す小ナ イ ヤ 5 L 現 な 遺 的 な 套 ス X2 実い 11 して、 1 語 さき を 訓 要請 つ 卓 が 政 皃 個 7 移 کے は 教 治

学部 頃 る ŋ ス あ 立 X ぞ すん か つ 工 ~ 5 , ] 0) あ が 7 んる。 舎町 御 出 お だの 部 1 ると 第 一来たば、 な 門 つ すでに北海道 0 母校 白 たし、 は、 銀 0) ょ 口 杏 亜 学校 大正 生がまだ予 うなところ の東大の 0 かりであ 両 0) 農学部 側 並 校 干三 とあ 木 に 帝 深 に が 年 Ш ま な 11 つ 0 大 建 科 とし を か n か n た。 0 外 ち 秋 らそ 入っ た目 変 8 に T で 77 わ L つ た 独 あ 7 つ 医 41

> と悲し てた顔 る樺色 んがに のよう 伝 るに 演 か < 肝 ま 学部に、 なと ポ ま移 加 を ポ 野 然し ことごとく切り なった。 そ が 速 大 が で北 抜 今先生 プラの 田 的 な 0 ラ 歩 度 は 思 げ 0) か 1 11 先生、 な校庭 その に立立 的 帝 ゴン 並 も農学部出 41 11 何 並 う 大 浮 7 に 国 0 木も昭和十一年 旅 え 木 が 立などの 変哲 変 頃 大学として形 クリー た 11 か ち 切 大本営とな 松村先生、 うくし 貌 ぶの 人教 は には農学 ŋ 遥 0) ょ を 角され t う ま L か 左 そそそ 姿を 宮部 がだ広 であ 身 てい 倒 に な ŀ な 師 右 てな で  $\mathcal{O}$ 0 11 3 **{**} に ŋ 莧 る る。 塀 凡 来 は 校 つ 先 々 何 0 伊 る 元ては妙 た 式 が 0 庸 つる な ح ッ が Ò 町 大 藤先 内容共 今もあ に及 生き 陸 7 をじ 続 11 0) か 8 力 L 0 と であ た É Ĩ 5 퇸 が < 軍 < に た 秦 ょ 石 11 z n

野 なども Ś 球 0) 試 私 そ 合を 0 ち 中 申 は に 医学部 交わ つ だことが 0 7 教授 た。 た

に

7

とも

若

11

教授、

内

村

祐之

りとし

た安定感が

あっ

ち

個

主

な

5

共に喜びあった北大の夜明ける 今先生 系の 終戦 ことが出 先 出であ の惨敗 生等々、 ₩ 時、 大学とし 生、 びとし る。 堀先 昭 来な 理 に シ 内 学部 精 終 吉田: 和二十年ま Э 村 は た。 て楽し か て法経文の 生 のような感じ 鋭 あ わ ] 教外 ١, ١, ずぐっ 先生、 った。 0 授 が つ 科 。このように北 松浦 出 頃 た  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 来 か 0 バ 柳 わ て、 で、 先生、 学園 堀 て、 つ ₽ ツ が 教 学部 軍 内先 テ 懐 自然科 茅先 で学生と 私たちは は ĺ) は を持 生、 P ] 第 昭 L 科大は 野目 生 は 11 和 七 中 ŋ 思 放 高 つ Ŧī.

近代的 学園 とも 上な ある意味で北大にとって幸福 17 に法経 て成長 な に 41 札幌農学校創立以来七十 は か 沂 か いえると ?ろうか な自 深 して 文の 気をつくりや 的 く培うことが出 育 な 由 思う。 来たの [な個: 学部を持 0 府 ツ 人主 ク クラ ボ で て人間 たない す 義 あ ĺ 思 来た る。 か ン を養 -ク以 想 车 これ 帝大と た だっ 形 0) をこ 余 う で 来 成 は  $\mathcal{O}$  $\dot{O}$ た は  $\mathcal{O}$ 

> う。 心 を げ 知っ 私は 7 戦 伊藤誠 を 後 てお 当時 うく そ 0 るから 先生の 哉先 つ 基 生 0 であ 定帰 私 上 見 は に 遂 と努力と苦 L そ に  $\mathcal{O}$ 功法 11 と思 績 文系

すばらし 三々 スピー だっ る。 うな大学であってほし 7 た パ は 夫 ザ 人 ] 懐 日 伊 た武田 Ź 藤先 五々この その ティ 文系 か 0) た ザと思 l チ 爆笑をか ち い。中 生の ] 41 席 が 0 思 中に、 泰順淳さんの が 上 赤いスェーター 教授諸氏 晴 あ 1 緑 61 当 部新設を喜 出 の芝生 浮 った平和な場 n つ 時 やかか た 時、 であ 北大 か ベ る。 一を逍 ることが な微 0 の芝生は 41 美し テ 微 と述べて、 Š ĺ 0 遥 笑を今も 醺 · を 着 助 でするよ 記 面 77 ブ を 若い 実に 出 も今 ル 教 お 念 授 来 7 75  $\mathcal{O}$ 

## さっぽろ市民の故郷・北大構内

目 が 氏 備 本 0 年 移 一から 非 され 毎 って今や北 凡 に 0) と数を増え 生 校庭 て来 夜 0 手腕 ま ŧ 赤 た。 に n 大 出 々ととも に 現学長 は よるも る業績 偉容 相変 々 、たる る灯 杉 には お 0) らず広 で 野 ま 近 代 あ 首 す に É は ろ 貞

研

晴

す

さをしのばせる。

性が であ る。 か 時 札 に 計 っ 的 日 つ 幌 机 り、 だか てい 本の大学の中でも、 ているもである。 く、「私たちは 台 0) 芾 市 کے 生. ら北 る。 民です」 市 七十 77 は 民 7 机 大は全市 余 O幌農学 ちをもった大学だと 心 万 とい 時計 はい 0 市 校 うの 私はこ つ 民 台 民 0) もっとも もここに向 0 0) 象 心 が 鐘 の大学 徴 0 あ が 0 故 る。 なる で 序 郷

(「学燈」丸善―昭和39年2・3月号)

す真は、北大付属図書館所蔵)

# モツラの母さん米寿を祝って第3回「39・40会」

39 · 40会」会長 芝 垣 美 男

(S39年入寮

は 2 0 たラ 幌での大寮歌祭に併せ入寮45周年を記念して行 食べさせてくれることから、 ぼろの 歌祭に合わせ開催。 ラの母さん。 き当たる角 寮から教養部グラウンドを横切り、 で発足しま なくあ 39・40会のアイドルといえば、 昭 ーメン店 和 母 りませんでした。 0 39 年・ 4 地にあり、 B した。 年 40 と呼び、 11月、 「亭北軒」の鈴木トクさんです。 「モツラの 年入 そして07年10月、 、寮生の集まりである「恵迪 入寮 40 記念すべき3回目は 店通 モ ツの載った滋養満点 母さん」 周年を記念して小樽朝里 61 を楽しみに 寮生は親しみを込め 当時の寮生たちから「さっ などと呼ばれ 北 15 2 回 してい 条の市 昨 目の会を東 年9月25 0) 寮 ラー 電 店 慕 た寮生 いました。 には、 39 通り 7 わ 巨 宗の寮 れて *"*モ メ  $\prod$ 40 ĸ は 温 札 ツ 突 油 77

さんは車 88歳 当日 母さんは39 た娘さんに付き添われ、元気な姿を見せてくれました。 7 母さんを懐 す ・40会の発足会にも招待 を使用し の祝賀会も兼ねて招待。 かしみ3・40会の仲間 ています が、 あの当 足がやや不自 しま L が道内を始 |時まだ中学生 たが、 由 な母 П

> 後に、 り合 した。 を大合唱しました。 定く九州 う い寮生活、 , , 全員 窓生も多く、 一人一人がマイクを握って、 や関 夜の (が肩 茰 そして元気で頑張っている近況報告などを語 西 Iから四: だ組 けるのも忘れるほど盛り上 み、 40 十数 数年 母さんを真 半ぶりの再会数名も参加、 ん中に、 モツラの 会に感極 卒業以· がりまし して「都ぞ弥生」 思 まる人も 11 出 初 た。 B 懐 11 7 か ま کے

ます。 母さ 約束しました。 来年は 元気でまた会いまし んの卒寿祝 そこで、 「都ぞ弥生」 来年6 モツラの母さん、 17 を兼 月9日 ね 0) て全国 ょう。 1 0 の「都ぞ弥生」 0 0 周 仲 年。 蕳 が再会し合うことを 母さんも卒寿を迎え 39・40会の諸君、  $\bar{0}$ 0 车

(室蘭市



う?<u>.</u>。

# メールに託された仲間の

佐 竹 正 治

(S39年入寮)

会の結束と、 リングリ いと思います。 ところいませんが、「3・11大震災」の直後に3・40会メー 不幸中の 東 0 電 幸 福島 ストを飛び交った被災状況の一報をまとめ、 文を書 7 今後再び起こりかねない大震災の備えに 同期会の仲間で大きな被害を受けた人は今の 原発の放射能事故はまだ収まってい いている5月22日 現在、 Ė 本 大震災 ませ 同期 ん。 への余 た

### 震災に めげず 都 ぞ弥生」百年祭まで頑 張 ろう

3 月 11 その後は、 寮歌祭の切符を買うため、JRみどりの窓口にいまし 0 生」百年記念祭までは、 39 40 うわ 残りで食生 1 日の地震等の影響は、 寮·東京都練馬区) ルの発端 けでメールが の皆さん お晩 自転車で記念碑の掃除に行ったり、買占めた食 活 は、 を続けています。 3 月 15 届 何とか頑張ろうと思っています。 です。 から 日午後5時過ぎ、関 11 如何でしたか? た方は、 **の** 練馬のお節介の関口 来年6 報でした。 報告し合い 月 9 日  $\Box$ 当日は・ 光 0) 雄 ま です。 君 (S た。 水戸

> ح n が きっ その か なけで同じ 端を紹介しま 期 0) 仲 蕳 す。 から次々に X ] ル が

> > 5

### 交通 機 関 スト ッ プ、 計 画 [停電に苦労

月 15 日 23 時 平 田 更 君 S 40

14日は終日運休、今れずに帰ったとか。 京都 代の会合は、ドタキャン。名古屋から出てきた人もいたし、 5 帰ります。 出てきて、 0) ままで一夜を送り、12日帰宅しました。 でしまいました。交通機関がなくなったので、 築 35 横 の人間は新幹線の中に10時間滞在して、会合にも出ら 0) 年 書棚 。 が 泊りがけで仕事を整理、明日は運がよかったら カップ麺とおにぎりで準備 が ル 傾いてきた。 の8階、 今日は夕方から運行ということで職場に しかし、計画停電には苦労してい 倒れてくる書庫を相 逃げる機会を失い、 万端 。 土曜日 手してい H 着の身着 の大学時 へたり込 ・ます。

绮 玉県坂 市

### 日本人の真価を発揮する機

3

月

日

時

. .

六

君

39年入

本人の 日 本に た は かう姿に テレ が、 真 本日 ピ 真価 0 16 ロの朝日 民 ま に釘付けで連日の被害の速報を見ておりま 人間としての重要な助け合い・友愛・自己犠牲 を発揮 主主義は根付いていない 賛嘆のまなざし」があり れ育 12 新聞のザ・コラムに ら学んだ一人として、 鈴木修 する機会であると思います。 0) ましたが、 「逆境のジャパン立 他人事では か、と慨嘆し 今 日 道道、 あ 正に日 ず。 りま 7 日本 ち 東 せ

思 代 た。 したが、 わ せ は、 々 害を経験 ず n 0 ます。 んこの 直 生のうちに 接 神 的が 0 せざるを得ないことを語り継ぐ必要があると ま 具 な ま平穏 戦現 生はそう甘くないことを思 争化 にされ は必ずと言って良い きき込ま 心 一生を過ごし 強く思っ n た次第 ず、 得るのか ほど、 大きなが 、北九州市 です。 41 ~と思 知ら 災 大きな戦 我 門司 ર્ક に々 つ n 7 Ł 0 ま 11

### 自 然 の 猛 威 に 間 の 無力を感じた日

いが砕か たこ たたたた 凄さに たたなな る次 よう 災 0) 生 ことと 然の Ü 地 第 0 か エ ネ 技術の かっ な地 と比 です。 富 n つ くり 猛威 ル Ш ギ 震 たことや、 は ベ 無力 とは の状況 少年 ] n 最大で震度3、 たたま 莫大な国 れば、 に ております。専攻は地 時 は 41 え、 れな でし 代 小生の認識 影響殆ど無 人間 原子 費 か た。 5 人間の・ 41 • 力発電 県費を 思 00 自 「科学 で 力とは何だろうと思 を超えるもの 波 か 、 う 50 T な cm も の、 41 す。 所か 0) 0) け 球物理学でし 技 た津 T 工 制 Vでみる津はもので、申し 術 作 御 波防 が、 でき 立 が 国 あり 役立 波 北 な 富 堤 11 • たが 山 た の É 状 波 関 が つ 思 態 役 訳 0)

いた津る。波

波

な

41

被小

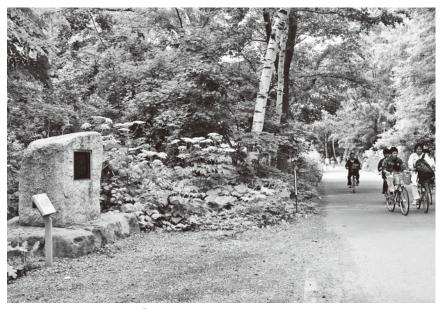
16

 $\exists$ 

15

時

正



### 平成22年度恵迪寮同窓会 第 11 回

### (平成22年11月24日・札幌市時計台ホール) 開 識 社 講演会

## 「20万人を救った近代噴火予知科学の軌跡 ~有珠山噴火10周年に考える~」

講師・ 畄 田

**壮瞥町防災学識アドバイザー・NPO環境防災理事** 弘 北海道大学名誉教授 (S37年入寮

### はじめに

ならない。俺が現場で教えてやる」 理学は講義を聴いただけでは学問に 5 に中井慎二さんという2年先輩 ちょっと心配です。今日お見えの中 18 です。今、寮歌が流れていましたが れます。1963年、 んな歌を聴くと、 なかったと思います。 昭和新山 に進んだとき中井さんに「地球物 歳の頃に戻りこれからの話 ただ今ご紹介いただきました岡田 アルバイトに連れ 今頃火山の研究などして でした。 あっという間に だから彼がいな て行かれたの 私が地球物 がが 4

### 世界的災害の多くは人災

に は 繰 波 流 ド洋大津波です。この時も、 チリ津波が来襲、 起きています。 実に多くの火山噴火や地震、 万人が亡くなっています。この写真 1 さて、 り返されたのが2004年のイン (が亡くなっています。 同じことが なったアルメロ市の少女です。 1985年、 が日本まで来ました。50年前にも 00年周ですが、世界的に見ると、 の中に生存していた姿がテレビに (コロンビア) 火山噴火の犠牲者 今年は有珠山噴火10周年、 ネバド・デル・ルイ 今年、 北海道でも多くの チリ地震の 二十数



が、 この話を最初にするかというと、 ところが市長がどこかに仕舞ってし を制作し、市長に届けていました。 の時、 学者を変えたからです。 し出され大きな反響を呼びました 「アルメロの悲劇」が、世界の科 2日後に亡くなりました。 なぜ ハザードマップ(緊急避難図 研究者はこ

者にマ を促し 観 り、 連 を考えると、 に 出 流 Z す ま を流 測体 7 .は、社会対応に対する的確な助言、 で約3万20 の道に飛び込みまし がいかに大切か分かります。 活発な火山 41 西インド諸島プレー 世 けれ 界中の い選挙 まし チ ます。これ 制 ŋ 、は大丈夫だとい たからです。 の不備 0 0 た。 災 我々火山を研究する人 で、 火山学者に大きな反 まさ 活 0 私はそうい などが原 ŧ が 動が続 0 噴火予 任は研 方 人もの こうし た。 0 う誤 陣営が 火山 11 ザ 知や科 因 いう時代、 た 7 犠牲者が 1 1 一では [の火砕 たこと つ 41 9 わ K, た情 ~有権 るの け に 7 な 2 あ ッ

### ネ バ **١** 岳で生き デ ル • ル 1 ス の 教 訓

大正 人が亡くなっ 日 に 上富良野 バ Ł ド 大きな影 • デ 噴 た十 火に ル 町 B • による泥 勝岳 美瑛 響 ル を与 イ 町 0) ス えま 0 Š 流 0 防災担 ŧ で多く 噴 との L 火 た。 は マ 0

> れました。 経先などが表 てもすべ 界 海道 持ってどこに避難すれば 分 られたハザー 町 0 地 に 者 で 中で に そ ました。この かるようにイラスト入 0 引 は 初め 行っ から世界に発信され ハ 0) 長 ザー ばらしいことです。 ひら 対 K ネ て、 た勝 策 な バ 書か Ë を つ K, 1, 并 依 た北 住民に配るため 17 マップです。 • れて1 たの 頼 マップです。 先 ハ デ ザー 生 大 ル いがここ がが てきま 0 • 1, 勝 軒 帰 ル よい たことは 1 7 ŋ 井 1 ŋ ح にあ 義 ッ 軒に配ら 0 ス で 住民 プが北 に か n 飛 た 災 何 うく Ź は 行 を 世 ح 連 が 両

ら約 13 た。 そ 東 予 用 する技術としての噴 た 振 る舞い 大出 知 次に 知識を参考に、 比段階に が は ~どうい ま 版 年 つではなくていろい 可 きょうの n, を観 前 能 に 達 かということです 今何 してい 測 火山 うことを意味 宇井忠英先生 テーマの一 でとらえ、 活動 が 迅 る 2起きて 速に 火予知は の多種 と書 症 ろな 上と2人 つ、 状 蓄 41 多様な を診 積さ 7 る き ほ ま 今 噴 か、 可 41 ぼ 火 実 n 断

> 果、 火もその ます。 を考 n 体 7 制 0) え 0) 減災成果の一つだと考えら ま る。 30 両 3余年に す。 立 による予 こうし 20 約 20 0 た 万の 0 知 火 بخ 年 山 人命 減 有 観 珠山: 災 測 が 0) کے 噴救結

わ

と 4 回 さて、  $\dot{O}$ 人をあまり殺さないできた、 0 で噴火」、 質火」、 [噴火してい 有 そし 珠 昭昭 Ш はこ 和新  $\begin{bmatrix} 7 \\ 2 \\ 0 \end{bmatrix}$ ます。幸いなこと 0) Ш 1 0 00年噴 噴火」、 世 紀に、  $7\overline{7}$ 火 明

年

治

れ



100年間に4回も噴火した有珠山

たサー たはい。時ら きな噴火 L 寝  $\mathcal{O}$ に 9 Ł 日 7 日 日 地 起こり始 ことをすでに 避 た。 かせ 44 死なず 一前に う火 0 噴 0 には強制 に 11 で夜、 「体では 0 の室蘭 湖に ジが 火 難 ま 向 1 火予 らす。 は住住 方 5 年、「昭和 山 0) か 977年、 ~に済み です。 噴火 まで上 て無事でしたが、 面した農家の 湖 41 8 で たとい 命令的 |警察署長が現地 0 窒息死し 住 す。 民 0) が ます。 発生し 実行し 赤ちゃ が の約 牲 民 村長らと協 2 0 方まで流 す まし 始 者 0) 0 が 0 新 で 明 う情報な まったの りま に全員 避 煙 80 は 0 Ш んを押 この での高 この た事 難が % の た泥 いま た。それ 7 0 0) 出 0) L 4 年 1日前 噴火」で火砕 た。 噴 れ出 来 八たちは 『を避難 嘈 流 故 完了した翌 人々を、 を得 せ さは た 中 議 「火」は、 何回 で、 で地 火  $\lambda$ で が 0 L <u>3</u>人 から1 で あ 入れ て、 7 で ک 11 1 に りま まし 0 目 万 2 番大 前 ż す。 同じ ま 人 避 がた 喑 せ 前 現 難 にか 実  $\exists$ が

> な 行 L 0 は か か 当 つ 泥 た時 住民 流 畄 つ たちの 代 7 は つ きり 体 B ノリ 砂 だ ノンケー 防 L n 扣 7 に 当 責 41 ・ジが ま 任 せ が ま 防災 h あ で る

ح

0

4

年前

に、北

大の横

Ш

泉先

場は分 ま。 地 そ ょ 力 羅し して 0) n か 役場 幸 い、 つ 作ったけ から勝井 たものです……。 か た防災 噴火に関するあ 5 に 死傷者 な ŧ 災対策を作りました。 'n 先 いの 届 なども けら 生の2人が ぞ が 役に立 野積 ń いなかったから ま らゆる情 2 L 立たなかっ たが、 道 行と協 役 現 を

### タブーから積極対策へ転換

「なるべく噴火を忘れよう。」す。77年の噴火から10年たっの岡村正吉町長のインタビ す。 77 じる を 起 有 0) テー 珠のことを話すの つ こりま 77 0 年 かさどる虻田 プは -の噴 タブー L 火後、 当時、 た。 だっ 次 町 の大 洞 はタブー 爺 たの 変難 噴 年たった時 ンタビ 湖 火 涧 です 温  $\mathcal{O}$ L 爺 泉 備 11 活火 ね。 えを論 ユ 湖 0 間 町 ] 題 7 Щ で、 で チ が

> 年に雲仙岳の女対する姿勢を変 津10が亡くた うし 沖者が て行動 合わ う どこに行けば安全ということを知っ 我々の分野でいうと、 何百· 訓 h す が 会風 ŧ で か ح 作 な 5 震 出 そんなことを話し のことに 人 の奥尻の そこで とい な たほ 成 襲 に する社会に 1 潮 い発生した日本海tu で発生した日本海tu で りま を岡 され 奥尻 9 7 つ う人 9 7 か、 わ 11 あ を変えてくれたり2年を境によ 火砕流 村町 は 岡 てい 人達は津 した。 |島津波災害で1 n 生懸命 村町長 んが助か その年に ば ま 長 なりつつある、 て、どこが だ す 奥尻島 へさん o で 43 わ 41 波警 ったの は てい 5 *7* \ 裏 研 と随 火山 ザ 北 そ Ш 中 ま 「自分は 人 分 た岡 Ì . に逃 報 0 ŧ 政者 部 ではその 海 と 危 「噴火に です。 98人 分し ドマ 時 道 た。 地 いは が 0 は な でげ、 南 ŋ 間 震 次の 0 つ 研 17 牲 ま そ ッ 教 で 西 前 た

火に

7

勉強し

て

11

たのです。住

|民の気持ちを

が 者地 クた現 2 域 シ わ 在 0 7 を転 を迎 そう ま  $\mathcal{O}$  $\Xi$ け 0  $\mathcal{O}$ いです。 n 住 ジ ツ 0 プ オ 換 7 41 民 年 Ž. に が 噴 う パ る 11 取 人たちc 開 95 つ ] 火 てく わ ŋ 年にに た に か け 組 ĸ n に わ つ n Z け 0) メデ は つ な ま は です。 そし 連 な 玉 が L 11 携シ ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゚ 際 り、 た。 が か 0 て情 つ 火 ま ح ス Ш 7 そ ま 41 テ 報 研 ワ 11 L n 究 1 つ 7 を が 0

### 父 の 予 兆 緊迫 の有

たとこ です いがい まに噴 < ح す。 地 な が つ 火 割れ 7 ま つ は ろで 4 噴 で 7 小 珠 27 次山火 般 が 0 11  $\Box$ Ž 17 生じ 噴 す 的 5 ま 前 ょ 7 H は 61 き る す。 です 夕 予 7 に 日 火 地 ょ 地 て、 た 方 測 グ わ 間 が 震 7 け 始 が 0 か が 震 地 が 2 終息 では まる で 5  $\mathcal{O}$ 地 起 1 震 0 28 火 B 粘 震 が わ 0 ?急激  $\exists$ Ш す 性 あ え もが わ 1 n 0 た 性 ŋ 判增 け っと大き が 年 特 ま か断 え で わ に 8 噴 ころと て、 す。 増え せ 発 け 別 で 次地で高ん 3 次

> 火しなかった。ずるような地質 えら な活 は、 た。 7 け 住 関 能 期 と  $\lambda$ 少なくともそ ま のの です 段 す」と答えま か 防 民 係 n 性 11 61 る。 ば 階 悩 私が うことも L 動 仮 n か機 が火 りね。 って道庁に であ 眠 なら です ませ 5 関 2 最  $\mathcal{O}$ 中 なが 重 出 が \_\_ に 前 Ł たことは、たことは、 とる。 ない が ん。 ま観し測 報 ま 0 大 伝 高 兆 の伝えました人な関心をは た深夜の 全職員 ら、「. を受け 0 え は と。 地震 程度 近 どこまで言 たが 所に ま 既 まだ私 ح L 々 に 貝をたたき起こす 年ぶり そう簡 を持 き、 噴 活 電 4 のことは た 始 な た。 動 話 当 う 火 11 0 有 ま 個 北 つ は す L 直 つ り体 I えば 7 ま だ珠 人の 7 ると思い 単 0) 7 0 大 が増え きまし 本 伝 か山 に 西 前 メ 11 11 意見 格 格北的大 えな ら、暗 は る 胆 に に 61 モ 噴 感 11 振 可

訓 火山 Ł で か 口 ] う一つ、 は プ ウ 午 観 遭 前 光 工 **延遇**、 特徴的 ١ 8 客 時 が でし 2 危 口 機 ] な動 た。 プ 髪 ウ エ 77 運 き だ が 年 つ ] 止た山の有 教頂噴珠

> 傷者も だけ 定 0 つ に 7 原 は l 動 41 動 ま 何 出さなかったことが、 力だと思 11 もれ L 7 た た。 な た。 41 が 地 \*大事で 段階 11 つ 8 元 た 2 0 そう ま 時 役 す。 30 場 す。 11 分 に う社会に 民だ 0 忟 間 か 0 策 人の 5 がこ 年 本 公 部

火 死

Z

0)

とき

非

りが

たく

思

つ

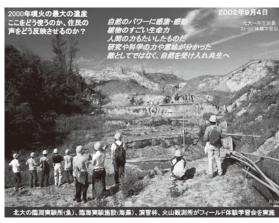
た

な

れ的

決

そこま 会と う ない人 難 玉 どこまで避 市 28 的 ンバ 0 た。 たち した。 は、 方 長 H と つ 0 L に 災 ] たちを集め 動 0) 7 法 対 か 17 八害会議 ŧ う組 道庁に で な コミュニケ そ が 策 0) 41 行く どが はだ てく 0 た h 自 道庁 人 でき 主的 難 か わ か 織 な た防災会議が常にありば ~ S がさせるかっ つです があり کے け 出 終了 た n て状況 なこ 来 7 る 4 で に ح うと、 1 す。 行 後、 7 V2 29 わか が 百 ħ け 5 É 動、 41 な 出 説明 は大  $\exists$ た NO などを協っ 地 で L 火 41 て、 来 夕 0 取 か わ 時 道 山 1 元 方、 へ変だと、 る や住 り組 をどの 時 に け 期 0 庁 0 社 町長 が積も 多く です に、 門 0 <u>'</u>委員 0 h 民 0 住に で だ X 0)



ジオパークに指定され、 体験学習などに利用され いる噴火周辺地域

報 た た ケ せ 文を出 ] た と 11 思います。 なと思ってい ま ションに ま む。 そ なりません。 n ح を住 たので大変よ n で 民達 は 何 コ が Ξ ح 目 かか ユ を 伏

虻

町

長

0 に

司会で、

研究者が

集合してもら

ま ス で

5

11

0)

難

中

0)

住

民

を

バ 11

火

Ш Ш

活動

はどうい

う状態だ」「これか

らどうなりそうだ」などと説明

づする

### 噴火遺産 パ ークジオパ I クに

たとしても、

次の噴火は

41

、つ来る で終

どの

質問

が

りまし

た。

こうし

た

は外

国 あ

ではよくやることで

これ

まで

何

かプリ

<u>|</u>

され

· た 情

H

本では恐らく初めてで

しょ

5 わ

11

我慢

したら

11

11

「これ

わ

けです。

住民からも

「あ

とどのく

えなけ とは、 ジオ えて 界 うやって迎えてい て、 な ŋ 教育と啓発、 周 に楽しく気よく続けられ をするかということです。 る共生、 うことに つ 観光と、 3 辺 先 噴 オ 地 災害が発生する前、 ているわけです。 パ 41 その背景としてジオ ほ 、ます。 (火周 れば 域 ども 災害の時どうするかでは ] クの ] は 自然を学ぶことが中心 なり 現 それから自然との クに指定さ 期 11 最後に、 け É ジオツー 在 か É 的は、 な ま 5 くか、 す。 11 力 L ユ ネ た ウ わ 一番大事なこ ح 次の -リズム、 が け 研究と保 ス 平常時 です パ コ これも非常 0) 1 7 る ダ スム 支援 段階をど 噴 ] 噴 17 ウンと 火を考 - クを考 システ が 11 ま 火 ĺ なく す。 ] に 存 わ つ 0 何 ま ズ に 世

> に大事 撃を減 クとい これ うございます。 場所だと思いま 険 Ш と付き合いな なことを考えてい とどう付き合 からどうつき合って うも です らしてい 0 を す。 < がら、 根幹 つてきた B か、 は りこ ご静聴あ くこと に置 有珠山 どうや 41 か 41 0) が < て、 ジ りがと そし できる は つ オ か 7 パ 直危 ての 1

# 道北・旭川恵迪会「開識社」講演会

(平成22年7月3日・旭川ロアジールホテル)

## 「有島武郎と北海道大学」

講師・二 川 義 昭 君(S26年入寮)

校歌」 立過程 の後、 が出来ましたので、 かけで有島の生涯や思想、 くなり調べ始めました。 した。 のことなどをいろいろと知ること 武 10 郎につい 年ほど前、 はどんなものだったか知りた のことが妙に 校閲され その時、 て少 る以前 恵迪 · 々 話 札幌農学校 気に お話したいと思 寮友の集 す機  $\mathcal{O}$ これ にかかり、 · 幻 恵迪 会が いがきっ 校歌成 0 CI 寮時 有島 あ で t 有

### 字習院から札幌農学校へ

れます。 蔵省高級官僚有島武の長男として生 有島武郎は明治11年、東京で、大

風の教育を受けさせることを志し、父は子供たちに、幼児期から欧米

横浜英和学校に入学します。は欧米の子供たちといっしょに学ぶは欧米の子供たちといっしょに学ぶは欧米の子供たちといっしょに学ぶが、6歳からアメリカ人牧師の家

の時、 郎は、 学友に選ばれ、 当時学習院は、 家は華族ではなく士族でしたが の子弟で占められていまし 9歳の時に学習院予科に移します。 伺候します。 かし父は、 品行方正・学業優秀で、 皇太子(後の大正天皇) 土曜ごとに吹上御 ほとんど皇族・ 将来のことを考え、 た。 10 歳 華族 0) 御 武

を期待していました。 が軍人か官界か財界で活躍すること 洋々に見えました。父は将来、武郎 に進み、武郎の将来は、まさに前途

> す。 れはのちに有島自身が述懐してい 雰囲気にもなじめなくなります。 うになり、 か 僚 L への道に拒否反応を示すよ 귋 また華族中心の学習院 郎 は 次第 に 軍 B 政 ま 0 治

学校でした。 だのは、 0 は と思ってい 当然学習院高等科か東大に進む 学習院中等科を卒業 なんと最果ての地 二百十日 ましたが、 . の 嵐 Ĺ 武郎が選ん た時、 0 台に 札幌農 周 横 ŧ 井



講演する二川義昭君

た。浜かか す度 拼 かありますが、これもその一つで か ら船 驚かせるような極端な行 有島 0 で出 生 発 には、「なぜ?」と周 1 小 樽 に 入 ŋ 動が何 ま 1

こが 島は、 気風 か 囲 に はの 欧米風 見られ 気に ったのだと思い れ、 がみ :幌農学校 か ?、吸い込まれるように北この札幌農学校の雰囲気 拒否反応 クラ 0 なぎってい な 教 77 ] 欧米風 育 に を示し は、 を受け、 ク います。 博 ま 当時 士 0) した。 時代 の雰囲気にあ つつあ 自 学習院 由 他 で進 の学 . や草 5 幼 た有 児期 に向 の雰 取 校 創 0 に期

ろうと思 とあこがれ か に光れる北を、 まさに、『都ぞ弥生』の 41 ぬ」という気持ちだった ま くす。 人の世の清き国ぞ 「星影さや

ŋ であ Ł 着くとすぐ訪 家 認められました。 に下宿 った新渡 接的には、 札幌農学校予科5年 させてもらうことに ねて行き、 戸稲造を慕 有島 家 0 結局 への 11 母 方 い編入学 札幌に 新 0 渡戸 親 な 戚

こうして有島の札幌 での5年間に

> が 18 わ 歳 たる学生 った翌年のことです。 明治 生 29 が すなわち 始まりま す。 É 清 有 戦 島

# 農学校時代と有島農

が 7 て始めま n しまっ 父武 ばとの親心から、 武郎が農学の 点は、 した。 たことに 息子が札 方向へ進む 落 .幌農学校 新しい対策を立 胆 は しました 0 へ行 であ っつ

となった 海道 に目をつけ いう趣旨の 未開地を貸与し、 開墾しようとするものには、 分法』という法律が たまたまその頃、『 の未開 たあ きし 法律でし かつきに 0 原野に資本を投入して た。 開墾ができて農地 た。 北 は払い下げると できまし 海道 父武 未開: 広大な 以はこれ た。 地 北 処

島農場

が

成立しまし

た。

明

治

38年、

武

農学 「父が私の 治 茂 り山 北 の貸与を受けました。 る広大な密林地帯マツ 30 海道庁 校 麓 11 行 0 月 ために、マツカリベツの広 丈高 に申請 った翌年のことです。 3  $\exists$ 11 の有 熊笹 L 島 と雑 0) 武 カリ 7 白記 郎 ツ ベ 力 が 0) 礼 ツ原 生い (リヌ に 幌 明

> 私 書か な土 0 生 n 地 てあ にを 購 か ŋ か 入 ま わ L てく 7 る 大事である n これ は

之丞 庁との折 引きつれ開墾にあ のニセコ町 ようやく道庁 カリベツ原 以に無償 苦難の 7 で、 ツカ 未に、 有島 リヌ 付与されました。 衝に当たります。 いです。 野 からこ 品の父は、 は プリとは 立派 0 現地 たったのは ち の土地 派な農地 Ō 資金提供 で、 狩 羊蹄 太村、 小作 کے かくて有 が父有島 山 吉川 なり、 人 現在 7 銀を ツ 道

です。 すなわち日露戦争が終った年のこと 広大な土地で、 \_\_

ちに有島武郎が農場解:有島となっている地域 すか よい状況 ~ 5 , 住み着 その ちょ でし 面 11 積 てい っとし は 田 今日、 た小作人 畑だけで450 た領主とい 放 帯 を宣言し です。 は セ 70 戸 コ つ 町 町た で 0

この農場 父は、 人生につまずいても、 武郎 はそのよりどころとな が農学を志す この農場 ならば



L に 来れ た。 ば なんとかなると いう 配 慮 で

学校校 を作っ 在学 を執筆、 在学中すでに に つ のめ かし、 て勉 中はもっぱら文学や思 か ĩ 形に り込 歌 たりしています 出 強し 0) この校歌は今日 なるまでに 版し 『永遠(とこしえ) み 有島武郎 ます。この分 た様子は 『リビングスト ていますし、 は は、 あ あ ń まり農学に 伝えら É いろい 札幌農 ン伝』 では、 せん。 0) 宗教 ろ ñ

# 農学校校 歌 の 作 詞

7

が

あ

5

たように

思

わ

n

ます。

作 曲 者の2名が書 気に寮歌 や校歌に か n てい は、 る 作歌者と 0) が 普

> 大御 て、 な量の唱歌や軍歌や校歌の作者とし 師 国 か 時 和 作歌とあ 通 0) でも った。 有島は、 幸 文学者で、 田 で す。 所でした。 n 建 世を風 教壇 は 樹 の場合、 一方、 りま まだ無名の一 極 氏 に立立 め 校閲とありま か ます. 靡 て異常な形です 大和田 ち、 人で、 が、 L  $\neg$ ていた大御所中の 永遠 か なによりも 必ずその 学生 は当 K 東大や東京高 有島 とこ に 時著名な 過ぎな 武郎君 ね。 前 L 膨大 え に 大

が、 したと思わ なり徹底して自分風 大 和 有島が作った歌を、 田 多分彼は校閲というよりも に校閲を依頼 ħ 、ます。 の U 学校 もの たわ に作 当 局 け です ŋ は 直か

です。

お

0) 7

うめわか)

作詞が大

れ車

41

ますね。

作

曲

は

多

梅稚

お

内放送などで、

この

曲

がよく使わ

校歌 島 たくなじまない部分が多すぎます。 ともかくとし ح 葉は出 0 国を守る力なり」と は3番までありますが の校歌には、 有島 連の てくるとは思わ 0 著作、 どこをたたい て、 2 番 どう考えて 連 3 0 か 言動 てもこんな れません。 一 山 番 1 番 は 心とまっ 『は裂く ŧ となる 有

> 第5 なぜ、 まであります。 名なのは 唱歌と軍歌です。 閲そのものでは あたりは ま とも、 る必要があろうかと思 ついては、 長 し 彼の名声を不動 ったく有島となじみませ 17 やし 集までにまとめ 唱歌とい 私がそう思う 『鉄道』 0) は まさ 大和 ような大時 あ すとも、 今日 われ、 田に な 唱歌』で主要幹線 しく大和 なかでも、 のも 4 のたもの つい でも特急列車 か か と思 実に334 0) 11 ということに 代的 ます。 て若干ふれ 田 にするの |建樹氏: ん。 は います。 正 最も 表 この 現 世 お 番 界 校  $\dot{O}$ を は 有 は

ます。 海海 々と続く長大な軍 さらに大和 あわ 『日本陸軍』 『日本陸軍』『日本海 せ、 大量 田 は日 務』『広瀬中 0 歌 軍 清 『日本海 です。 -歌を 戦 争 軍 • 日 佐 つ 軍 てい戦 日本 な

札幌農学校校歌の

「国を守る力な

り う名目で、 中で「 性 n ます。 田 を指摘 国 建 人々をかりたてることの 樹 0) 11 ため、 . う 句 有島自身は当 氏 してい 校 閲 は 国家の ます。 よる B は ため n 軍 0) 0 とい 日記 か 歌 ٢

大和田 せなむ すが す。 せ あらめやも」 0 し Ł 0) やし さらに、 実 忠誠を誓った歌とい 源実朝の 海はあすとも、 この 朝 世なりとも によるものと考えざるを得 の部分などは、  $\mathcal{O}$ 部 のこの 校歌3 有名な「 の歌の引用と思 分も国文学者で歌人の 歌 番の 真理正義おつべ ば <u>山</u> 君にふた心 はさけ海 山 金槐和歌 後鳥 わ 'n は 7 羽上 わ 裂 なくと れま わが はあ 11 ま ま 皇

閲 あ んい なも る わ で ませ れる前 のこされ n は のだっ る有島 生の つですが 11 つ 0 た 校歌は 今の てい たのであ 77 にできたことになって 0 幻の もとも ところ 有島 ない 有島 1 との 9 ろうか? 武 か と注意 手 校歌 0 郎 歌 0 君 か 作 が は ŋ 歌 有は 7

> 校 4 11 歌 ます ません。不思議です のことは が、そ 0) どこにも全く出てきて 頃 の有島 の日 記 に は

私の 割 できるわ かとも思わ は 建 をはたしてくれているのでは 樹 せ かし今となってみれ 有島 氏校閲と頭について いじゃない けです。 にしてみれ れます。 よ」と言うことが ば、 歌詞の内容は、 免罪符の るこ 大和 ない 役 田

景、 全くあ す 的に生まれ 日 司 7 0) 本の 馬遼 雲』に描 11 私はここで大和田 たもの つまり日 国家全体の空気の中 りません。彼 太郎の畢生の 道唱 だと思い 出てきた作家だと思 かれているような時代背 清 歌 Ł • 日露戦 軍 のような作家は、 超大作 ま 歌 批判をする気は す。 も時 争 ーから必然 の時 代 坂の上 が 期の 求め 11 ま

界 け 草 とは全く違うとい ただそれ 期 てい の札幌農学校 なは、 、ると思 有島 41 いうだけ の雰囲 のよっ ま す。 て 立 で 気ともか なく、 つ 世

隆に「札幌農学校の学則は?」と問クラークは、開拓使長官の黒田清

大そのもの ぞ弥生』 でよい 俊英が れ わ 離れ 戸稲造 こういう雰囲 n てきます。 そしてそのもとで佐藤昌介 て、 綺羅 ま と述べ や数多くの 「\*Be Gentleman↓ いすが のと言って良いような ·内村鑑 星のごとく 有 気の たと伝 島 が 三·宮部 中で、 出 恵迪寮寮歌 て、 輩出 えら 時代は少 やが します。 金 n 0 吾ら 7 S で北 لح が 11 Ó 新 ま

N A 北 に 0 大和田 大• とに 内容は、この もなじまない う感じを私 とは異質 恵迪 かくそこには、 |氏校 寮と受け 0 閲 · 気が もの の校歌 は強く受け 連の が 継 流入し 流 ま が 札幌農学校 0 2番 れてきた す。 n ります。 てい • どう 3 番 Ď る

# 5年間の欧米歴訪

で経済 ま F, T ま帰 年 力 メ リカ留学3年間。 幌農学校卒業後、 歴訪 玉 ッジや [せず 歴史などを学び します。 ーバ  $\Xi$ ] 口 K, *7* \ 25 ヴァ ッパ諸 歳 ま 大学その ず。 で渡 フ オ そ 玉 他 0 ]

間 た。 後 恵 弾圧を受け、 の名門貴族 に 訪 とくにクロ 々ま でし まれた環境での、 なります。 ねて行って、その人柄にも感動し、 トキンなどの著書を耽読 とにか イプセ 0 で、大きな影 間 ポト く欧米歴訪 出 1 身 クロ ル 口 ンド の キンのところは直 ホ ス 無政 ポト イ 1 貴重 ット ンに亡命中でし 響を受けること イ (重な充電 いの 5 年間) 府 キンは 主義者 7 ツ ル ます。 ゲ 口 は、 シア 0) ] 期 接 口 ネ

る期 は 日 有島が欧米を I露 あって、 簡 で、 |戦争を含むその てい  $\exists$ 本国 たわけです。 冷静にさまざまなこと |歴訪 内の L 熱狂 前 7 後 11 菂 に た 空気の をまたが



寮監時代の有島

う

こなし

そ

77

た有島

は

帰 0)

玉

n

ま Z

す。

英語

に精

通

母

国  $\exists$ 

語

Ĺ

あ

# 母校の 教 師 恵迪 寮寮監

は、 欧米生活があった 7 時 風 か 倫 任 す ると、 あったようです。 東 ぜら 貌ですから当然です < 理学などを教えました。 いましたが有島は英語・ 明 北 有島は、 治 帝 ħ 活と教養、そし 気に教授に昇格 40 きし 玉 年 速 大学農科 1 た。 学生たちに圧倒的 母校 9 0 5 年 1幌農学 の英 7 大学と改 てあ します。 間 語 29 英文学 の端 翌 41 に 校 0 歳 わたる はそ で帰 称 とに 年に 3 麗な 人気 師 0

40 年、 創 れ なります。この前 として半年間 か に います。 ら、 は、 明 期 治 0 完全自治 『都ぞ弥生』ができま 学生 時 寮監 41 有島は、 期の 明 年 寮は 30 であ 治44年には寮監 有島 寮となり、 歳の時に、 文字通 恵迪 恵迪 つ **斯**年、 たわ  $\mathcal{O}$ 英文の 寮 寮 り恵迪 た合命 け す に ぞ 꽢 な 住 監は廃止されて明治 有 す。 す。 前治45 むことに 島 寮 記 は です 寮 が 0) 年 草

> いたのは4 ことは 見合 できます。 て大きかっ 生たちに与えた影響・ し み 任期は半年でしたが ŋ 後 て紹介し 自記 す。 短 0 10 0 期 • ^7 11 月 日 期間 間 す 10 から十分うか ま 結納で東京の実家 ~ 4ヶ月半て は H は その 実際 す。 有島 7 たろうということは、 ではあっても、 に 41 ほ 英文目 寮 年 と に恵迪 農場 な出 3 h 部を日 月 19 引るま が 窓に出 記 77 感化は どです。 です。 11 寮 そのうち夏休  $\Box$ で 恵 本語 知ること で生活し 向 で ぶに帰 有島 迪 0 11 たり、 寮監の きわ に 寮 日 41 し 訳 が 々 つ に 7 7 彼め寮か 7

引 きかれる 3 月 19 つ 越し 7 てきた日のこと 日のところに います。 は、 が 恵 < 迪 寮 わ に

静 「部屋は2階で、 かだった。 風通し良く、 清潔で、 明るく、 何 よりも 々とし

たち 2 馬 **橇**2台で運んできた が 5 運び上げてくれ かなり満足できる配 できたが が、 私 私若 0) はい荷 楽学物

は、 非常に礼儀正しく、 なに素晴らしいかと思 や野鳥の声 春 に二つ、 に を上げた。 ている様子だった」 になって緑や花で彩られ、 藻岩や手稲 めることが エル ,があふれだしたら、 どん 4 側 寮生は約 の森があ 12 の山なみがあった。 できた。 つあっ 規律ある生活を んり、 150名で、 17 窓は 思わず歓 かなたに ひばり で見 側

# 遠友夜学校の代表も

開 ります。 ていたことがわかります。 of Kaishikisha、となっているので、 が 識 きあり、 識社と称する meeting が開 社を開く。多くの寮生のスピーチ 月 28 恵迪寮では、基本的に毎月、 日記には"monthly meeting 私もスピーチをした」とあ 日の日記には、「夕食後、 かれ

に行きますと同調し 寮生たちに、私は明朝、藻岩山 翌3月29日のところには「昨 時に恵迪寮を出発。 32名の寮生が た。 。 午前3時に の寮生が一緒 記に登 夜

> なり ぎであった」 たさは 強か った。 気持ちよかったが、 寮生たちは大はしゃ 風 は か

した」とあります。 寮生を集めて、 夜、クリスチャンの寮生や関心ある さらに、翌3月30日のところには、 キリスト教の講話を

て、わずか10日間 寮生との接触があったわけ 恵迪寮に寮監として引っ越してき この間に、これだけ いです。

日

らも聴講 の講話には寮生だけでなく、 テーマでの講話や研究会です。有島 ら拾い上げていくと、次のような り、研究会を開いています。日記か まざまなテーマについて講話をした また有島は頻繁に にきていたようです。 寮生を集めてさ 外部か

で 時 イ』『社会主義思想』など。 シック建築)について』『なぜ悲劇は 『キリスト教について』『アメリカ ィングあり」と記されてあるので、 まで寮のスケッチクラブのミー また6月6日 まれるか』『イプセンとトルスト の生活』『ヨーロッパの建築 のところには 「夜 11

> と絵 忙しい合間を見ては、 を描いたりもしていたようで 寮生の[ 同 好

りません。 か管理というイ とにかく寮監とはいっても監督と メー ジはまったくあ

遠友夜学校の代表になってい 夜学校にも出かけ中心的 います。恵迪寮を出た翌年にはこの 1曜学校 また有島 また新渡戸稲造が創設した遠友 は 日 かけ 曜 日には て子供たちに 活 必 ず教会 ます。 をして

り実行に移しています。 管理による自炊制度システムをつく ネックでした。有島寮監時代 ましいと主張しています。ただ食 ようで、有島は自治寮にするの 会もでき、いろいろ検討され 恵迪寮の今後のあり方について委員 年後の明治44年ですが、この時 恵迪寮が完全自治寮となるの への移行の先行実験として寮生 の問題をどうするかが最 てい 大の が ば 3 期 事 望 た

などを常につきつめて考えてい かし一方で、 宗教や生き方の

幻覚症 0 有 (自殺) とか death しばしば出てきています。 疲労に悩 は 「状まで現れています。 L まされ、鬱の状態に ば L ば 極 (死)という言葉 度 0) 神 suicide Ö 陥り、

当 お りませんが、もちろん自殺を念頭に ですが、入手先の記述はありません。 ショッキングな記述も出てきます。 一時はまだ拳銃所持の法的規制はあ revolver とは 5月2日の日記には ての購入です。 this morning.、 とこ 連 . 発式 \*I bought 拳銃 のこと . う ಬ

# 白樺派結成に尽力

す。 熱く 思 0) 慕って恵迪 [樺派旗· 下に滞力 ゎ ことは、 n これは翌年の武者小路実篤らの 文学を語り合ってい 迪 ま |寮監時代のその他 す。 上げの伏線となったものと 在 Ĺ 寮を訪れ、 武 者小 連日連夜、 ,路実篤 12日間も 0) ることで が 深夜 注 有 目 くまで 島 有島 す な

ず10日間ほど有島農場へ行きます。 夏休み期間中は恵迪寮を離れ、ま

を1軒 す。 の末裔』 貧 た。 かば 的名声を不動 この時の見聞 常に恥ずか れました。 く憂鬱である」と述べてい 父 17 夏休みを利用し たまっている仕事を ます。 Ū は つ この時 武郎は と関 い生活をまの 命令するように迫ってい 何 残らず訪ねて廻 度 に生かされて 心を持ち、 ŧ 。 そして、 有島は70戸 「この仕 Ĺ 手 が、 のものにした『カイン W てしぶしぶ農場を訪 罪 で あたりにして、 のちに有島 悪感に襲 農場の 事は、 処理 現地 0 4 つ せ 7 るのだと思 小作人の家  $\wedge$ 行 いま ますが、 0) ょ 人たちの おそろし の文壇 わ ح とな す。 れま まし て、 と 非

に帰り、 子との見合 か そのあ 5 恵迪 との 寮 男爵神尾光臣の に戻ります。 いをし、 1 ケ 月余 結納も は 娘の神尾安 東 済 京 ませて 0 実家

夜恵 条東3丁 10 月 10 迪 寮 では 日寮監 Ħ に引っ 送別会が の任を解 越し 開 ま かか ñ n 北 3 その

ら学習院から東大へ進んだ連中の間このころ東京では、武者小路実篤

樺派の この この白 ま n る一大勢力となります。有島武郎も、 す。 まし 同 同 旗上げ 一人に加 た。 樺派の作家として活躍し始め 人文芸 有島 わり 雑 武 誌 ります。 郎 大正文壇を代表す 白 生馬 樺 ۲۷ わ 0 が かゆる白 兄弟も 創 刊

教職員 た。 成 20 会という美術団体を作りま は北大の代表的美術団 有島 年 • は絵にも優れ には創立百周年を迎えまし 学生 0 同好者と共 た才能 体となり、 ょす。 を示 に黒百合 これ 平

少年は、 小品にくぎづけ 金次郎が会場に見に に、 いきます。 この 絵の好きな 黒百合会の第3回 有島 の夕暮れ になり吸 ひとりの 来 てい 0 1) 中 展 海 を描い 覧会の ました。 込 学生木田 きれ た

す。 を決して、自分の にたくさん包ん その後間もなく、 これ です。 が有島 で、 کے 描いた絵を風 画 国家木田 木 有島邸を訪  $\dot{\mathbb{H}}$ 小 年 金次郎と は、 名 呂 ね ま 敷

有島の『生まれ出づる悩み』は

Z 5 0) はじまる作品です。 木 田 少年 が 訪 ねて来たところ

か

は、

現

在

札幌芸術

0

森に

「有島 ま

武宅

郎

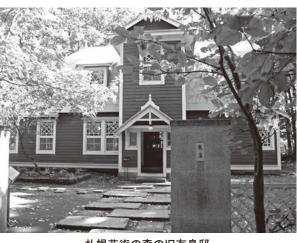
旧

邸

# 視で新 婚生

安子は相次い と結婚します。札幌での生活の中で、 森雅之です。 年子です。 歳 で有島は華族出身の神尾安子 で3人の男児を産みま その長男が後の俳 優

邸宅を新築し引っ越 その間、 札幌市北 します。 10 条西3 この 丁目 邸 に



札幌芸術の森の旧有島邸

供

つ

た妻や、残された3人の幼な子

綴

った、

涙を誘う作品です。

を 11

いとおし

む切々たる想い

を書き

東京に た。 び北大に戻ることはあ 有島も大学を休職し 家は札幌から東京に か です。 かります。 結局1年間しか住まなか かし安子は、 せっかく新築した立派 移ります。 」として保存されて その治療のために、 36 歳 間もなく肺結核に して、い 引っ越します。 の時 りませんでし です。 つ な邸宅に ~ったわ しょに 再

# 妻安子と父の死

子は5. 子を残して他界します。 たちのことを想い 有島の名作『小さき者 か し2年後、 4歳・3歳です。 安子は3人の幼な なが 。 3 人 5 は、 死 の んで 幼な 子

には母と子の像 幌の大通西9丁目に が建てられ の末尾の 0 レリーフと てい 文が彫られてい ます。 「有島武郎 そこ

> ま 交が ふす。 実篤の手によるものです。 あ ŋ 5 同 n じ白樺派 7 17 る文字は、 だっ た武者小 有島

島38歳の時です。 黒柱だった父武も亡くなります。 妻安子の 死と同じ 年、 有島 家の 大 有

年間 が関 後から急速に変わりつつありま 『ドモ又の死』『星座』などなど。 『親子』『クララの出家』『 島の主要作品はほとんどこのあと インの末裔』。『生まれ出づる悩み』 『惜しみなく愛は この年 しかし、時代は第1次世界大戦前 を切ったように始まります。 大正デモクラシーの 書か ・さまざまな社会問題などな 米騒動 -から有島の んれてい 労働運 奪う』『宣言一つ』 ます。『或る女』『カ 0) 本格的 一房の葡 通潮 動 作 社会主 • П 家生 数有 活

者としての自己 ち始めます。 てきた自らの思想と自ら そんな中で、 にあって、 の立場 有島 泥沼 クロ ポ は !のような葛藤 1 に 恵 強 丰 ま シに心 n 生活 疑問 た有 酔 を

落 ち込んで 41 きます。

恐ろしい行き詰まりです。 から、ぴたっと止まってしまいます。 発表し続けてきたのに、死の数年前 ほとばしり出る泉のごとく作品を

# 有島農場解放と心中自殺

つまり有

島 放棄してしまいます。 れて作り上げた有島農場を、 のことを思い、 を解放してしまいます。父が、 有島は、 0) 1922年(大正11年)、 死の前り この間の事情を『小作人 多額の財産を注ぎい 彼はついに有島農場 無償で 武郎

別荘で、

波多野秋子とともに心中自

て家を出ます。

その翌日、

軽井沢の

あるべきはずのものです。 います。 土地は私有すべきものではないと思 7 が に私有財産が存在するということ の中で「私自身にとって、親子の間 の著作で詳細に述べていますが、 の告別』や『農場解放顚末』など っして私が収めるはずのものでは 4 ました。私は、どう考えても、 てのこの農場 常に一つの圧迫として私に働い それ は公有もしくは共有で からの収益 私有財産 止は、 そ

> と述べています。 入れて、どうか仲よくやって欲しい」 な 67 小作 はあなた方自身の

す。 立派な有島記念館が建てられてい 文学上の行き詰まりと内心 今日、かっての有島農場の地に の葛藤 は ŧ

る日、 てきます。 者、運命の女、波多野秋子が忍び寄っ に苦しむ心の隙間に、 1 9 2 3 年 有島は風呂敷包み一 (大正 12 美貌 年 つを持っ 6 の婦人記 月の

島自殺の数ヵ月後には、 『白樺』も廃刊になります。 大正文壇を代表する存在だった雑誌 子30歳でした。 殺します。有島武郎45歳、 有島自殺と同じ年の 1923年、 関東大震災 そして有 波多野秋

で東京は廃墟となります。 聴ありがとうございます。

# 平成22年 度東日本支部 開 識 社 講 演 会

(平成22年10月23日・高崎ワシントンホテルプラザ)

# |界に誇るシルク文化発祥の地 岡製糸場を世界遺

講師・ 近

富岡製糸場絹産業遺産群伝道師協会長 (S40年北大教育学部卒)

のような講演会を各地で開催 に組織したのがこの協会です。 伝道師養成講座を開催 てようと、県が富岡製糸場世界遺産 に対する広報活動ができる人材を育 進めていくときに、 岡製糸場を中心に世界遺産 は 第1回の受講生が運動推進のため る意義や価 進室が設置され、 こついて理解し、世界遺産に登録の人々が富岡製糸場と絹産業遺産 平成 岡製糸場世界遺産伝道師協会と 16 値 群馬県庁に世 に つい 県内外の 群馬県と て知っていた しました。 での登 界遺産 人たち して富 益録を 本日 多

> 初 的 な 活 成19年1月、 に記載されてから後は、 大変厳しいものでした。 のように煌びやかで壮大なもの 頭を始め なりました。 跡 い」「世界遺産とはベルサイユ宮殿 は 聞 地が世界遺産などに 好意的に聞 てくださる方の 8 て7年になりますが 世界遺産 いていただけるよう の暫定リスト の反応も なるはずが 非常に協力 しかし、 آ ح

# 唯 明治の官営工場 一、完全な姿で現存する

を進めるために、 富岡製糸場は、 に官営工場として、 政府が日本 明治5年 ①養蚕が 0  $\widehat{\frac{1}{8}}$ 近

を広げていくことが主な活動です。

登録推進の協

| 力者の輪

化

建設用 で建物などが現存する日本で唯 営工場が当時 た現在地に日本人の手で初めて作ら られた……などの立 くから採掘できた⑤地 気エンジンを動 工場用水が引き込み 盛 れた官営器械製糸場です。 h で 地 原 とし 料 繭 って広い のまま、 が かす 空き地 ため やす 地 に 条件に ほぼ完全な姿 元 供 の協 か 0) 石炭 明治の官 った④蒸 できる② 恵まれるが得 である<br />
③ がが近



講演する近藤功氏

7 T. ま 玉 0 史 跡 重 要 文 化 財 に な つ

者 だ 8 ため 0 を け 育 の 工 伝 で 道 の模 成 所 L 範 でも 地 は 方 Ï. ありま 0) 場 玉 械 に 指 で で あ 生 導 んり、 者を育 製糸 を 生 てる 糸技 を 産 広 L めた 術

ち従来  $\mathcal{Z}$ 品 ま か属 ち ま 0) L 広 帰 した。 器 し 0 て地方に が 全 機械 て木造の た。 技術 は のた 向 組合製糸 0) つ 楲 つ 玉 • てい 座 た図 製 糸 Ŀ 世 め 初 0 器械 繰り と品 を手 全国 界 が 糸 が 役 田 < 向場 世 0) 面 O戻 製糸が全国 の普及の原料のでである。 工場や 本に目 質管 社 製糸をし [を基 から 器械製糸場 我 界 械 上 を通 (南 したエク 12 製 が 輸 い見学者が 輸出と記 を組 出 に 玉 社、 器 本 煉 玉 て工女を募 持 努め てい 組 織 械 人 瓦 動 果 女 に z に広 を普及 へを、 0 ち込 合製 碓 たし、 な Ų 0 が 力 0) の工場や金 た農 派社 Í 訪 に 指 ま n まると、 導者と ま ま 明糸 L n へさせ た。 糸 な 玉 0) • 民 国 2 甘た 持 ŋ 丙 に集  $\mathcal{O}$ 

> で多く 業遺 界 界 ま 器 ようとし 11 17 形でま を動 で ま 的 に 械 ず。 輸出 産 に 群 残され か る産 展 は 糸 とめ 群馬 7 その L z 0 とし た近 業 41 n 技 7 てい 遺 技 ま 県 術 ,「富! て世 世 す 代製糸業 産 に 在 は まがは 界 で が 玉 ふす。 界遺 岡製 た は 0 全 この 41 生 そ で 会糸場と絹み 定産 そこで、 系 0  $\wedge$  $\mathcal{O}$ 動 進 の遺産を良べんいい形の生糸、絹 に登録 宗を支え 技 操 化 術 糸 し が機 産 7 世

た。 で世 9 帳 L 崩の れ世 人 な 国 世界遺産条件 7 類 ح 界 文化 潰 壊 な な 1 11 1 産 71 かい に Ł 11 か L で ら守 大切 とっ 7 Ł ら見 遺 こうと1 0) す。 はそ の、 産 世 ₺ な文化 界 7 たらあ ŋ あ に 遺 た文化 地 りま 県とし は、日 n 9 7 球 程 産 0 取 類 す。 が 1 づ 財 上 0 まり大切 本では 登 2 や自 価 っては 遺 に 0 11 ŋ 0 车 決 宝 そ 年 7 あ 値 産 世 る ح 然 z 7 P 8 n を 重 を破 とは思い 自 界 Ū 認 れ 月 5 5 要でも、 か ユ 切 ネ て保存 7 現 遺 n け 0) 8 **域**壊、 5 スコ がえで まし 在が産 61 n 世 わ

と世 日が 0 で  $\Box$ n  $\exists$ 極端 界遺 その るこ 本 は 本 進  $\dot{O}$ 0 後 と 20 に 玉 産 # < は 世 心少なく 界 条 0 か 出 価 界 うの 中 約 年遺 発 遺 値 では 0 産 が 産  $\mathcal{O}$ なっ 登 仲 1 条遅 あ は 世 録 間 9 約 n る 14 7 です 9 2 界 入 批 た ₹) کے 遺 'n た 小 11 准 0 を ま 産 か は す。 5 世 で 0 L に 少 11 登 ま 昇に す。 P 録 世 つ

遅

0 が

界

すいでのい。産はだる な遺産 ように するも と れと では だろうと 工 はだ 18 け うも 産 つ ジ ま 61 ます。 業遺 て大 プト う 金 本人 そ 意識 煌 の、 閣 で で 0)  $\mathcal{O}$ 世 で 切 寺 な 1 産 紀 は L V 41 0) 0) う意識 感覚 É を B 号 か あ は な かが 日 0) 41 非常 と世 ような古 光 ラミッド た 5 ŋ な Ł L か くさん では、 イ 19 ま 61 0) な 0 界遺 東照 し ギ 世 せ は 基本 に Ł が 強 ij ん。 古 紀 あ 0 万里 ス 登 に け 的 1/7 が 宮 ŋ 産 0 11 É ょ よう 録 作  $\exists$ び 世 B H に 0 n に 一本を代 になら うに 姫路: アイ ] P ば は 界 す 0 遺 ĺZ 長 7 人 n 口 か 11 城 い類とに 思産だ 日な壮城本と ツ 41 城 の表

瓦造り 糸場と 製塩 提供、 す。 計 は から20世 す ランスは産業施設を中心 するフェル ·ます。 ラの まっ たスウェ リッジ 画 0) 発祥地 ۴ 一業遺産とし 森の国 所を世 的 0 0 活はこの遺産の 製材 のそれほど大きくない に発展させたとして、 嚆矢としてアルケスナン王立 たという誇り の生産国として世界をリード 同じ1872年に作ら て世界を動か イツでは 世界遺 「エンゲル 紀初頭に製材 で クリンゲン製鉄 ] で近 す。 • 1界遺産に登録 板紙工場」 フィンランド デンの基幹産業を支え 産登 代以 イ 20世 て世界遺産です。 ギ スバリの を あ i 紀 ij に込め 業 てきたと自 の世界に るところ ス 0 を登録 にした都市 製糸業を は L に 19 所を、 の小さな 製鉄 富岡製 7 7 ゙゙゙゙゙゙ヷ゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚ n 産 0 た煉 世 鉄を から 17 便 紀 ま 負 利

# 平泉 中尊寺」 小 笠原諸島」 に

Z n いらの 産業遺産に比べても、 富

> 世 ょ とっても重要な産業遺産です。 続 岡 いました。 クのストッキングが普及することで 製糸場 界の け、 であ うに に ヨーロ になって なっ ファッ 絹の Ď, ツ は パ 日本にとっても、世界に から 大衆化をも た 明 経 日 0) ションまで変えてしま 済 技術 大国 42 本 年に 世界 0 [とまで言 が 世界 たら 0 日本に上 生糸を作り 0) 0 わ シル 輸 出 n 陸 発

> > 0

さらに な蚕 明治初年、 代的な養蚕 を創 Ļ ば 家 7 日 が ることで孵化 しようとしている遺産は、 れる子屋根をつけた大規模建 で 本の技術がまるごと生きて稼働し なされ、 4 種生産 ・ます。 蚕種 そこで、 建した田 テンソー、 0 0) 金盛 販 海 絹産業遺産群として登録 現代の世界の 餇 の技術革 的 を渡 島 売を実現 極めて重要な技術変革 の時期をずらし、 11 ?な蚕? 弥平 方 んにするため 0 ŋ 十新を成れ Ź 家。 |種を冷温| 気抜きなどと呼 清 ・タリ しています。 製糸技術は 田 島 大養蚕農 ア・ミラ 遂 家は近 に良質 (築)

> 結社 あっ に登 共に れば、 洋美術館 段階で足踏 遺産登録 ると思わ での技術 され り母屋造りの富沢家住宅 を作 温 育 に 複 育 方法を経験と理論 風 「富士山」「 江戸 ており、 そし 世界遺産委員会の関門 たことを示す歴史的 : り 出 録されることになると思 とい 高 回 次は「富岡製糸場と絹 、時代に建造された茅葺き入 は や小笠原諸 革 て伝統的な養蚕業が Щ n 0) し ます。 う飼育法 新を考えられ 養 み 社」跡。 平泉」 た中之条町 蚕種、 していますが に 蚕 鎌倉」などが 弱く を 現在、 から生糸の 口 が世界 さら を開 島 から 餇 能 の自 育 に 赤 るも 発 改 などで構成 日 が l 養 岩 I然遺産 豊 世界遺産 を通 委員 本 良 た 産業群」 り製造ま の農家 蚕 盛 富な繭 た養蚕 荒 国立 0 0 農家 過 ĸ 世 h 17 な で 0

く 7 行きま、 お 世 界遺 願いします。 すの 産登録運 でご支援の !動は今後とも続 よろし

す。

## 2011 年恵迪寮同窓会西日本大会のご案内

# やっぱり京都で大寮歌祭!

同窓会の皆さん、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また熱い季節が巡ってまいりました。今年の大寮歌祭を成功させ、来年の「都ぞ弥生」百年 記念祭につなげましょう。諸兄の多数参加をお待ちします。

2011年6月 恵迪寮同窓会西日本支部長 窪田開拓

さて本年9月17日初秋、西日本支部は、悠久の古都・京都の地に同窓会の皆さんをお迎えし、『恵迪精神』の再現をはかる所存であり、ここに早々と大会アピールを宣言するものであります。

その1 「都ぞ弥生」百年記念祭に繋がる寮歌祭としよう

その2 社会に目を向け今こそ開識社を推し進めよう

その3 恵迪寮同窓生をもっと同窓会に迎えよう

その4 年代ごとの地域幹事を指名し、地域ごとの交流を推し進めよう

## 【ご案内】

日時: 2011 年 9 月 17 日仕) 15:00~19:30

場所:京都第2タワーホテル 京都市下京区東洞院通七条下ル JR 京都駅前東

Tel: 075-361-3261 http://www.kyoto-tower.co.jp/daini tower hotel

会費:本人 8,000円(祇園舞妓の費用を含む)

同伴(女性及び中学生以上) 4,000円 同伴(小学生以下) 無料

※ 平成23年度同窓会費3,000円未納の方は、あわせてお支払をお願いします。

その他支援金・カンパなど申し受けます。

**宿泊**:宿泊は各自で手配お願いします。なお、京都第2タワーホテルをご希望の方には、割引 価格シングル7,000円、ツイン12,000円で確保しています。各自申し込みの先着順です。

お問合せ:西日本支部幹事長 伊藤 靖久 (携帯:090-3613-3641)



JR 京都駅の東北東 徒歩すぐ

## 【式 次 第】

### 第1部 開識社及び総会 (松竹の間)

14:00 受付開始(京都第2タワーホテルロビーにて)

15:00~15:50 講演『校歌「永遠の幸」のルーツをたどって』

講演者:野呂雅之(S 51 年入寮:朝日新聞論説委員)

16:00~16:30 西日本支部総会

(16:30~17:00 休憩)

第2部 大寮歌祭 (若竹の間・松竹の間)

17:00~19:30 寮歌放吟 及び 懇親 (舞妓演舞あり)

## 【参加申込】

下記のいずれかの方法でお申込みください(8月20日締切)

①郵便:申込書にご記入の上、葉書に貼るか又は封書で郵送下さい(当日消印有効)

〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-200 大阪駅前第 2 ビル 北大会館内

恵迪寮同窓会西日本支部宛

② FAX:申込書にご記入の上、下記まで FAX 下さい。

06-6343-3736 恵迪寮同窓会西日本支部宛

③ E-mail: 申込書内の必要事項を下記までメール下さい。

iwai2@cubemagic.co.jp 西日本支部事務局長 岩井宛

※ なお、当日キャンセルは会計に支障をきたしますので、後日、会費を請求させていただき ます。

### 恵迪寮同窓会西日本大会「2011/9/17仕) 京都」申込書(8月20日締切)

住所	※欠席の場合も全	てお書きくだ	[さい	
氏名		入寮年	(所属サークル)	
学科		卒年		
TEL		FAX		

### メールアドレス(できるだけご記入下さい)

氏 名	性別	年齢	西日本大会
(本人)			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席



# 恵迪寮同窓会通信



電話兼Fax(oll)530--|-86

vol. 27

# 恵迪寮同窓会第12期平成23年度理事会報告

援に対する謝意が述べられました。恵迪寮同窓会としても 副会長ご本人から、生々しい復旧の報告と同窓会からの支 は西日本支部から東海地区恵迪会結成の報告があり、 成功に向けての意志統一がなされました。組織強化の面で 員を含む26名の役員・理事 いての活発な討論に基づき企画案の骨子を決定し、来年の ました。会議には、 に |同窓会らしい復興支援」を考え実行することを確認しまし おいて恵迪 平成23年4月23日出17 主要議案である「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭に ○○恵迪会」展開の力強い一歩となりました。 「東日本大地震」で被災された東日本支部長の山中 寮同窓会第12 西日本支部3名、 . . ・幹事が参加されました。 期平成23年度理事会が開催 00 21 ... 00 東日本支部2名の役 札幌パークホ また、 ざれ テル

記念事業と記念祭の成功を誓いました。皆で喜びました。最後に、「都ぞ弥生」を斉唱して、来年の中心に今後の抱負などをお話しいただき、少しの若返りを懇親会におきましては、新しく幹事をお願いした方々を

# 【恵迪寮同窓会役員(平成23年4月現在)】

○名誉会長 中瀬篤信(S26前会長)

○会 長 横山清(S31)

○副 会 長 髙井宗宏(S31会長代行)、厚谷純吉(S31北海

○会計監査(佐藤市雄(SЗ)、西雪弘光(S仏)(会計監査)、窪田開拓(S32西日本支部長)

47)、荒木隆夫(S49)、竹下忠彦(S53)【西日(S39)、坂倉雅夫(S44委任状)、佐藤文雄(S田浄二(S41委任状)【東日本支部】関口光雄魚山和春(S39委任状)、千川浩治(S40)、山

入江和彦(S41)、岩井隆郎(S51)、植松高志本支部】間中俊夫(S33)、伊藤靖久(S38)、

○代表幹事 白浜憲一(S40広報)

S 44

留代表幹事 新井三郎(S33事業)、氏平増之(S38名簿)、

○常任幹事 大隈昭二(S40編集長)、藤田正一(S38文常)、

# 事 務 局 佐藤静子(アークス) 出席26名、 委任状 4

# 号議案】 第11期平成22年度事業· 決算報告

# 第11期平成22年度事業報告

- (1)会議の 開催
- 第 11 期平成22年度理事会:平成22年4月24日 (土)
- 本部役員会:8 28 10 **2**3 札幌パークホテル / 26

3

の結成 「○○都•府•県恵迪会」又は「○○ブロック恵迪会」

2

ii

- i 加 東海地区恵迪会結成 10 / 3 (共) 名古屋、 36名参
- ii 組織強化費⇒平成22年度は北海道支部、 西日本支
- 3 舎展示改装 恵迪寮同窓会創立25周年記 念事業= 開拓 0 村恵迪寮
- i 寮歌パネル追 加 (H<sub>20</sub>年 ま で、 9 <sup>25</sup> お披 露目
- ii 映 像再生装置取 替え継続 中
- 会誌 「恵迪」第10号発行

4

- 6月下旬発行、 員配布1700部、 在庫10 0部 B5判8頁、発行部数2200 寄贈200部、 支部配布  $\frac{1}{0}$ 部 0
- 発行経費 1 1 0 4 89 6 円
- 広告掲載収入は446、 0 0 0 円
- (5) 同窓名簿
- i 名簿クリーニングと変更訂正のル ーチン作業

- (6) ii 会員拡大及び組 X ĺ ル アドレ ス収集 織強
- i パークホテル、 平成22年恵迪寮同窓会北海道大会 100名 9 25 札幌
- ii 11/24、時計台ホール、 平成22年恵迪寮同窓会 100名 第 11 口 「開識: 社 講 演会
- iii 90 名 平成23年新年寮歌歌始めの会(1/29、 氷雪 一の 門
- 7 5円(予算対比約+ 恵迪グッズ販売 40万円、 平成22年度総売上 決算書 8 0 0

1 7

8 全国3支部の活動 (第6号議案)

# 2. 11 期平成 22年度決算報告と監査報告

- 1 平成22年度決算⇒「会計報告書」
- 2 平成22年度決算監査報告

	平成 22 年度会費の納入内訳							付	金	亚母91年度
支部 名	年	度会費	終	身会費	計		算	定	額	平成21年度
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		50%		文部父刊金
北海道	74	220,000			74	220,000		110,	000	110,000
東日本	104	342,000			104	342,000		171,	000	171,000
西日本	37	125,000			37	125,000		63,	000	100,000
その他	3	9,000			3	9,000				
計	218	218 696,000				696,000		344,	000	381,000
北海道 東日本 西日本 その他	人数 74 104 37 3	金額 220,000 342,000 125,000 9,000			74 104 37	金額 220,000 342,000 125,000 9,000		50% 110, 171, 63,	000	171,0

# 【第3号議案】第12期平成23年度事業計画と予算案

# 24年3月31日)- 第12期平成23年度事業計画(平成23年4月1日~平成

- 出、札幌パークホテル 第12期平成23年度理事会開催:平成23年4月23日
- ② 役員会開催:随時
- ③ 各担当部会開催:随時
- の結成
   「○○都•府•県恵迪会」又は「○○ブロック恵迪会」
- 「恵迪会」を立ち上げる。東日本・西日本支部の全国の都府県又はブロックに東日本・西日本支部の全国の都府県又はブロックに、
- ii 組織強化費として、特別予算を組む。

- i 進捗状況…印刷・製本は㈱アイワードに発注、
- 7月中旬。 7月中旬。 7月中旬。 日→最終校了 6月25日→印刷 7月初旬→発行ⅱ 発送までのスケジュール…原稿締め切り 4月31
- [第二章 会員]第5条 う 会員拡大及び組織強化

^ 本会の会員は次の通りとの新設と名称……規約改正

する。

7

- 1. 玉 恵迪寮の寮生経験者で、所定の会費を払った者。 大学農科大学・北海道帝国大学・北海道大学の (正会員)札幌農学校寄宿舎生、 ならび に 東北
- 2 理事2名以上の推薦があり、 (特別会員)本会の趣旨 に賛同し、 理事会の承認を受け 会長もしくは
- 3 認を受けた者。 会員以外の北海道大学出身者で、 (○○会員)本会の趣旨に賛同する正会員、 役員幹事会の承 特別
- Î ず1項正会員の範囲を修正加筆することで対応す この件についての討議の結果、 新規名称を設 け
- ii 現役寮生を同窓会員にする件
- Î 現恵迪寮に申し入れをする。

8

同窓名簿」

について

- i 現恵迪寮にH23年卒寮生の氏名と学部学科記載
- iii ii 部学科のリスト収集、 H 10 名簿クリーニングと変更訂正の 各年度前期後期執行委員長と委員数名の氏名と学 5 Η 18 入寮生の名簿収 年度別リストを増やしていく ル ーチン作業
- 9 HPメンテナンス
- これまでのメンテナンス
- ドメイン維持費用とサー …今村広報幹事  $\frac{2}{8}$ 1 1 5 円 維持費用  $\widehat{H}$  $\bar{20}$ 5
- HPメンテナンス

ς Η 事  $\overline{21}$ 今村幹 事 0  $\widehat{1}_{2}$ 円 0 0 0 円 Η

22

(年間50、 0

今年度からのメンテナンス

ii

- 払 ドメイン維持費用とサーバー維持費用…事務局支
- Η Pメンテナン
- Î 会の財政事情に見合ったメンテナンスを検討する。
- (10) 文化活動常任委員会
- i 現寮生対象の「開識社
- ii 北大生、 一般市民対象の 「開識社」
- (11)恵迪グッズ販売
- 〈平成22年度実績〉 平成23年度総売上目標 8 Ŏ, 6 0 1 7 5 0 0 0 0

円

- 同窓会本部扱い 11 4 4 0 3 2 5 円 3 6 0 5 0 0 円 3支部扱
- (12) 北大と粘り強く交渉する。 恵迪寮同窓会文化財展示寄贈 髙井副会長を中心
- $\overline{(13)}$ 催の「第12回開識社」に恵迪寮生の参加を促進する。 などにおいて支援・交流を図る。また、北海道支部主 北海道支部との連携により、「観桜会」、「恵迪 現恵迪寮生支援・交流 の活性化
- 2. 第 12 期平成 23年度予算案

(14)

「都ぞ弥生」

百年記念事業と記念祭

(第4号議案

1 第12期平成23年度予算案

### 平成 22 年度収支決算書

(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(予算) (決算) (増減)

収入合計 4,689,000 3,177,830 -1,511,170 支出合計 4,689,000 3,078,324 -1,610,676 収支差額 0 99,506 99,506

〈収入の部〉 (単位 円)

						(十四 11)
科	I	予 算 (A)	決 算 (B)	増 減 C=B-A	備	考
1. 会費収入						
年 度 会 費	望以入	600,000	696,000	96,000	218名	
運営支援	資 金	500,000	406,000	-94,000	190名	
終身会費	望以入					
カンパ	収 入	250,000	293,690	43,690	147名 含酒歌 CD 代	
小	計	1,350,000	1,395,690	45,690		
2. 事業収入						
恵迪グッズ則	克売収入	400,000	803,675	403,675		
「恵 迪」販 ラ	臣収入	0	10,000	10,000		
広 告	仅 入	300,000	446,000	146,000		
雑 収	入	0	517,413	517,413	繁富家 50 万円	
小	計	700,000	1,777,088	1,077,088		
3. 利息収入		8,000	5,052	-2,948		
4. 前期繰越金		0	0	0		
5. 基本金取崩収	入	2,631,000	0	-2,631,000		
収入合計(B)		4,689,000	3,177,830	-1,511,170		

### 〈支出の部〉

	彩	ł		I		予 (4	算 A)	決 (	算 (B)	増 C=	減 B-A	備	考
1.	運営	費											
	事	務	,	局	費	2	40,000	2	40,000		0		
	総		会		費	20	00,000		0	-	200,000		
	会		議		費	40	00,000	6	15,931		215,931		
	通		信		費	20	00,000	1	71,012	-	28,988		
	印		刷		費		50,000		0	-	50,000		
	組	織	強	化	費	20	00,000		50,000	_	150,000		
	雑				費	10	00,000	4	07,670		307,670		
	/]	\		Ē	H	1,39	90,000	1,4	84,613		94,613		
2.	事業	費											
	恵	迪発	行	関 係	費	1,20	00,000	1,1	04,896	-	95,104		
	同名	会認	名簿	発行	] 費	:	50,000		0	_	50,000		
	現	寮	関	係	費		50,000		68,940		18,940		
	支	部	交	付	金	34	49,000	3	49,000		0		
	恵記	迪グ	ッズ	制作	手費		0		12,600		12,600		
	記	念	事	業	費	1,6	50,000		58,275	-1,	591,725		
	/]	\		Ē	H	3,29	99,000	1,5	93,711	-1,	705,289		
3.	予備	費											
支出	台計	(D)				4,68	89,000	3,0	78,324	-1,	610,676		

### 都ぞ弥生 100 年記念事業収支決算書

(平成23年1月1日~平成23年3月31日)

(予 算) (執 行) (執行率) 2,152,013

収入合計2,152,013支出合計569,120収支差額1,582,893

〈収入の部〉 (単位 円)

科目	予 算 (A)	執 行 (B)	対 C=B-A	備考
協賛金収入		0	0	名
名札分譲収入		152,000	152,000	27 名
広 告 収 入		0	0	件
CD等販売収入		0	0	件
利 息 収 入		13	13	
雑 収 入		0	0	
基本金活用収入		2,000,000	2,000,000	
収入合計(B)	0	2,152,013	2,152,013	

### 〈支出の部〉

科	目	予 算 (A)	執 行 (B)	対 C = B - A	備	考
1. 運営費						
会 i	養費		35,000	35,000		
印易	削 費		0	0		
通 信 3	き 通 費		0	0		
雑	費		720	720	振込手数料外	
小	計	0	35,720	35,720		
2. 記念事業費						
名 札 集	似 作 費		0	0		
記念 C I	)製作費		533,400	533,400		
記念DV	D製作費		0	0		
記 念 誌	製作費		0	0		
記念相	植 樹 費		0	0		
エルムの	鐘復元費		0	0		
記念記	觜 演 会		0	0		
小	計	0	533,400	533,400		
3. 予備費			0	0		
4. 基金繰入支	出金		0	0		
支出合計(D)		0	569,120	569,120		

### 〈貸借対照表〉

	資 産 の 音	K	負債・資本の部	R
科		金 額	科目	金 額
現 金		1,617	基本金	8,703,274
振替貯金	水車町郵便局	1,139,059	恵迪発行基金	3,000,000
普通預金	北海道銀行本店	3,585,402	22 年度繰越金	99,506
百週贝並	三菱信託銀行	3,143,329	都ぞ弥生会計繰越金	1,582,893
M M F	野村證券	4,084,653		
都ぞ弥生会計 都ぞ弥生記念事業口座		1,431,613		
	計	13,385,673	計	13,385,673

### 平成 23 年度収支予算書

(平成23年4月1日~平成24年3月31日) 収入合計 3,461,000 支出合計 3,461,000

文 出 台 計 3,461,000 次年度繰越額 0

〈収入の部〉 (単位 円)

						(十四 13)
	科	I	22 年度予算 (A)	23 年度予算 (B)	対 22 年度対比 C=B-A	備考
1.	会費収入					
	年 度 会	⋛ 費 収 入	600,000	660,000	60,000	220 名×3,000 円
	運営支	泛援 資 金	500,000	400,000	-100,000	200 名×2,000 円
	終身会	⋛ 費 収 入	0	0	0	
	カン	パ収入	250,000	250,000	0	
	小	計	1,350,000	1,310,000	-40,000	
2.	事業収入					
	恵迪グッ	ズ販売収入	400,000	600,000	200,000	事業計画 (売上1,500 千円×40%)
	「恵 迪」	販売収入	0	0	0	
	広 告	収 入	300,000	300,000	0	
	雑	収 入	0	0	0	
	小	計	700,000	900,000	200,000	
3.	利息収入		8,000	5,000	-3,000	
4.	前期繰越	金 金	0	99,207	99,207	
5.	基本金取	崩収入	2,631,000	1,146,793	-1,484,207	
収入	入合計(B)		4,689,000	3,461,000	-1,228,000	

### 〈支出の部〉

	稻	7		目		22 年度予算 (A)	23 年度予算 (B)	対 22 年度対比 C=B-A	備	考
1.	運営	营								
	事	務	,	局	費	240,000	240,000	0	書類保管料外	
	総		会		費	200,000	0	-200,000	総会資料・会場費等	
	会		議		費	400,000	400,000	0	理事会・幹事会等経費	
	通		信		費	200,000	290,000	90,000	電話代、送料、HP・ML(	呆守
	印		刷		費	50,000	50,000	0		
	組	織	強	化	費	200,000	200,000	0	県・ブロック恵迪会	
	雑				費	100,000	100,000	0		
	月	`		1	+	1,390,000	1,280,000	-110,000		
2.	事業	養								
	恵	迪発	行	関 係	費	1,200,000	1,200,000	0		
	同名	会念	名簿	発行	責	50,000	50,000	0	発行等打合せ	
	現	寮	関	係	費	50,000	50,000	0		
	支	部	交	付	金	349,000	381,000	32,000		
	恵;	迪グ	ッズ	制作	費	0	0	0		
	記	念	事	業	費	1,650,000	500,000	-1,150,000	開拓の村展示等 500 千円	
	/]	\		Ē	+	3,299,000	2,181,000	-1,118,000		
3.	予備	責				0	0	0		
支出	台計	(D)				4,689,000	3,461,000	-1,228,000		

# 、第4号議案】「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭

# 1.「都ぞ弥生」 百年記念事業と記念祭

# 記念事業

外国語版を制作し「都ぞ弥生」の国際化を促進する。 a 「都ぞ弥生」を全北大生が歌えるようにし、また、 入学生にプレゼント) [都ぞ弥生]百年記念CD制作 「都ぞ弥生」普及版(2011年及び2012年

OB合唱隊CD録音収録 恵迪OB合唱隊合同練習 1 / 29 恵迪

2 / 28 4 / 8 委員会+応援団+恵迪寮同窓会の交流会 3/3 CD2600枚北大広報課納品 北大入学式で配布 CD3000枚納品 4 / 14 3 / 1 恵迪寮執行 熨斗紙貼

b ハングル語) 「都ぞ弥生」外国語版(ドイツ語、 英語、 中国語、

C デュプリケータ購入

普及版CD「都ぞ弥生」、外国語版CD「都ぞ弥 活用。 生」、恵迪百年記念 CD「都ぞ弥生」の自前C OPYが可能。今後のグッズ制作、広報活動に

マスターCDのコピー・アッセンブリー 同窓会メンバーのボランティア。 349、900円 機種1案 エプソン CD書込能力 Disc producer PP-100 30枚/h -等は、

> CX-1 298、000円 機種2案 Micro Boards CD書込能力 Disc Pblisher 15

Î デュプリケータ購入を決定

11 記念誌制作(2012年会誌 「恵迪」第12号合併

111 開拓の村寮舎「名札」

5/15 「観花会」で第1次公開 (50名分)

「エルムの鐘」復元

「都ぞ弥生」百年記念展示会(総合博物館

Vii 映像制作(HBC長沼氏と相談中)

「都ぞ弥生」百年記念祭(2012年6月9日出

ii 記念植樹祭(開拓の村「寮舎」前)

1万人で歌う「都ぞ弥生」・檄文

寮歌大合唱

「エルムの鐘」復元除幕式

講演(鈴木章名誉教授と折衝)と音楽会

「都ぞ弥生」百年記念展示公開 (総合博物館

大寮歌祭「in 札幌」(北海道支部、6/9京王プラ

3 記念事業と記念祭募金活動

東京」(東日本支部)「in

大阪」(西日本支部

i 開拓の村寮舎「名札」分譲 (400名分を1枚3

000円以上で募集) (オリジナルほった見積り) 両面筆文字 100枚@630円 木製名札

6

95 × 19

Î 5 /15第1次分譲分の掲示式

ii 「都ぞ弥生」百年記念協賛募金

# 記念委員会と実行委員会

(1) 寮同窓会で構成する 記念委員会 (7名) 北海道大学、 現恵迪寮と恵迪

(名誉会長) 佐伯浩総長

会長)横山清

白浜憲 〔副会長〕髙井宗宏、厚谷純吉、 山中義正、 窪田開拓

# 2 実行委員会

(実行委員長) 白浜憲一

(実行委員長代理) 氏平増之

副実行委員長)新井三郎、皆川吉郎、 恵迪寮執行委

員長、 坂倉雅夫、伊藤靖久

川浩治(1万人、エルムの鐘)、 八重樫幸一(大寮歌祭) 念誌)、佐藤市雄 〔部門委員長〕新井三郎(CD制作)、大隈昭二(記 海道支部幹事 (映像制作)、木村正博(植樹)、千 (実行委員) 本部理事・幹事 藤田正一 (講演会)、

# 3 スケジュール

理事会まで〉

第1回部門委員長会議~2/23州クラーク会館、 第1回実行委員会~1/15出アークス本社、 11

# 、今後の予定と

5/中旬 開拓の村寮舎「名札」第一 次分譲公開 (「観

花会」) 7/下旬 百年記念趣意書発送

実行委員会開催

員会 11 / 12 第4回実行委員会

1 / 21 員会 6 第5回実行委員会 第7回実行委員会 5 / 26 第6回実行委

# 【第5号議案】平成23年「大寮歌祭」(西日本支部主管)

開催日;平成23年9月17日出、京都第2タワー 〈実施概要は82・83頁のご案内を参照 ホテル

# 【第6号議案】恵迪寮同窓会3支部の活動報告と活動

計

Î 各支部ニュースに掲載

# 【第7号議案】東日本大震災復興支援

- 1. 支援の方策を調査決定して義援金を募集する。 復興の長期化を考慮し、恵迪寮同窓会に相応
- 2. 義援金募集は会誌送付の時期とする。
- 3 義援金の拠出時期と拠出先は役員3役に一任する。

# 東日本支部ニュース

# 平成22年度活動報告>

- 1 鼓 ミニ寮歌祭で、今年も8月14日出に開催し、終了後近 0) に 日・明治9年8月14日に因み毎年8月14日に石碑周辺 を打 介する。 「草刈り寮歌祭」と称 のレストランで、労働。 草刈りをして汗をかき、 「開拓使仮学校跡」 うた。 東京都港区の芝公園内 石碑が在る。 し平成21年度から始 最後に の後の美味し 「都ぞ弥生」を歌う (元芝増上寺境 札幌農学校 いビール め た行事を の設立 に舌 角
- 科 ル 寮歌祭」 員 にて開催され |有志数名が参加しているが、その中で最大の「日本 から約30名の参加であった。 毎年開催され は第 50 た。 7 回として10月11日 77 今回で最終回の開催となり北大予 る各地域 寮歌祭には東日 (月・祝) 新宿NSビ 本支部役
- 22 年 エル 0) は「富岡製糸場と絹産業遺産群を世界遺産に!」であっ た。 出 平成22年度は当支部受持ち地 当日は 会場を移しての「恵迪寮大寮歌祭」参加者は上毛 ム会丸山恭一会長始め地元勢、友誼校OBも交え、 -10月23日出に「恵迪寮大寮歌祭」を開催した。 張寮歌祭開催 講師は近 ル (クカントリーぐんま連絡協議会会長、 大寮歌祭に先駆け「開識社」講演会も開催 .藤功・富岡製糸場世界遺産伝道師協会 の年に当たり、群馬県高崎 域内の 東京以 配て平成 外 0) 演題 地 ま で

総勢40余名であった。

年の活動の第1歩を踏み出した。
(5) 年が明けた平成23年1月7日)、支部役員他計8名
(5) 年が明けた平成23年1月7日)、支部役員他計8名
円治道彦君が音頭を取り、12月にミニ寮歌祭を始めた。
関口副支部長、塩釜在住の特別会員

# 〈平成23年度活動計画〉

① 寮歌祭の開催

出を予定している。 浜で「恵迪寮大寮歌祭」を開催する。時期は10月1日浜で「恵迪寮大寮歌祭」を開催する。時期は10月1日

② 役員会の開催

成 23 年 月を予定。)「大寮歌祭」 1~3ヶ月に1 4 5 8 口 9 の頻度で開催を予定 10 他行事の準備、 12 月、 平成24年2月の各 して 検討を行う。 いる。 伞

祭への取組みの概要検討を行う。 平成24年度「都ぞ弥生」誕生100周年記念大寮歌

④ 恵迪寮同窓会会員の増強対策の検討と実行。

# 〈財政状況〉

寮歌祭、 範囲内で、 ここ数年は健 その他 会員増強対策 全財政 の活動を企画していきたい。 を保 の一環として行っている地 いってい る。 当支部 0 財 政 方出 規 模 張

## 2011年恵迪寮同窓会大寮歌祭のご案内

# 赤いランタン波間に揺れて、港横浜白い霧

出船入船夕空の 星の数ほどあればとて 愛しき君を乗せた船 いつの日港に着くのやら

東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成 23 年度の恵迪寮同窓会東日本支部大寮歌祭は、開港 152 周年を迎えた「みなと横浜」での開催を予定しております。

鎌倉幕府の海の玄関口としての六浦湊(金沢区六浦)、江戸湾内海交通の要衝としての神奈川湊(神奈川区神奈川)が早くから栄え、近代国際貿易発祥の地として日本の近代化を牽引した横浜港。

今回の大寮歌祭は、この横浜港山下公園近くでの開催となります。

寮友(ともどち)よ、風雪に耐えし北の大地をしのびながら、声高らかに心の記念(かたみ)を謳おうではありませんか。

恵迪寮同窓会東日本支部長 山中 義正

# 【ご案内】

**■日 時**:平成 23 年 10 月 1 日仕) 12 時 30 分開場

■会 場:横浜港山下公園の近辺

■会 費:5,000円

■問合先:〒 176-0021

東京都練馬区貫井 4-47-42

副支部長 関口 光雄(昭和39年入寮)

E-mail: jubesannchinoko@ybb.ne.jp

Tel/Fax 03-3926-0080

※詳細は、後日決定します。

# 西日本支部ニュース

# 東海地区恵迪会設立さる

「名古屋で飲もう会」を開いていただけませんか? 藤井「名古屋で飲もう会」を開いていただけませんか? 藤井 「名古屋で飲もう会」を開いていただけませんか? 藤井 「名古屋で飲もう会」を開いていただけませんか? 藤井

ちに待ったというのは、少し大げさか?場が必要だし、その基盤も十分あると感じていました。待京都、大阪、神戸があっても、名古屋で同窓生が集える

きます。東海地区恵迪会の設立です。旭川中学・土木)の御歳83歳とは思えない凛とした声が響旭川中学・土木)の御歳83歳とは思えない凛とした声が響「乾杯」! 最長老大橋雄大君(S22入寮:利尻島出身・

が集い 1 名、 3県の の舞」名鉄レジャック店に東海地区、 時は、 ま 恵迪同窓21名(当日3名欠席)、 プラス西 2010年10月2日午後5時、 た。 日本支部役員の内、 関西から10名、 岐阜、 寮外生1名、 海 鮮 愛知、 居酒 計 33 名 広島県 三重 「は  $\overline{O}$ な

先の大橋長老の乾杯の音頭により懇親会へと入っていきま迪同窓を代表して深谷勲君(S32入寮)のあいさつと進み、32入寮)のあいさつ、設立にご尽力いただいた東海地区恵藤井洋治君の司会進行により、窪田開拓西日本支部長(S

した。 っ

応援団 S 51 茶畑仁 補 在•理動物/增井淑郎:S33•浜松在/近刈谷在•愛知明和高出身•水産/牧野俊在•農/大野純暉:S32•岐阜県在•獣医 在 産 函館出身 略・入寮年次)の紹介をしておきましょう。 L 切りました。 ラグビー部・林産 在•茨城土浦一校出身•獣医/薙野英樹:S5•埼玉出身• :S44・愛知県庁・土木/山田勉:S44・愛知県教師 函館出身•寮水務/藤井洋治:S3•水産 ひとし た。大橋君と西日本支部の役員を除く参加者全員 紹介を入寮年次順に一人一分という制限 • 応援団 /石垣武則:S4・半田市在・愛知県庁・農 /神保重孝:S48・名古屋中村出身 桑園寮・愛知県庁・獣医 司 S 26 明治乳業G·広島県在/ ・愛知明和高出身・水産/牧野俊一:S33・名古屋 、片山太志:S54 きり |物/増井淑郎:S33・浜松在/近藤忠実 /中道育夫:S42・多治見市在 /遠藤潔:S51・愛知県庁・獣医 短い時間 • 函館西高出身 /中田泰央:S 53·三重県在·歯科医師 写真 の中で、 ) · 教師 張影 の後、 /川瀬和博 特色 西田田 山 田時夫:S31 あ 参加 秀明: S 51 る自己紹介が続きま /鋤柄幸雄 S 49 市議・市 / 深谷勲 /平野修: 時間で33 及川賢治: ·いなべ市 名古屋市 /服部紀博 S 36 とり ·· S 48寮 S 32 長立候 半田 名やり S 39 (敬称 · 水 0) 市

ここに、東海地区恵迪会の役員の皆様をご紹介いたしま締め、中締めと相成りました。 寮歌披露の後、最後を「都ぞ弥生」1番から5番までで

東海地区恵迪会 会 長 藤井 洋治(S37入寮)。

37 介いたしま



東海地区恵迪会設立総会

# 〈第18期平成22年度活動報告〉

当初計画通りの成果を達成した。 2) 平成23年度恵迪寮同窓会西日本大会の準備 平成22年度の2本柱の活動 1 東海 地区 恵迪会の設立 につい 7

重幹

事

泰央

(S53入寮)

事

事 長

和重

(S 49 A A 寮)

中川神 田瀬保

# 役員会

	7 / 26 (月)	6 / 3 (木)
等	東海地区恵迪会の設立に向けての取り組み	恵迪寮同窓会理事会の報告

	8 / 30 (月)
会西日本大会に句けて	東海地区恵迪会の設立準備及び恵迪寮同窓

9 / 21 (火)	
「名古屋で飲もう会」準備作業及び恵迪寮同	会西日本大会に向けて

11 / 17 (水)	
東海地区恵迪会のまとめ及び恵迪寮同窓会	窓会西日本大会に向けて

	11 / 17 (水
西日本大会に向けて	東海地区恵迪会のまとめ及び恵迪寮同党

2	1
/	/
15	14
(火)	(金)
恵迪寮同窓会西日本大会に向けて	恵迪寮同窓会西日本大会に向けて

3 / 8 火)	1 (9)
恵由祭司や	思述第四名

# 恵迪寮同窓会西日本大会に向けて

# 行事

2

/ 24 (土)

# 10 $\frac{1}{2}$ 恵迪

寮同窓会理事会出

席

伊

藤

間

中

岩

(土) 『名古屋で飲もう会』(東海地) 区恵迪会の

歌い始めの会・賀詞交換会(参加者:10名 参加 はなの舞名鉄

V ジ エ

> ク 店

ム会主催 への出席

(北大関西

エ

ル

1

10

(月)

2 26 (生) 農学振興会関西支部総会へ の来賓出 席

# 3 組織活動

東海地域恵迪会設立への働きか け

# 〈第19期平成23年度活動計画〉 1 役員会

4 / 19 (火) 平成22年度活動報告 (案) 及び平成23年度

活動計画 (案)

5 月~3月 1回 /1ヶ月程度

# 9 4

**(2**)

行事

/ 23 (土) 本部理事会へ出席

/ 17 (生) 恵迪寮同窓会西日本大会の開催 場所 京

都

1

月

歌い始めの会・賀詞交換会( ム会主催) への協力及び出席 、北大関西エ ル

# 3 組織活動

・会員増強活動

4

若手が参加できる支部づくり

北海道支部ニュース

# 〈平成22年の総括〉

当初掲げた諸行事は、 ほぼ実行できた。

# 支部独自の活動

1月30日出 平成 (22年寮歌歌始めの会約100名参

月4日 第28回親睦ゴルフ会15名参加

加

7

8月7日(出) 第 4 回恵迪夏祭り10名参加

11 月24日(水) 第11回開識社講演会105名参加

三火会;毎月第3火曜日に実施

# **(2**) 地区恵迪会活動

6月19日出 第6回道南恵迪寮歌祭

7月3日 (土) 第6回とかち恵迪寮歌祭

7月3日出 第7回旭川 開識社&寮歌祭」

7月10日出 第5回日高苫小牧恵迪寮歌祭総勢9名

# 3 本部・他支部 現寮関係

5月5日 (水) 現寮の観桜会にOBが参加

9月25日出 10年北海道大会

第Ⅰ部 :北大構内・現寮見学&開拓の村パレ

] ۲°

「旧恵迪寮舎」前での献歌49名参加

第 II 大寮歌祭(札幌パークホテル)107名参

加

11 月24日 (水) 開識社講演会に10数名の現寮生を招待

# 4 広報活動

- ・支部ニュース夏・冬号発行
- ホームページ投稿の活用
- 信の活用・歌始めの会・大寮歌祭・開識社等でのメール一斉配

# ⑤ 役員の増強

42) と2名の支部役員増強となる。 ・4月に岩本栄一君 (S44)、10月に佐々木宏治君 (S

# ⑥ 役員会の簡素化

・平成21年までの役員会は、常任幹事会と幹事会の2平成21年までの役員会は、常任幹事会と財事会の別での進展に伴う措置)。併せて、平日勤務者の会事会の開催のみに変更した(各役員の意識レベルの事会の開催を中止し、幹事会の開催を中止し、幹事会の2

# 〈課題〉

- ① 釧路根室&オホーツク恵迪会の「寮歌祭」が実施で
- スが目立つようになってきた。会員のメールアドレスの変更等に対応できないケー

# 〈平成22年の活動方針と事業計画〉

# 活動方針

・満60歳以上のOBを発掘し、支部幹事等に積極的に

- い、広報活動の強化を図る。・ホームページを活用してメールアドレスの収集を行
- り替えるべく検討していく。める会費の仕組み」へ切める会費の仕組み」を「集まる会費の仕組み」へ切財政基盤を強化するため、本部と話し合いながら「集
- えていく。 諸行事がより魅力的なものとならないか、検討を加
- 据えた取り組みを本部と共に実施していく。2012年6月9日出 「都ぞ弥生」百年記念祭を見
- フレンド会員(仮称)の恵迪寮同窓会への加入促進。

### 恵迪寮同窓会北海道支部 平成 23 年事業計画

月	日	行事	総会・幹事会・その他
1 11			15日出第1回幹事会(歌始めの会)
1月	29日(土)	平成23年寮歌歌始めの会(氷雪の門)	29日出第10回支部総会
0.11		北大室蘭恵迪会新年会	
2月	15日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
3月	15日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
4月	19日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	16日出第2回幹事会(観花会)
			23日(土)恵迪寮同窓会本部定期理事会
	5 日(木)	恵迪寮「観桜会」&現寮交流会	
5月	15日(日)	開拓の村旧恵迪寮舎「花壇」観花会	
	17日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
	11日(土)	第7回道南恵迪寮歌祭(ホテルテトラ)	4日出第3回幹事会(ゴルフ・夏祭り)
сы	18日(土)	第7回とかち恵迪寮歌祭(ふじもり食堂)	
6月	21日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
	下 旬	支部ニュース夏号発行	会誌「恵迪」第11号発行
	2 日(土)	第8回道北・旭川「開識社&寮歌祭」(確定)	23日出第4回幹事会(夏祭り・開識社)
	3 日(日)	第29回親睦ゴルフ大会	
7月	9 日(土)	第6回日高・苫小牧恵迪寮歌祭	
	16日(土)	第2回釧路根室恵迪寮歌祭(人数的に?)	
	19日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
0 日	6 日(土)	第5回恵迪夏祭り(サッポロビール・ライオン)	
8月	16日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
9月	20日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
	8 日(土)	第3回オホーツク恵迪寮歌祭	1日出第5回幹事会(開識社)
10月	13日(木)	第12回開識社講演会(時計台 2 F ホール)	
	18日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
11月	15日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	
10 🖂	20日(火)	恵迪三火倶楽部(つる)	10日出第6回幹事会(歌始めの会)
12月	下 旬	支部ニュース冬号発行	
1月			14日出第1回幹事会
	28日(土)	平成24年寮歌歌始めの会(氷雪の門)	28日出第11回支部総会

『都ぞ弥生』百年記念祭⇒平成24 (2012) 年6月9日出

# 旧寮舎掲示板の名札大募集 横山芳介君の名札も掲示

「都ぞ弥生」百年記念実行委員会は、同記念事業の一つとして、北海道開拓の村の旧恵迪 寮舎玄関入り口に設置されている名札掲示板の「名札」を募集しています。在寮中は黒札、 外出中は赤札で表示していたあの懐かしい「名札」です。

移築再建した当時、「都ぞ弥生」の作詞者・横山芳介君、作曲者・赤木顕次君ら寮歌に名 を残す大先輩たちの名札約 100 枚を掲示したのが始まりですが、掲示板の大部分が空白に なっているため、開拓の村の許可をもらって有効活用するものです。

さる 5 月 15 日には、同窓会員約 30 人が参加して玄関前で第一次募集分の名札掲示式を 実施、郵送による予約分を含め約 60 名の名札をかけ、青春時代をしのびました。

名札は、恵迪寮在寮証明書として入寮年次ごとに掲示するとともに、ご存命の方は「黒札」表示、お亡くなりになった方は「赤札」表示として、永代供養を兼ねた「名札」にもなります。

2012年6月9日まで第二次募集受付中です。

名札の分譲価格は、1枚3000円以上(カンパ大歓迎)。申し込み方法は、恵迪同窓会郵便払い込み用紙に入寮年次と、芳名を記入し、申込金をお払い込みください。

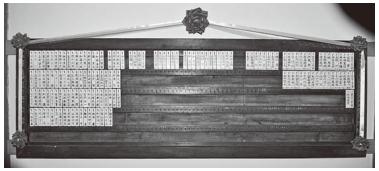
第二次分讓期間 2011年7月~2012年6月。

お問い合わせは、

TEL 011-530-1186

 $E \times -\mathcal{V}$  info@keiteki-ob.jp





# 恵迪 |寮命名百年記念グッズ

企画し グッズも在庫が残り少なくなりました。まだ購入されてい ない方や北大出身者へのプレゼントにご利用ください。 来年6 ていますが、 月の 「都ぞ弥生」百年祭でも様々な記念グッズを 4年前の「恵迪寮命名百年祭」の記念

# 北大恵迪寮CD 「都ぞ弥生」

超える恵迪寮歌の中から、 CD2枚組で頒布価格2000円です。 明治45年から平成18年まで作歌・作曲された100 北大合唱団OB会による斉唱録音です。 33曲を厳選しCDに収録 しま 曲 を



ぎ弥生

百年記念祭絵はがき

# 構内風物 、トカード 「都ぞ弥生」 〜北大恵迪寮歌と

2

伊藤太郎画伯が竹ペンの透明水彩で描いた、 オオバナエ

> すてきなポストカードです。 ぞ弥生」を始めとする恵迪寮歌代表曲8曲を組み合わせた ンレイソウ、クロユリ、スズラン、ニセアカシア、 モデルバーン、旧中央図書館の北大構内風物画に 中 央口 都 ]

8枚組で頒布価格525円です。

# 恵迪百年記念オルゴール(100台限定制

込んだ「都ぞ弥生」 迪百年記念文字を彫り 音を響かせ、「都ぞ弥 軽やかの中にも荘厳な 質なミズナラを使用。 は北大雨竜研究林の上 ゴールです。 ロディー入りのオル す。頒布価格は4万円。 箱の表に寮生章や恵 の全曲が楽しめま 箱の素材



恵迪グッズ・オルゴール

^お買い求め・ 問い合わせ先と

1 (E-mail keiteki@spa.att.ne.jp) 恵迪寮同窓会 Tel & Fax 0 1 • 5 3 0 1 1 8  $\overset{\circ}{6}$ 



おいしいも、あんしんも、北海道から。



www.hokuren.or.jp

# コーヒーの敵は、「酸化」でした。

豆の酸化を最小限にする、日本初「挽き豆包み製法」。「レギュラーソリュブルコーヒー」誕生。









早春のポプラ並木と手稲山

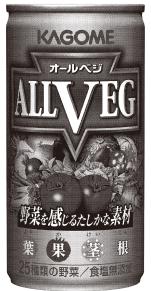


北海道開拓の村の旧恵迪寮舎

# さらに深く、濃く、力強く。



# オールベジは、葉果茎根25種類へ。



◎ひとつひとつの野菜から、必要な機能をひきだすこと。 野菜の働きは千差万別。カゴメオールベジは、これらの味や栄養を考えぬき、葉、果、茎、根、25種類の野菜を厳選。ひとつひとつの力をひきだし、理想のバランスに仕上げている。

葉(よう)	プチヴェール、白菜、ほうれん草、キャベツ、パセリ、ケール クレソン、レタス、モロヘイヤ、あしたば、小松菜
果(か)	トマト、赤ピーマン、南瓜、茄子、紫いも
茎(けい)	アスパラガス、セロリ、ブロッコリー、玉葱、生姜
根(こん)	人参、大根、ビート、牛蒡

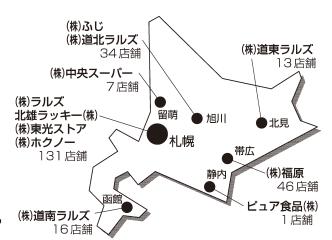
◎350g分の野菜を190g缶1本に濃縮すること。

◎自然が定めた栄養の黄金期、旬の収穫にこだわること。

カゴメがたどり着いた、1本の理想。

# カゴメオールベジ

CGCは、 日本全国の有力中堅 スーパーマーケットが 協業の旗のもとに、 その総力を結集した 大量共同什入機構です。





## 株式会社 北海道シジシー

代表取締役社長 横山 清加 盟 企 業 11社 店 舗 数 248店舗全 体 売 上 3.437億円

2011年5月現在



## 祈.3月11日東日本大震災において被災された方々の鎮魂と復興



# 株式会社 カンキョー

代表取締役 窪田開拓 (昭和32年入寮)

〒561-0854 大阪府豊中市稲津町2丁目2番1号 06-6864-2061 Fax 06-6864-4900

Eメール kankyo77@mocha.ocn.ne.jp

業務内容: 地質調査・土質調査・水文調査のコンサルタント

受注先: 大阪府、市町村、民間ディベロッパー、その他

恵迪寮同窓会西日本支部歴代支部長

 初 代
 :
 安部
 晤

 2 代目
 :
 阿澄
 昌夫

 3 代目
 :
 辻山
 昌佑

 4 代目
 :
 窪田
 開拓

北大恵迪寮歴史が燎原の火のごとく燃え続けるように











今、大人気の"もちもち"食感にこだわったヤマザキ一押しの食パンが「もち食感食パン」。トーストしたときの香ばしさは格別で、ミミはサクサク、中はもっちもちに仕上がっております。ぜひ、お試し下さい。

〒061-1411 恵庭市恵南10番1号 山崎製パン株式会社 札幌工場

# 安全・安心なお肉を食卓へ

### Nippon Ham Group 人輝く、食の未来



## 本 社

〒060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1-2 TEL 011-757-7281 FAX 011-757-2959 代表取締役社長 加藤 峰郎

### 北海道事業部

### 札幌営業部

〒063-0836 札幌市西区発寒16条3丁目1-27 TEL 011-664-1201

### 道東営業部

〒090-0801 北見市春光町2丁目208-1 TEL 0157-31-2941

### 釧路営業部

〒084-0913 釧路市星ケ浦南3丁目4-11 TEL 0154-52-4329

### 十勝営業部

〒080-2463 帯広市西23条北2丁目17-19 TEL 0155-37-2941

### 函館営業部

〒049-111 北斗市七重浜3丁目347-1 TEL 0138-49-3886

### 本店営業部

〒060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1-2 TEL 011-757-1611

### 札幌東営業部

〒067-0051 江別市工栄町5-8 TEL 011-385-0055

### 根室営業部

〒086-1100 標津郡中標津町南中8-24 TEL 0153-73-2941

### 旭川営業部

〒079-8442 旭川市流通団地2条4丁目13-2 TEL 0166-47-2911

### 苫小牧営業部

〒059-1271 苫小牧市澄川町4丁目2-1 TEL 0144-67-5429

### 八雲営業部

〒049-3123 二海郡八雲町立岩354 TEL 0137-62-4735

### 加工部

〒067-0051 江別市工栄町5-8 TEL 011-385-5480







Coffee Please. AGF

てづくりアイスカフェオレ、 この味がだせるのは、〈ブレンディ〉だけ。











Blendy BOTTLE COFFEE

商品に関するお問い合わせ:味の素ゼネラルフーゾ株式会社 お客様相談室 **()** 0120-17-8651 (9:00~17:00平日のみ) http://www.agf.co.jp





おいしさと健康



おいしさの感動がいっぱい!健康の歓びがいっぱい! こんな「おいしさと健康」の毎日をお届けするのが江崎グリコの願いです。

http://www.glico.co.jp



# 地球の未来も、 プラスにまわそう。

大切な自然や資源を次の世代に残していくために。 コカ・コーラは環境活動に取り組んでいます。

工場での水の再利用など、 「水」の有効利用を進め、 水使用量を減らしています。

省エネ自動販売機などにより、効率的に 「エネルギー」を活用して、 CO2排出量を減らしています。

再生可能な資源の活用、容器の軽量化、 そしてリサイクルの促進など、 「サスティナブル・パッケージ(持続可能な容器)」 を追求しています。

Live Positively ② (bcarCola, 世界をプラスにまわそう

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 HEEKAIDE ESEL-EELA SETTLINE ES., LTD. (コカ・コーラ目を会せ) http://www.hokkaido.ccbc.co.jp Coca-Colaとコカ・コーラは 派 佐田径 6のpulay の主発品書です。



## 平成23年度「年会費」納入と「運営支援金」カンパのお願い

本会は、年会員の年会費3,000円と終身会員の運営支援金2,000円及びカンパ金により、全国3支部持ち回りの「大寮歌祭」や会誌「恵迪」の発行、講演会「開識社」の開催、現寮生との交流事業、地域ごとの親睦会・地区寮歌祭などの活動を展開しています。

平成 22 年度の会費等の納入状況は、総件数 555 件・139 万 5,690 円 (年会費は 218 件・69 万 6,000 円、運営支援金は、190 件・40 万 6,000 円、カンパは、147 件 29 万 3,690 円) となっています。

「会員相互の親睦を図り、恵迪精神の伝承発展に努める」という会の目的を実現するために、平成22 年度「年会費」の納入と「運営支援金」をお願いします。

それぞれ同封の郵便払い込み取り扱い票によりご送金ください。

- ① 会員の方は、平成23年度「年会費」として3,000円
- ② 平成16年までの終身会員の方は、平成23年度「運営支援金」として2,000円
- ③ 任意のカンパ
- ※ 同窓会という任意団体の性格上、会費未納という請求関係は発生しません。あくまでも年度ごとの処理となります。払い込みの失念などがないようにお願いします。

会誌 発行者 印 発 刷 http://www.keiteki-ob.jp/ 〒 恵迪寮同窓会会長 同窓会ホ E-mail: info@keiteki-ob.jp 060 064行 恵 製 迪 0033 8610 恵 Е 迪 1 第 11 札幌市中央区北3条東5丁目5-91 L F A X Oll 札幌市中央区南13条西11元 株式会社アイワ 寮同窓会 厶 F T E L 株式会社アー ~ A X 011 号 横 011 2011年7 Щ 207 241 ・クス 530 1 6178 9341 清 户 内 (代) 1186

\*

# さまざまな想いがつまった本づくりは 実績豊かなアイワードにおまかせください

# 自費出版

自分史やエッセイ集、画集や写真集・作品集など自費出版から 記念誌、研究論文、報告書、出版物、辞書・事典まで

# 本づくり

原稿作成、リライト、工程、撮影、費用…、どんなことでもご相談ください。創業以来40年以上にわたり蓄積してきた本づくりのノウハウと最新技術でお手伝いします。お気軽にご連絡ください。詳しくはアイワードホームページでもご覧いただけます。





新時代の〈企画・情報処理・印刷〉企業

# 株式会社アイワード

本 社:〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5-91 TEL(011)241-9341 FAX(011)207-6178

東京営業部:〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階

TEL(03)3239-3939 FAX(03)3239-3945







# 豊かな大地に輝く懸け橋に





















株式会社アークス 代表取締役社長 横山 清 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号 TEL.011-530-1000 〈関連会社〉 株式会社エルディ 株式会社イワイ 株式会社ライフポート ホテル福原 アークストラベル

スーパーアークス ビッグハウス ラルズマート ラルズストア ラルズプラザ フレッティ 東光ストア ホームストア フクハラ (\*\*) バストスライス ウェスタン